

武蔵野市の図書館

平成26年度

武蔵野市立図書館

目 次

■ 図書館の概況	1
機構	1
図書館の管理運営	2
施設概要	3
武蔵野プレイスの概況	6
〈事業報告編〉	
■ 貸出サービス	7
貸出サービス	7
登録者数	7
貸出数	7
■ 予約・リクエストサービス	8
予約・リクエストサービス	8
予約件数	8
相互貸借件数	9
人気ランキング	9
■ 新聞・雑誌	12
新聞・雑誌所蔵タイトル数	12
官報・新聞縮刷版等	12
■ 郷土・行政資料	13
資料の主な種類・分類・年間受入・除籍資料冊数	13
定点撮影	13
市民文庫	13
■ 市史編纂	14
■ AVサービス	15
資料所蔵数	15
貸出件数	15
視聴用デッキ所有数・AVブース利用状況	15
■ 児童サービス	16
こどもまつり	16
どっきんどようび	18
おはなし会	19
科学あそび教室	19
春休みこどもイベント	20
児童用配布物	20
むさしのブックスタート	20
除籍資料のリサイクル	22
季節のテーマ展示	22
配慮を必要とする子どもへのサービス	23
■ YA(ヤングアダルト)サービス	24
■ 読書の動機づけ指導	26
■ 学校連携	27

■ 職場体験	28
■ 子ども文芸賞	29
■ 子ども読書活動推進計画	30
子ども読書活動推進計画の概要	30
平成 26 年度の取組み	32
■ 団体貸出サービス及び文庫活動助成	33
蔵書数及び貸出数	33
武蔵野市文庫連絡会（文庫連）事業	33
■ 障害者サービス	34
登録者数	34
利用者サービス	34
障害者サービス意見交換会	36
講座	36
障害者サービス登録を必要としないサービス	38
■ 一般向け催し	39
映画会	39
講習会	41
トピックス	42
課題解決テーマ展示	43
武蔵野プレイス内で他機能に提供した図書数	44
武蔵野プレイス内の返却棚展示	45
■ 除籍資料リサイクル事業	46
リサイクルコーナー提供資料数	46
■ グループ学習室利用	47
利用状況	47
■ 大学図書館利用	48
成蹊大学図書館	48
亜細亜大学図書館	48
日本獣医生命科学大学附属図書館	48
市内大学以外の利用紹介申請	49
■ レファレンスサービス	50
利用状況	50
ホームページレファレンス情報提供	50
■ インターネット検索用パソコン	51
オンラインデータベース	51
利用状況	52
■ 図書特別整理	53
概要	53
実績	53
■ コンピュータシステムの概要	54
導入の経過	54

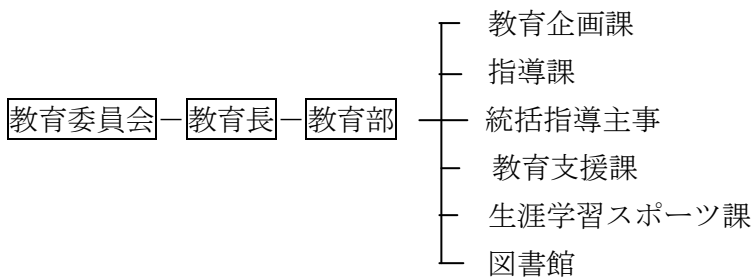
個人情報保護に関する留意事項	55
図書館コンピュータシステム所蔵機器一覧	55
■ 広報	56
図書館だより	56
ホームページ	56
■ 人材育成・職員研修	57
■ 図書館運営委員会	59
■ 図書館基本計画	60
武蔵野市図書館基本計画の概要	60
図書館評価	62
〈統計編〉	
■ 図書館評価のための主要指標	63
■ 一般統計(平成 26 年度)	64
■ 予約・リクエストサービス	72
■ サービス事業	73
■ レファレンスサービス	77
■ インターネット検索用パソコン	77
■ 他自治体図書館との比較	78
〈図書交流センター〉	
■ 図書交流センター	81
〈参考資料〉	
■ 参考資料	85
武蔵野市立図書館条例	85
武蔵野市立図書館条例施行規則	88
武蔵野市図書館処務規程	91
武蔵野市立図書館資料収集方針	93
武蔵野市立図書館除籍基準	98
武蔵野市立図書館読書の動機づけ指導実施要綱	99
武蔵野市子ども文芸賞実施要綱	101
武蔵野市立図書館身体障害者サービス実施要領	103
武蔵野市立図書館身体障害者書籍郵送サービスの実施要領	105
武蔵野市立図書館デジタル録音図書再生機器貸出サービス実施要綱	106
武蔵野市図書館運営委員会設置要綱	107
武蔵野市図書館運営委員会傍聴基準	108
武蔵野市立武蔵野プレイス条例	109
武蔵野市立武蔵野プレイス条例施行規則	114
武蔵野市図書館交流センター運営基準	120
武蔵野市立図書館年表	121

図書館の概況

■ 図書館の概況

1. 機構

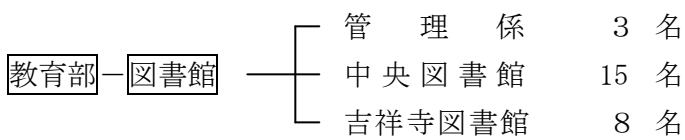
(1) 教育委員会の機構



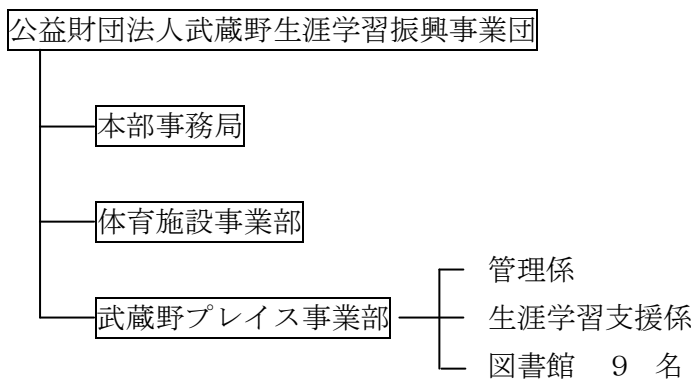
中学校 6 校

小学校 12 校

(2) 図書館の機構



館長 1 名



理事長 1 名

常務理事 2 名

館長 1 名

副館長 1 名

2. 図書館の管理運営

(1) 人的体制

図書館の運営は、常勤職員のほか、非常勤職員（嘱託職員）、臨時職員（アルバイト）等の臨時職員により担われています。

平成 26 年度

単位：人

図書館	常勤職員				非常勤職員		臨時職員※2		各館合計	
	館長 ※1	司書 資格	職員数	司書 資格	職員数	司書 資格	職員数	司書 資格	職員数	司書 資格
中央	1	0	18	7	26	13	2.4	2	47.4	22
吉祥寺	—	—	8	2	7	5	7	3	22	10
プレイス	1	0	9	7	35	32	8	0	52	39
合計	2	0	35	16	68	50	17.4	5	121.4	71
司書率(%)	43.2%				73.5%		28.7%			

※1 武蔵野プレイス：副館長

※2 臨時職員は定期的なもののほか、図書特別整理期間等における短期のものも含む。また、年間労働時間の合計 1,500 時間を 1 人として換算する

(2) 平成 26 年度の主な取り組み

① 市立図書館の図書等資料の充実を図りました。（受入資料数）

中央図書館：図書 19,631 冊、CD 264 点、DVD 552 点

吉祥寺図書館：図書 8,904 冊、CD 111 点

武蔵野プレイス：図書 12,381 冊

② 図書館評価の実施

第 4 期図書館運営委員会で検討してきた図書館評価の新しい仕組みに基づき、第 6 期図書館運営委員会において、平成 25 年度図書館評価を実施するとともに、平成 26 年度の評価目標について審議しました。

③ 武蔵野市立図書館についてのアンケート調査の実施

図書館評価の対象となっている図書館事業の中長期目標（上期）の達成度を測るとともに、来年度の図書館情報システム更新に向けて利用者の意見を集約するために、平成 27 年 2 月 21 日から 3 月 12 日の期間で、市立図書館 3 館の来館者を対象とし約 800 人へ来館者アンケートを実施しました。

④ 図書交流センターの廃止

個人所有の図書コレクションの減少もあり、貴重な図書コレクションの散逸防止という当初の目的は終えたことから、平成 24 年度に事務事業見直し方針が決定され、平成 26 年度中に有効活用できる蔵書を公立図書館、大学図書館等へ提供・仲介のうえ最終的に図書館で保存する蔵書以外を整理し、平成 26 年度末をもって同センターを廃止しました。

3. 施設概要

中央図書館

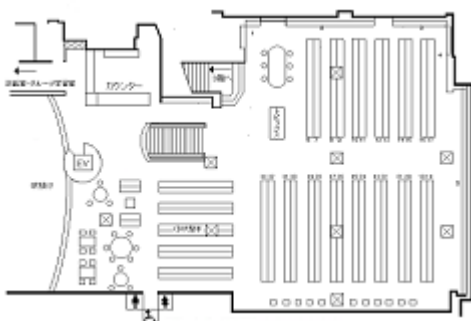
(平成7年4月2日開館)

所在地	武蔵野市吉祥寺北町4-8-3
電話	0422-51-5145
開館時間	月～木曜日 午前9時30分～午後8時 土・日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時
休館日	毎週金曜日、館内整理日…毎月第1水曜日（ただし、1月は4日、祝日の場合はその前後の平日）、年末年始、図書特別整理期間
施設	
敷地面積	3,005.62 m ²
延床面積	7,529.23 m ²
階別構成	1階 新聞・雑誌コーナー、視聴覚コーナー、児童図書コーナー、おはなしのへや、ヤングアダルトコーナー、予約棚 2階 一般図書コーナー、グループ学習室、談話室 3階 参考資料室、視聴覚ホール、ボランティアルーム、対面朗読室 4階 事務室 地下1階 書庫 2階 団体資料室、駐車場
駐輪可能台数	185 台
駐車可能台数	17 台

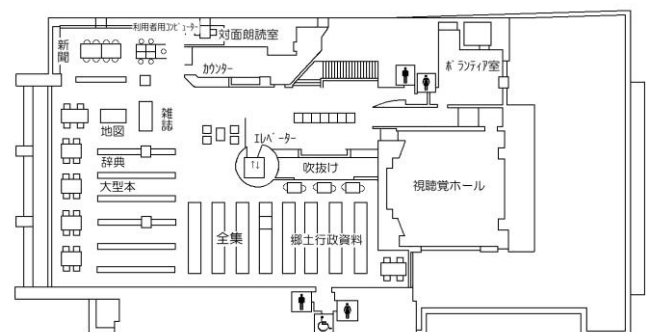
1F



2F



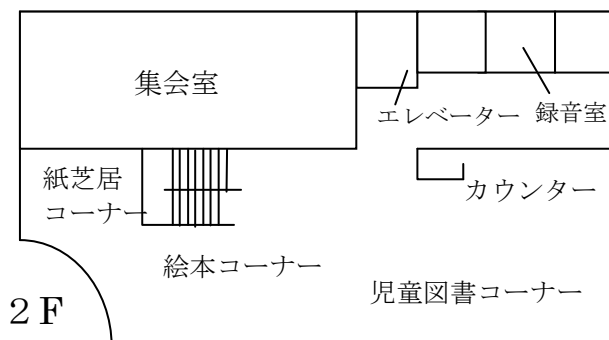
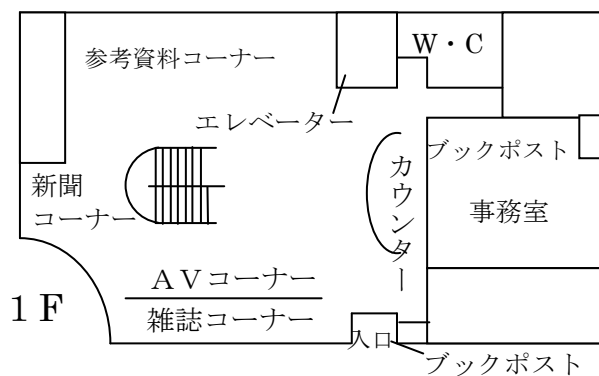
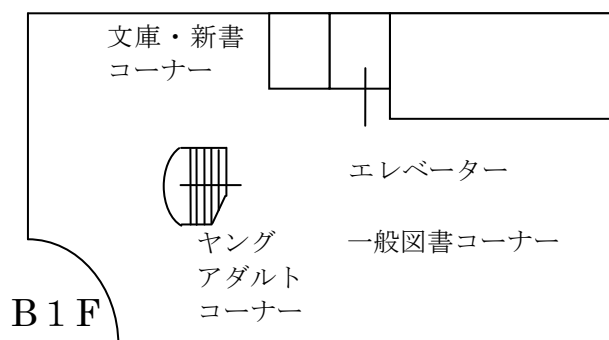
3F



吉祥寺図書館

(昭和62年11月14日開館)

所在地	武蔵野市吉祥寺本町1-21-13
電話	0422-20-1011
開館時間	月～木曜日 午前9時30分～午後8時 土・日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時
休館日	毎週金曜日、館内整理日…毎月第1水曜日（ただし、1月は4日、祝日の場合はその前後の平日）、年末年始、図書特別整理期間
施設	
敷地面積	815.31 m ²
延床面積	1,655.96 m ²
階別構成	1階 事務室、参考資料コーナー、AVコーナー、新聞・雑誌コーナー 2階 児童書開架室、集会室、録音室 地下1階 一般開架室、ヤングアダルトコーナー
駐輪可能台数	50台



武蔵野プレイス

(平成 23 年 7 月 9 日開館)

所在地 武蔵野市境南町 2 - 3 - 18
電話 0422-30-1900
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 10 時
休館日 毎週水曜日（祝日と重なる場合は開館し、翌日は休館）、毎月第 3 金曜日（その週の水曜日は開館）、年末年始、図書特別整理期間

施設

敷地面積 2,166.20 m²

延床面積 9,809.76 m²

階別構成 地上 4 階、地下 3 階

1 階 新聞・雑誌コーナー、予約資料コーナー、新着・返却資料棚、対面朗読室

2 階 生活関連図書・児童図書コーナー、おはなしのへや、託児コーナー

地下 1 階 一般図書コーナー、有料データベース等検索パソコンコーナー、レファレンスカウンター、録音室

地下 2 階 芸術分野及び青少年向け図書コーナー

駐輪可能台数 145 台

駐車可能台数 28 台

B2F



B1F



1F



2F



4. 武蔵野プレイスの概況

(1) 武蔵野プレイス

武蔵野プレイスは、本や活動を通して、人々が出会い、それぞれが持つ情報を共有・交換しながら、知的な創造や交流が生み出されることで、地域社会（まち）が活性化するような公共施設を目指し、平成 23 年 7 月 9 日に開館しました。図書館機能のほかに、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の機能も併せ持ち、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理者として管理、運営を行っています。

武蔵野プレイスでは、4つのそれぞれの機能が積極的に連携、融合し合い、開かれた、多様なコミュニケーションの「場」を提供しています。開館以降多くの方に来館していただき、累計来館者数は平成 26 年 10 月に 500 万人に達し、平成 26 年度の延べ来館者数も 160 万人を超えました。

12 月には、3 回目となる総合イベント、プレイス・フェスタ 2014 を開催し、11 日間に 9 の講座、イベントを実施しました。

(2) 図書館の状況

開館時は、約 14 万 5 千冊でスタートした蔵書数は、26 年度末で約 16 万 5 千冊となりました。インターネット接続環境や各種契約データベースの利用のほか雑誌も約 600 タイトルを所蔵するなど、幅広い情報の提供を行っています。

図書館事業としては、従前から市立図書館で実施している、こどもまつり、一般向け映画会などの事業を継続して実施するほか、武蔵野プレイス独自事業の科学あそび教室「わゴムでピョーン!」、「かんたん! 科学マジック」を企画、実施し、おはなし会への参加が少なくなっている小学生を対象に、体験を通して楽しめる形で本の紹介を行いました。また、青少年向けには、青少年の居場所を持つ強みを活かし、中学校・高校の図書委員向けに図書館ツアー、高校生対象に図書館司書体験を実施しました。この体験に参加した高校生が、境南ふれあい広場公園での「青空ふれあいおはなし会」で読み聞かせを行うなど、青少年が図書館に興味を持つきっかけやキャリア形成の一助となる事業を展開いたしました。

プレイス・フェスタでは、昨年度好評だった夜の映画会で、無声映画に即興演奏をつけて上映する新たな試みを行いました。各機能との連携にも積極的に取り組んでおり、生涯学習支援をはじめとする他の機能が実施する講座の開催時には、関連図書を展示するほか、いくつかの講座には図書職員が出向いて本の紹介を行うなど、幅広い層に向け、図書の紹介を行っています。

今後も武蔵野プレイスの様々な資源を有効に活かせるよう各機能が積極的に連携し、生涯学習振興事業団が一括管理しているメリットを活かした運営をしていきたいと考えています。

事業報告編

■貸出サービス

1. 貸出サービス

武蔵野市に在住、在勤、在学の方、及び隣接市区（三鷹、小金井、西東京、杉並、練馬）に在住の方は、利用登録をすることができます。

【貸出可能数、期間】

資料名	貸出数	貸出期間
図書・雑誌	合わせて10冊	2週間
CD	2タイトル	
ビデオ・DVD	合わせて2タイトル	

※ DVDは平成23年1月より貸出を開始

2. 登録者数

【平成26年度図書館登録者】（人口は平成27年4月1日現在）

	一般	児童	合計	人口	登録率(%)
市民	55,069	10,848	65,917	142,899	46.1
市外	61,617	8,921	70,538	—	—
合計	116,686	19,769	136,455	—	—

※ 登録者数は平成24年3月31日以降の未利用者を除く

※ 登録率は人口に対する登録者の割合

※ 市外計は在勤・在学・近隣市区在住者

平成23年度から急増していた登録者数は、26年度も全体としては増加傾向にあります。市民登録率については25年度とほぼ変わらず、横ばい傾向となっていますが、市外の登録者数が引き続き増加しており、25年度に全体の登録者数の半数を超えて50.7%となりましたが、26年度は更に1ポイント増の51.7%となっています。

3. 貸出数

【平成26年度貸出件数】

開館日数	図書			雑誌	視聴覚資料	相互貸借	合計	一日平均
	一般	児童	小計					
307	1,455,458	615,052	2,070,510	140,528	107,272	3,958	2,322,268	7,564

貸出数は、昨年度に比べて、全体としては4千冊ほど減少していますが、児童書については1万3千冊近く増加しています。ここ数年出生数が増加し、子どもの人口が増えていることや、その他にも、学校での朝読書や図書資料を使った授業の取り組み等も影響していると考えられます。

平成25年度の統計を見ると、武蔵野市立図書館の貸出数は、同規模自治体(人口10~15万人)の中では昨年度と同様、全国第1位です。また近隣自治体の中でも、平成25年度の市民1人当たりの貸出数16.4冊は第1位です。(統計編p78~79参照) 今後も市民を中心とした利用者のニーズを把握しながら、蔵書構成やサービス内容に反映させ、市民へのサービスの向上に努めていく必要があります。なお、開館日数は、館によって異なるため、多い日数を載せています。

■ 予約・リクエストサービス

1. 予約・リクエストサービス

図書館では、利用者から要望のあった資料が貸出中、又は他館在庫の場合は予約、所蔵していない場合は、リクエストとして受け付けています。

※AV資料（視聴覚資料）、新聞・雑誌（新規購入）、及びコミックスについては、リクエストは受け付けていません。

予約・リクエストの申し込みに対して、以下の方法により提供しています。

搬送：希望する資料が受け付けした市立図書館がなく、他の市内の図書館が所蔵している場合は、受取希望館に資料を搬送し、利用者に提供しています。

返却待ち：希望する資料が全て貸出中の場合は、返却されたものから予約申込順に希望者に資料が割り当てられ、受取希望館で提供しています。

購入：利用者からの要望に十分応えるために、新刊本や購入可能な図書は図書館の収集方針をもとに購入し、できる限り提供しています。また、予約が多い図書は複数購入し、利用者の要望に迅速に応えられるようにしています。

相互貸借：予約図書は年々増加し、また多岐に渡っています。これらの要求に応えるために、市立図書館の蔵書だけでなく、都立図書館、多摩地区の市町村立図書館、都内の区立図書館、国立国会図書館などの相互貸借システムを利用して、利用者からの要望にできる限りお応えしています。

※平成26年5月より、予約・リクエストサービスの見直しを行い、市内在住者を優先するため、市内図書館に未所蔵の資料のリクエストについては、市内在住者のみをサービス対象とした。

2. 予約件数（館別受付予約件数）

単位：件

	中央	吉祥寺	プレイス	WEB予約	全館合計
搬送・返却待ち	31,010	26,899	64,181	445,818	567,908
購入	2,738	1,365	1,595	—	5,698
相互貸借	1,546	1,351	1,453	—	4,350
合計	35,294	29,615	67,229	445,818	577,956

※「搬送・返却待ち」は図書・雑誌・AV含む

※ 処理館で集計

※ 相互貸借数は、館内閲覧分及び利用者キャンセル分も含む

3. 相互貸借件数

(1) 借受分（他の公共図書館から武蔵野市への借用分）

単位：冊

	中央	吉祥寺	プレイス	合計
他市区図書館	885	726	784	2,395
都立図書館	655	610	636	1,901
国会図書館	5	7	29	41
その他図書館	1	8	4	13
合計	1,546	1,351	1,453	4,350

※その他図書館：都外公立図書館、大学図書館等

(2) 貸出分（武蔵野市から他の公共図書館への貸出数）

単位：冊

	中央	吉祥寺	プレイス	合計
都内公立図書館	2,616	723	1,112	4,451
都外公立図書館	19	0	11	30
合計	2,635	723	1,123	4,481

4. 人気ランキング（平成26年4月～平成27年3月の貸出回数）

一般図書ベスト20

単位：回

	書名	著者	出版社	回数
1	夢幻花	東野 圭吾	PHP研究所	614
2	白ゆき姫殺人事件	湊 かなえ	集英社	609
2	ホテルローヤル	桜木 紫乃	集英社	609
4	舟を編む	三浦 しをん	光文社	601
5	ソロモンの偽証 [1] [2] [3]	宮部 みゆき	新潮社	584
6	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上 春樹	文藝春秋	573
7	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾	講談社	564
8	海賊とよばれた男 上・下	百田 尚樹	講談社	529
9	人生がときめく片づけの魔法 [1] [2]	近藤 麻理恵	サンマーク出版	515
10	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野 圭吾	角川書店	513
11	マスカレード・ホテル	東野 圭吾	集英社	498
12	七つの会議	池井戸 潤	日本経済新聞出版社	481
13	64	横山 秀夫	文藝春秋	480
14	ロスジェネの逆襲	池井戸 潤	ダイヤモンド社	473
15	村上海賊の娘 上・下	和田 竜	新潮社	470
16	下町ロケット	池井戸 潤	小学館	458
17	疾風ロンド	東野 圭吾	実業之日本社	432
18	政と源	三浦 しをん	集英社	423
19	インフェルノ 上・下	ダン・ブラウン	KADOKAWA	419
20	ペテロの葬列	宮部 みゆき	集英社	408

※ 多数巻の本については、貸出回数が最も多い巻の回数

ヤングアダルト図書ベスト20

単位：回

	書名	著者	出版社	回数
1	名探偵コナン 1～85	青山 剛昌	小学館	133
2	ONE PIECE 1～77	尾田 栄一郎	集英社	112
3	ドラゴンボール 1～34	鳥山 明	集英社	100
4	ちはやふる 1～26	末次 由紀	講談社	92
5	“物語”シリーズ(17冊)	西尾 維新	講談社	76
5	サクラ咲く	辻村 深月	光文社	76
7	魔法科高校の劣等生 1～15	佐島 勤	アスキー・メディアワークス	73
8	妖怪アパートの幽雅な日常 ラスベガス外伝	香月 日輪	講談社	72
9	クラスメイツ 前期・後期	森 絵都	偕成社	71
10	銀の匙 1～12	荒川 弘	小学館	69
11	俺の妹がこんなに可愛いわけがない 1～12	伏見 つかさ	アスキー・メディアワークス	68
12	西の魔女が死んだ	梨木 香歩	新潮社	67
13	都会(まち)のトム&ソーヤ 1～12	はやみね かおる	講談社	66
14	ソードアート・オンライン 1～15	河原 礫	アスキー・メディアワークス	64
14	“泣いちゃいそうだよ”高校生編(8冊)	小林 深雪	講談社	64
16	“守り人”シリーズ(11冊)	上橋 菜穂子	新潮社	62
17	僕は友達が少ない 1～13	平坂 読	メディアファクトリー	59
18	All you need is kill	桜坂 洋	集英社	56
19	茅田砂胡全仕事 1993 - 2013	茅田 砂胡	中央公論新社	53
20	銀魂	空知 英秋	集英社	52
20	とある魔術の禁書目録 1～22	鎌池 和馬	メディアワークス	52

※ 多数巻の本については、貸出回数が最も多い巻の回数

ヤングアダルト図書ベスト10 (*マンガを除く)

単位：回

	書名	著者	出版社	回数
1	“物語”シリーズ(17冊)	西尾 維新	講談社	76
1	サクラ咲く	辻村 深月	光文社	76
3	魔法科高校の劣等生 1～15	佐島 勤	アスキー・メディアワークス	73
4	妖怪アパートの幽雅な日常ラスベガス外伝	香月 日輪	講談社	72
5	クラスメイツ 前期・後期	森 絵都	偕成社	71
6	俺の妹がこんなに可愛いわけがない 1～12	伏見 つかさ	アスキー・メディアワークス	68
7	西の魔女が死んだ	梨木 香歩	新潮社	67
8	都会(まち)のトム&ソーヤ 1～12	はやみね かおる	講談社	66
9	ソードアート・オンライン 1～15	河原 礫	アスキー・メディアワークス	64
9	“泣いちゃいそうだよ”高校生編(8冊)	小林 深雪	講談社	64

※ 多数巻の本については、貸出回数が最も多い巻の回数

児童図書ベスト20

単位：回

	書名	著者	出版社	回数
1	くっついた	三浦 太郎	こぐま社	430
2	わたしのワンピース	にしまき かやこ	こぐま社	355
3	おふろだいすき	松岡 享子	福音館書店	314
4	どろんこハリー	ジーン・ジオン	福音館書店	308
5	はらぺこあおむし	エリック・カール	偕成社	297
6	だるまさんの	かがくい ひろし	ブロンズ新社	294
7	おさるのジョージパンケーキをつくる	M. レイ	岩波書店	293
8	わたしの	三浦 太郎	こぐま社	286
9	だるまさんと	かがくい ひろし	ブロンズ新社	279
10	ぐるんぱのようちえん	西内 みなみ	福音館書店	276
11	ぷくちゃんのすてきなぱんつ	ひろかわ さえこ	アリス館	272
12	かいけつゾロリのきょうふのプレゼント	原 ゆたか	ポプラ社	266
13	三びきのやぎのがらがらどん	マーシャ・ブラウン	福音館書店	264
14	がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん	安西 水丸	福音館書店	262
15	じゃあじゃあびりびり	まつい のりこ	偕成社	261
15	バムとケロのさむいあさ	島田 ゆか	文溪堂	261
17	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸	福音館書店	260
17	どんどこももんちゃん	とよた かずひこ	童心社	260
19	しろくまちゃんぱんかいに	わかやま けん	こぐま社	254
20	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房	251

※ 多数巻の本については、貸出回数が最も多い巻の回数

■ 新聞・雑誌

新聞・雑誌は、その時代の社会状況を最もよく映している資料として、発行直後はもとより、月日がたってからも多く利用されます。そこで、武蔵野市では利用頻度の多い資料及び所蔵する価値の高い資料等を3館で分担し、永久保存するものから短期間で廃棄するものまで分類して保存しています。

1. 新聞・雑誌所蔵タイトル数

種別	中央	吉祥寺	プレイス	全館
新聞	45 (12)	22 (2)	33 (9)	53 (17)
雑誌	470 (31)	210 (2)	629 (25)	832 (45)

※ () は外国語の新聞・雑誌のタイトル数

※ 新聞には、官報、東京都公報を含む

2. 官報・新聞縮刷版等

資料名	刊別	所蔵館及び保存年		
		中央	吉祥寺	プレイス
官報	日刊	10年	1年	1年
東京都公報	日刊	10年	1年	1年
朝日新聞縮刷版	月刊	1956 (昭和31) . 1 ~	2年	3年
日本経済新聞縮刷版	月刊	1981 (昭和56) . 1 ~	2年	2年
毎日新聞縮刷版	月刊	1981 (昭和56) . 1 ~	2年	2年
読売新聞縮刷版	月刊	1981 (昭和56) . 1 ~	2年	2年
朝日新聞武蔵野版※	日刊	1994 (平成6) . 1 ~	—	—
産経新聞武蔵野版※	日刊	1957. 1 ~1974. 12 (昭和32~49) 1993 (平成5) . 1 ~	—	—
東京新聞武蔵野版※	日刊	1993 (平成5) . 1 ~	—	—
毎日新聞武蔵野版※	日刊	1951. 1 ~1975. 12 (昭和26~50) 1993 (平成5) . 1 ~	—	—
読売新聞武蔵野版※	日刊	1954. 1 ~1975. 12 (昭和29~50) 1993 (平成5) . 1 ~	—	—
朝日新聞復刻版	—	1988. 7 ~1955. 12 (明治21~昭和30)	—	—

※ 各新聞の武蔵野版のみを切り取り、製本したもの

■郷土・行政資料

武蔵野市に関する郷土・行政資料は、市立図書館が責任を持つべき資料として、積極的に収集、保存しています。

1. 資料の主な種類

- (1) 参考図書 [郷土・行政資料目録等]
- (2) 地域情報資料 [ガイドブック、地図等]
- (3) 自治体資料 [予算・決算書、議会議事録、例規類集、広報、統計、調査報告等]
- (4) 歴史・民俗資料 [地方史、祭礼等]
- (5) 雑誌 [タウン誌、地方誌、郷土研究誌等]

2. 分類

M	別置記号 (MUSASHINOの頭文字)
A1	主題分類 (英字1字・数字1字) : 三郷研 (※) 分類に準拠
00	地理区分 (数字2字) *武蔵野市は10 : 三郷研地理区分に準拠

※三多摩郷土資料研究会 (現「三多摩地域資料研究会」)

3. 年間受入・除籍資料冊数

単位：冊

	受入冊数	除籍冊数	資料数
中央	611	17	25,793
吉祥寺	173	182	925
プレイス	187	367	2,504
合計	971	566	29,222

4. 定点撮影

武蔵野市の景観の移り変わりを郷土写真資料として記録、保存するため、平成4年度より市内の定められた地点を定期的に撮影しています。平成18年度より、資料のデジタル化を進め、平成4年度～19年度はCD-R、平成20年度よりDVD-Rにて作成、管理しています。

撮影箇所 (平成26年度現在)

撮影地点	箇所	撮影年度
①道路交差点1、駅前広場、商店街、公団、踏切、橋、公衆浴場、その他	105箇所	隔年
②畑、果樹園、栗林、雑木林、竹林、梅林、道路交差点2、並木道、銘木	151箇所	隔年
公園①	60箇所	4年に1回※
公園②	52箇所	4年に1回※

※ 新設公園については、設置年度に撮影する

5. 市民文庫

中央図書館では、市内在住の方が著して図書館が寄贈を受けた図書を、「市民文庫」として受け入れています。

■市史編纂

1. 武蔵野市史

昭和 37 年に武蔵野市史編纂委員会が発足し、昭和 40 年に『武蔵野市史資料編』、昭和 43 年に『武蔵野市史続資料編一』、昭和 45 年に『武蔵野市史』を刊行しました。その後、委員会は解散しましたが、図書館内に置かれた「市史編纂室」で引き続き資料整理が行われ、専門家への委託により『続資料編』の刊行が継続されました。市史の刊行は、平成 24 年『続資料編十三』の刊行をもって終了しました。これらの刊行物は、図書館資料として広く一般利用に供するほか、有償刊行物として、各図書館、市役所西棟 7 階市政資料コーナーで提供しています。

市史編纂室が編纂した市史の刊行年及び内容等

	書名	刊行年	内容	価格
1	武蔵野市史資料編	昭和 40 年		2,200
2	武蔵野市続資料編 一	昭和 43 年	武蔵野市の民俗 他	1,000
3	武蔵野市史	昭和 45 年		4,700
4	武蔵野市史 史料目録編 一	昭和 48 年	井口家文書（旧関前村）	500
5	武蔵野市史 史料目録編 二	昭和 49 年	河田家（旧吉祥寺村）、井野家（旧西窪村）、平野家（旧境新田）、後藤家（旧境村）、延命寺（旧関前村）の各文書に基づく	750
6	武蔵野市史続資料編 二	昭和 59 年	河田家文書（旧吉祥寺村） 一	4,400
7	武蔵野市史続資料編 三	昭和 61 年	河田家文書（旧吉祥寺村） 二	4,400
8	武蔵野市史続資料編 四	昭和 62 年	井口家文書（旧関前村） 一	4,400
9	武蔵野市史続資料編 五	平成元年	井口家文書（旧関前村） 二	4,400
10	武蔵野市史続資料編 六	平成 3 年	井口家文書（旧関前村） 三	4,400
11	武蔵野市史続資料編 七	平成 5 年	井口家文書（旧関前村） 四	4,400
12	武蔵野市史続資料編 八	平成 6 年	井口家文書（旧関前村） 五	4,500
13	武蔵野市史 史料目録編 三	平成 11 年	境・秋本家文書	3,500
14	武蔵野市史続資料編 九	平成 14 年	諸家文書 一	4,500
15	武蔵野市史続資料編 十	平成 17 年	境・秋本家文書 一	4,500
16	武蔵野市史続資料編 十一	平成 19 年	境・秋本家文書 二	4,500
17	武蔵野市史続資料編 十二	平成 22 年	境・秋本家文書 三	4,500
18	武蔵野市史続資料編 十三	平成 24 年	境・秋本家文書 四	4,500

2. 子ども武蔵野市史

『子ども武蔵野市史』は、小学校高学年から中学生、および入門者を対象とした資料で、原始、古代から現代までの武蔵野市の歴史をわかりやすく紹介しています。平成 19 年度より、3 年間をかけて執筆され、平成 21 年度（平成 22 年 3 月）に刊行されました。図書館資料として広く一般利用に供するほか、有償刊行物としての提供も行っています。

（『子ども武蔵野市史』の内容等）

『子ども武蔵野市史』（井上 孝著 平成 22 年刊 原始・古代～現代史、年中行事 価格 500 円）

■ AVサービス

AV資料（視聴覚資料）は中央図書館でCD、ビデオ、DVD、吉祥寺図書館でCDを所蔵しています。平成17年11月から予約を開始し、全館で貸出を行っています。平成23年1月より、DVDの貸出を開始しました。

貸出点数はCD1人2タイトル、ビデオ、DVD1人2タイトル、合計4タイトルまでです。貸出期間はそれぞれ2週間となっています。

中央図書館には、CD、DVDの館内視聴ブースがあります。吉祥寺図書館の試聴ブースでは、CDの試聴ができます。館内視聴は各館とも1人1日1回に限り、当日1階メインカウンターで受け付けます。

1. 資料所蔵数

種別	中央	吉祥寺	合計
CD	8,341	3,143	11,484
ビデオ	2,559	—	2,559
DVD	2,611	—	2,611

2. 貸出件数

中央	吉祥寺	プレイス	合計
73,429	24,775	9,120	107,324

3. 視聴用デッキ所有数

種別	中央	吉祥寺
CD用	—	3
CD・DVD共用	6	—

4. AVブース利用状況

種別	中央	吉祥寺	合計
CD	327	1,297	1,624
DVD	3,900	—	3,900
合計	4,227	1,297	5,524

■ 児童サービス

子どもと本により良い結びつきを作り出すことを目的に、様々な児童サービスを行っています。

1. こどもまつり

様々な行事を行うことで、子どもたちに図書館が「新しい発見ができる、知的好奇心を刺激するところ」であることをアピールし、また図書館利用を促進させることを目的に、平成元年より開催しています。

場 所 中央・吉祥寺・プレイス
 開催期間 7月21日(月)～31日(木)
 対 象 幼児、小学生

中央図書館

単位：人

7月	行事内容	時間／対象／定員	子ども	大人	小計
21(月)	映画会「忍たま乱太郎 忍術学園全員出動!の段」(87分)	午前10時／幼児・小学生とその保護者／70名	44	31	75
23(水)	お話し会スペシャル(各回40分)	午前10時30分／乳幼児 午後3時／小学生	43	37	80
24(木)	工作教室「ポップアップカードをつくらう」	午後2時／小学3～6年生／25名	13		13
26(土)	映画会「おじゃる丸スペシャル 満月ロード危機一髪」(50分)	午前10時／乳幼児・小学生とその保護者／70名	13	9	22
27(日)	科学遊び「ぼくもわたしもカミナリさま～カミナリカードをつくらう～」	午前10時／小学生／25名	19		19
27(日)	科学遊び「偏光板であそぼう～色のかわるステンドグラスをつくらう～」	午後2時／小学生／25名	27		27
28(月)	点字教室「点字で名刺・しおりをつくらう」	午後2時／小学3～6年生／25名	6		6
30(水)	工作教室「フェルトでつくるこぐまのサッカー」	午後2時／小学生／25名	26		26
31(木)	映画会「ディズニー映画 ミッキーのドキドキ汽車旅行ほか」(65分)	午前10時／幼児・小学生とその保護者／70名	52	31	83
合 計			243	108	351

吉祥寺図書館

単位：人

7月	行事内容	時間／対象／定員	子ども	大人	小計
21(月)	映画会「ボックス・バニー イタズラなウサギ」(60分)	午後2時／幼児・小学生とその保護者／50名	24	17	41
23(水)	科学遊び「は～ん反射ってなんだ～水の万華鏡をつくろう～」	午前10時／小学生／25名	25		25
23(水)	科学遊び「手づくりカメラで写真を撮ろう」	午後2時／小学生／25名	28		28
24(木)	点字教室「点字で名刺・しおりをつくろう」	午後2時／小学3～6年生／25名	5		5
26(土)	映画会「ディズニー映画 ガリバー旅行記」(74分)	午後2時／幼児・小学生とその保護者／50名	32	21	53
29(火)	工作教室「フェルトでつくるこぐまのサッカー」	午後2時／小学生／25名	16		16
30(水)	お話し会スペシャル(各回40分)	午前10時30分／乳幼児 午後3時／小学生	42	38	80
合計			172	76	248

武蔵野プレイス

単位：人

7月	行事内容	時間／対象／定員	子ども	大人	小計
21(月)	映画会「ディズニー映画 ピノキオ」(86分)	午後2時／幼児・小学生とその保護者／70名	68	49	117
22(火)	工作教室「ポップアップカードをつくろう」	午後2時／小学3～6年生／25名	24		24
24(木)	科学遊び「ドライアイスであそぼう～シャーベットをつくろう～」	午前10時／小学生／25名	27		27
24(木)	科学遊び「結晶ってきれいでしょ～結晶ツリーをつくろう～」	午後2時／小学生／25名	24		24
25(金)	お話し会スペシャル(各回40分)	午前10時30分／乳幼児 午後3時／小学生	74	51	125
27(日)	映画会「こねこのぴっち」「おまえうまそうだな」(55分)	午後2時／幼児・小学生とその保護者／70名	22	18	40
28(月)	工作教室「フェルトでつくるこぐまのサッカー」	午後2時／小学生／25名	22		22
31(木)	点字教室「点字で名刺・しおりをつくろう」	午後2時／小学3～6年生／25名	8		8
合計			269	118	387

単位：人

	子ども	大人	合計
3館合計	684	302	986

2. どっきんどようび

普段図書館に来ない子どもたちにも、図書館に親んでもらい、本に関連した楽しい催しを行うことで、図書の利用促進を図っています。

場 所 中央・吉祥寺・プレイス

日 時 中 央：偶数月 第2土曜日、午後2時30分より

吉 祥 寺：7・11・3月 第2土曜日、午後2時より

プレイス：5・9・1月 第2土曜日、午後2時30分より

中央図書館

単位：人

月	内容		定員	子ども	大人	小計
4	映画会	「うっかりペネロペ」	70	45	33	78
6	映画会	「Moomins」(ムーミンパペットアニメーション)	70	40	31	71
8	映画会	「ウミガメと少年」	70	20	10	30
10	映画会	「Moomins」(ムーミンパペットアニメーション)	70	19	12	31
12	科学遊び教室	「ビリッ、バチッ、静電気であそぼう」 (講師：坂口 美佳子)	25	26		26
2	人形劇	「こぶとりじいさん」「北風と太陽」 (劇団 貝の火)	70	82	62	144
合計				232	148	380

吉祥寺図書館

単位：人

月	内容		定員	子ども	大人	小計
7	映画会	「スイミー」「どろんこハリー」ほか	50	26	27	53
11	工作教室	「どんぐりであそぼう」 (講師：大滝 玲子)	25	17	7	24
3	人形劇	「ぬくぬく」 (人形劇・木ぐつのも)	50	48	49	97
合計				91	83	174

武蔵野プレイス

単位：人

月	内容		定員	子ども	大人	小計
5	映画会	「はらぺこあおむし」「かもさんおとおり」ほか	70	73	67	140
9	工作教室	「紙ねんどでお月見うさぎをつくろう」 (講師：岩崎 慎一)	30	10		10
1	人形劇	「がまくんとかえるくん」ほか (人形劇団ポポロ)	100	127	98	225
合計				210	165	375

単位：人

	子ども	大人	合計
3館合計	533	396	929

3. おはなし会

絵本の読み聞かせや簡単な工作を通じて、子どもたちに本の楽しさを知ってもらい、図書館に親しみを持ってもらうため開催しています。

場 所 中央・吉祥寺・プレイス

日 時 中央・吉祥寺：毎週水曜日（第1水曜日は館内整理日のため実施せず）、
午後3時より

プレイス：毎週金曜日（第3金曜日は休館のため実施せず）、午後3時30分より

対 象 幼児、小学校低学年

内 容 紙芝居・絵本等の読み聞かせ・語り・工作・折り紙

実施回数及び参加人数

	回数(回)	参加人数(人)		
		子ども	大人	合計
中央	37	249	165	414
吉祥寺	36	98	74	172
プレイス	37	369	278	647
合計	—	716	517	1,233

※ 中央・吉祥寺図書館の第4水曜日と武蔵野プレイスの第2金曜日のおはなし会は、市内ボランティア「おはなし語ろう会」の協力により実施。

※ 武蔵野プレイスにおいて、午後3時30分からのおはなし会に先立ち、プレイス建物前の、境南ふれあい広場公園にて、「青空ふれあいおはなし会」を実施。通常のおはなし会とは異なり、青空のもとで絵本の読み聞かせを行い、通常のおはなし会への呼び水とすることを目的としています。

5月6日（火）、10月25日（土）、いずれも午後3時30分から30分間実施し、それぞれ22名（うち子ども12名）、52名（うち子ども27名）の参加者がありました。

4. 科学あそび教室

実験や観察などの「直接体験」を通じて子どもたちに科学への興味を持たせ「間接体験」として科学の本への読書の動機づけを行うことで、図書館の利用促進を図っています。テーマに関連する図書館の読み聞かせ、ブックトークを行い、紹介した図書館のブックリストを配布しました。

場 所 武蔵野プレイス 3階スペースC

日 時 ①8月22日（金） ②8月25日（月）
午後2時より1時間

内 容 ①わゴムでピョーン！～のびてちぢむゴムのちから～
・「わゴムのぴょん」作りと飛び方比べの実験
・「わゴムのぴょん」を応用した、へビの工作
・読み聞かせ「わごむはどのくらいのびるのかしら」
②かんたん！科学マジック～‘見えない力’の実験～
・「とりだせないゴムてぶくろ！？」の実験
・「じりよくをきるハサミ！？」の実験

対 象 小学生
参加人数 ①17名 ②16名

5. 春休みこどもイベント「小さい劇場 ぞうのエルマー」(劇団風の子)

春休みの時期に、身近なものを使って様々なものを表現する劇を観ることにより、子どもの想像力を刺激し、楽しんでもらうと同時にテーマに関連する本も紹介しました。

場 所 武蔵野プレイス 4階フォーラム
日 時 3月21日(土) 午後2時30分から1時間
対 象 幼児・小学生およびその保護者
参加人数 170名(大人76名 子ども94名)

6. 児童用配布物

(1) 『しおりちゃん』・『ぶつくまーく』

それぞれ幼児・小学校低学年、小学校高学年を対象にした本の紹介小冊子で、年3回発行し、それに合わせて、各館で紹介した本の展示も行っています。

平成26年度テーマ:「数の本」、「羊の本」、「家・建物の本」

(2) ブックリスト『赤ちゃんといっしょに絵本を』・『絵本で広がる楽しい世界』

乳幼児向け図書の紹介リストで、それぞれ、0～2歳児向け、3～5歳児向けに作成しています。

(3) 『しんいちねんせいにすすめるほん』

新1年生に向けて、図書館の案内とおすすめの本の紹介をし、図書館へ出かけるきっかけとなるように、市立小学校1年生へ9月に配布しています。(26年度は冊子の完成が9月になったため、9月に配布。来年度以降は5月に配布予定)

7. むさしのブックスタート

「赤ちゃんと一緒に絵本で楽しい時間を共有して欲しい」という願いから、平成14年度に開始しました。0歳児に対して実施するとともに、絵本とのかかわりが継続し一層充実するように3歳児に対しても行っています。年間参加者は、ブックスタート2,413組、乳幼児向けおはなし会、講演会等は2,897人に上っています。

(1) ブックスタート

① 3～4か月児対象のブックスタート

場 所 保健センター (中央図書館隣)
内 容 3～4か月児健康診査(健診)の参加者に対して、図書館員が保護者へ個別にメッセージを伝え、ブックスタートパック(絵本、アドバイス集、ブックリスト、図書館案内等)を手渡す。
対 象 平成26年4月以降に誕生した市民及びその保護者
回 数 26回
実 施 数 1,312組(健診対象者数1,291人)

② 3歳児対象のフォローアップ

場 所	保健センター（中央図書館隣）
内 容	3歳児健康診査（健診）の集団指導の時に、図書館員が子どもに向けて絵本の読み聞かせをした後、保護者に向けてメッセージを伝え、健診終了後に絵本とブックリストを手渡す。
対 象	平成26年4月以降に3歳になる市民及びその保護者
回 数	25回
実 施 数	1,101組（健診対象者数 1,140人）

(2) 乳幼児向けおはなし会

ブックスタートのフォロー事業の一つとして専門家に依頼し、平成14年度に開始しました。家庭における乳幼児との楽しいひとときの過ごし方の参考にしてもらい、ブックスタートのメッセージをより深く浸透させることを目的としています。

場 所	市内各図書館
対 象	乳幼児及びその保護者

実施日数及び参加人数

	日数	参加人数(人)		
		子ども	大人	合計
中央	30	512	476	988
吉祥寺	20	213	201	414
プレイス	20	669	659	1,328
合計	—	1,394	1,336	2,730

(3) 講演会等

乳幼児の読書および絵本の専門家を招き、講演会等を開催しています。

① 講演会 「ももんちゃんとおそぼう in むさしの」

場 所	中央図書館 3階視聴覚ホール
日 時	7月8日（火） 午前10時～11時30分
講 師	とよた かずひこ 氏（絵本作家）
参加人数	99人（大人55人 子ども44人）
保 育	10人（0歳児・4人 1歳児・2人 2～3歳児・4人）

② 人形劇 「人形バラエティショウ」

（うたっておそぼう・すてきなカレーラーメン・きつねとくまのはんぶんこ）

場 所	中央図書館 3階視聴覚ホール
日 時	11月16日（日） 午後2時30分～3時30分
出 演	有限会社オフィスやまいも
参加人数	68人（大人32人 子ども36人）

8. 除籍資料のリサイクル

蔵書点検等で除籍した児童書を年1回、市内の保育園、学童保育所、学校図書室等に配布し、再活用しています。

実績

単位：冊

	実施日	配布冊数
中央	2月2日～3日	1,438
吉祥寺	1月26日～27日	506
プレイス	1月26日～27日	793
合計	—	2,737

9. 季節のテーマ展示等

普段は書庫に入っている本や、なかなか手にとられない本を、季節ごとにテーマを決め各館の児童コーナーに展示し、本の利用の促進や、テーマに沿った本の紹介につとめています。

(1) 『しおりちゃん』・『ぶっくまーく』の展示

児童用配布物として作成している『しおりちゃん』『ぶっくまーく』に紹介している本を各館で展示しています。年3回の学校の長期休みに合わせて発行、展示をしています。

(2) 「子ども読書の日の本」の展示

平成13年に制定された「子ども読書の日」の記念イベントとして、書籍や図書館のことを知ってもらうという目的で、書籍や図書館に関する本の展示・貸出を行いました。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：4月14日（月）～5月18日（日）

展示冊数：各館 約150冊

(3) 「市内公立小学校の先生が勧める夏休みの本」の展示

武蔵野市立小中学校教育研究会図書館研究部推薦の夏休みに子どもたちにすすめる本の展示・貸出を行いました。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：7月7日（月）～8月31日（日）

展示冊数：各館30冊

(4) 「戦争と平和の本」の展示

8月15日の終戦記念日がある8月に、あらためて戦争と平和を考えるために本を紹介しています。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：8月4日（月）～31日（日） 中央・吉祥寺

8月7日（木）～31日（日） プレイス

展示冊数：各館 約200冊

(5) 「しんいちねんせいにすすめるほん」

小学校1年生の子どもたちに、図書館の案内とおすすめの本を紹介した冊子「しんいちねんせいにすすめるほん」を作成したため、その冊子に紹介された本を展示し、1年生に読書の楽しさを伝える。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：9月16日(火)～12月28日(日)

展示冊数：各館34冊

(6)「クリスマスの本」の展示

クリスマスの際に、絵本や読み物からもクリスマスの雰囲気を楽しんでもらえるように本を展示し、クリスマスの本を紹介したリーフレットも配布しています。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：11月10日(月)～12月25日(木)

展示冊数：各館約600冊

(7) そのほか、四季折々の本を児童カウンターに常時展示しています。

場 所：中央

10. 配慮を必要とする子どもへのサービス

平成24年5月より、みどりのこども館ウィズで、平成26年7月より障害者福祉センター内の千川さくらっこクラブで、障がいを持つなどの理由で、図書館に来館することが難しい子どもたちとその保護者を対象に、月に1回出張おはなし会と本の貸出を実施しています。また、図書館見学会も実施しています。

(1) おはなし会

場所	回数	参加人数(人)			貸出冊数(冊)
		子ども	大人	合計	
みどりのこども館	10	116	73	189	113
さくらっこクラブ	8	68	51	119	66

(2) 図書館見学

①さくらっこクラブ図書館見学会

日 時：8月12日(火) 午後1時15分～2時30分

内 容：児童コーナーを中心とした図書館の見学

絵本の読み聞かせと映画鑑賞

参加人数：19名(子ども8名 大人11名)

②みどりのこども館ウィズ図書館見学会

日 時：3月30日(月) 午前10時50分～11時30分

内 容：児童コーナーの説明

子どもたち一人ひとりが、本を選んで、自動貸出機で本を借りる。

人 数：12名(子ども7名 大人5名)

■ Y A (ヤングアダルト) サービス

各図書館には、主に中学生・高校生を対象にした本を集めたYAコーナーを設置しています。図書を貸し出すだけでなく、図書館に一層親しみをもってもらうために、様々な取組みを行っています。

1. 図書展示

中学生・高校生に対して読書のきっかけ作りや、選書の一助となるような図書の展示を行いました。

中央図書館

『夏休みにすすめる本』

場 所 中央図書館 1階YAトピックスコーナー
期 間 8月4日(月)～8月31日(日)
内 容 武蔵野市立小中学校教育研究会図書館研究部推薦『本の国への招待状』に掲載されている本を読書レベルに合わせて展示しました。
展示冊数 110冊

吉祥寺図書館

『ラノベ読む?』

場 所 吉祥寺図書館 地下1階YAコーナー付近
期 間 2月2日(月)～2月23日(月)
内 容 シリーズ物のライトノベルの第1巻を集めて展示しました。
展示冊数 33冊

武蔵野プレイス

(1)『友達』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階スタジオラウンジ
期 間 6月1日(日)～6月30日(月)
内 容 「友達」をテーマに、バラエティに富んだ本を展示しました。
展示冊数 37冊

(2)『Trip! Trip!! Trip!!!～旅に出たくなる本～』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階スタジオラウンジ
期 間 7月3日(木)～9月2日(火)
内 容 青少年が夏休みに旅に出たくなるような本を展示しました。また、青少年に「旅」にまつわるエピソードをコメントカードに書いてもらい、掲示しました。
展示冊数 165冊、コメントカード回収枚数 109枚

(3)『Pick Up Magazine』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階スタジオラウンジ
期 間 10月2日(木)～10月31日(金)
内 容 青少年向けの雑誌と関連する図書資料を展示しました。
展示冊数 45冊

(4)『今年の推し本!～青少年とプレイススタッフが選ぶ わたしの一冊～』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階スタジオラウンジ

期 間 12月4日(木)～12月28日(日)
内 容 青少年と武蔵野プレイススタッフが作成したおすすめ本のポップを本と一緒に
展示しました。
展示冊数 53冊、ポップ回収枚数 77枚
※ポップ：紙を媒体として、紹介する本の説明文・イラスト等を手書きしたもの

(5) 『手作りの冬!』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階スタジオラウンジ
期 間 1月5日(月)～2月3日(火)
内 容 手芸や料理、工作等手作りに役立つ本を展示しました。
展示冊数 74冊

※(3)(4)(5)は、展示期間中、スタジオラウンジ利用者に展示図書を紹介する「本のデリバリー」を実施しました。

2. 夏休み図書館司書体験(武蔵野プレイス)

本に関わる仕事に興味のある高校生に、図書館員の仕事を体験してもらいました。

(1) 一日司書体験

場 所 武蔵野プレイス
日 時 ①8月4日(月) ②8月5日(火) ③8月19日(火)
午前9時～午後4時
対 象 高校生
内 容 本の返却作業、予約本の回収、模擬レファレンス、本の修理等、図書館の仕事を体験してもらいました。また、図書館員と話し、働くことについて考える時間を設けました。

参加人数 4名

(2) 絵本の読み聞かせ講座

場 所 武蔵野プレイス
日 時 ①8月8日(金) ②8月29日(金)
午前10時～午後4時
対 象 高校生
内 容 絵本の選び方や読み方のコツを学ぶ講座を行いました。希望者は児童向けのおはなし会で、実際に読み聞かせを行いました。

参加人数 2名

3. 図書館ツアー(武蔵野プレイス)

中学生・高校生に図書館への親しみを深めてもらうため、図書館の仕事やバックヤードが見学できるツアーを行いました。近隣中学校・高校の図書委員会によびかけ、参加者を募りました。

場 所 武蔵野プレイス
日 時 ①2月9日(月) 午後2時～4時 ②2月14日(土) 午後2時～4時
対 象 主に武蔵野市内境地域の中学校・高校の図書委員会
内 容 図書館の見学やブックコート体験を行いました。
参加人数 ①3名 ②17名

■ 読書の動機づけ指導

「読書の動機づけ指導」（略称「読書指導」）は、昭和 42 年、子どもたちに読書の楽しさを伝えることを目的に開始されました。以来 40 年以上、学校（学校教育）と、図書館（生涯学習）そして講師が連携する特色ある事業として続いています。平成 14 年には、文部科学大臣賞を受賞しました。

1. 概要

時期 5月中旬から6月中旬

場所 市立小学校（12校）

対象 市立小学校3年生

内容 毎年度、講師、学校側代表、図書館職員からなる「図書選定部会」が新刊書を中心に30数冊の本を選定します。当日は、講師と図書館職員が学校を訪問し、学校図書室等を会場に読書指導を行います。図書館職員による図書館紹介の後に、講師がブックトーク、読み聞かせ等を織り交ぜつつ本の紹介をします。使った本はその場でクラスに贈られ、その後、参観の保護者の方々との質疑応答や読書相談などを行っています。

講師 (50音順)

長田 道子 氏（元小学校教諭・紙芝居文化の会会員・日本子どもの本研究会会員）

鈴木 浩子 氏（元小学校教諭・日本子どもの本研究会会員）

増本 裕江 氏（科学読物研究会・日本子どもの本研究会会員）

松木 やす子 氏（国分寺市立第九小学校学校運営協議会（学校評議委員会）委員）

山花 郁子 氏（日本子どもの本研究会・日本児童図書研究会・日本児童文学者協会評議員）

2. 参加人数

単位：人

学校名	クラス	児童	保護者	見学者	合計
第一小学校	2	66	26	5	97
第二小学校	2	60	14	4	78
第三小学校	2	65	23	6	94
第四小学校	2	59	26	4	89
第五小学校	2	59	9	2	70
大野田小学校	3	102	16	5	123
境南小学校	3	90	19	3	112
本宿小学校	2	40	8	6	54
千川小学校	2	45	13	6	64
井之頭小学校	2	51	16	5	72
関前南小学校	1	38	10	4	52
桜野小学校	4	144	34	2	180
合計	27	819	214	52	1,085

■ 学校連携

市内小学校、中学校等の図書館見学、調べ学習等の受け入れや、移動教室・修学旅行・セカンドスクールの事前学習用資料、調べ学習用資料や読書活動用資料の貸出を行っています。平成21年度から、貸出資料の範囲の拡大やPRの充実などにより、貸出件数、冊数が年々伸びています。

また、平成20年度から21年度まで、学校と市立図書館との連携検討委員会を設置し、今後の学校連携の拡充について検討し、報告書を作成しました。また、平成22年度からは各市立小中学校の先生と図書館員で、学校連携用図書を選書会議を開催しています。

受入館	図書館見学(引率者含)						調べ学習(学校単位)				資料の貸出			
	幼稚園(人)		小学校(人)		中学校(人)		小学校(人)		中学校		小学校(冊)		中学校(冊)	
中央	1園	12	3校	148	-	-	2校	4	-	-	188校	4,602	7校	438
吉祥寺	-	-	1校	10	1校	5	-	-	-	-	-	-	-	-
プレイス	-	-	4校	192	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1園	12	8校	350	1校	5	2校	4	-	-	188校	4,602	7校	438

学校への読み聞かせ等

1. 読み聞かせとブックトーク講座

日時：6月25日(水) 午後2時30分～3時30分

場所：第四小学校

内容：教職員向けの研修会において、読み聞かせ・ブックトークの方法、選書についての研修をおこなうと同時に、本の紹介をする。

2. 小学校1年生向け読書案内と図書館紹介

日時：9月25日(木) 午前9時30分～午後0時10分

場所：第四小学校 図書室

内容：1年生児童に「しんいちねんせいにおすすめのほん」に掲載されている本のブックトークと図書館の紹介をする。1クラスごとに計3回実施。

3. 読み聞かせ講座

日時：12月11日(木) 午前11時30分～午後0時30分

場所：第三中学校

内容：中学2年生が、近隣の本宿小学校児童に対して、本の読み聞かせをおこなうということで、読み聞かせの方法、絵本の紹介などをおこなう。

■ 職場体験

市内中学生（国公立・私立を問わず、また、他区市の学校に通学する市内在住の生徒も含みます）の職場体験やボランティア体験の受け入れを行っています。また、司書資格取得課程の学生の図書館実習、インターンシップの学生の実習も受け入れしています。

受入月日	学年	人数	受入館
5月20日～22日	中学2年生	2	中央
5月22日	中学2年生	2	プレイス
7月8日～10日	中学2年生	2	中央
7月26日～27日	高校1年生	1	中央
8月20日	中学2年生	2	中央
9月1日～7日	大学2年生	1	中央
9月3日～4日	中学2年生	2	中央
9月4日～5日	中学2年生	3	プレイス
9月9日～11日	中学2年生	2	中央
11月5日～6日	中学2年生	4	中央・吉祥寺
11月11日～13日	中学2年生	2	中央
1月22日	中学1年生	8	中央・プレイス
合計		31	

■子ども文芸賞

平成16年度より子どもの読書活動推進を目的に実施してきた「読書感想作品募集事業（どっかん!）」をさらに発展させ、平成18年度より、小説や詩、俳句、短歌なども含めた『武蔵野市子ども文芸賞』を創設しました。子どもたちが日ごろ感じていること、思い描いたことなどを様々な方法で表現し、国語力の向上や豊かな表現能力の育成を図ることを目的に実施しています。

1. 概要

募集期間	第1・4部門 9月1日（月）～10月6日（月）図書館必着 第2・3部門 9月1日（月）～10月23日（木）図書館必着
対象	市内在住・在学の小中学生
募集内容	第1部門 小説・童話・ずい筆 第2部門 詩 第3部門 俳句・短歌 第4部門 読書感想作品（感想文、作者・登場人物への手紙等）
審査員	長井 るり子 氏（児童文学作家） 山口 彭子 氏（教育委員） みなみ らんぼう 氏（シンガーソングライター） 藤本 美和子 氏（俳人協会幹事） 山花 郁子 氏（児童文学作家）
応募作品数	3,060点（うち19点は規定外）

〔内 訳〕

単位：点

部門	小1～3	小4～6	中学生	合計
第1部門（小説・童話・ずい筆）	13	27	46	86
第2部門（詩）	247	89	144	480
第3部門（俳句）	136	457	714	1,307
第3部門（短歌）	4	134	425	563
第4部門（読書感想作品）	91	298	216	605
規定外	5	7	7	19
合計	496	1,012	1,552	3,060

受賞作品数 56点

〔内 訳〕 最優秀賞 4点 優秀賞 22点 佳作 30点

2. 表彰式

名 称	武蔵野市子ども文化・スポーツ表彰 （武蔵野市児童生徒表彰、武蔵野市子ども文芸賞 合同表彰式）
日 時	3月1日（日） 午後1時30分～3時30分
場 所	武蔵野公会堂
対 象	最優秀賞・優秀賞・佳作受賞者

3. 作品集

受賞者全員、市内各小中学校及び希望者に配付。市内図書館で所蔵。

■ 子ども読書活動推進計画

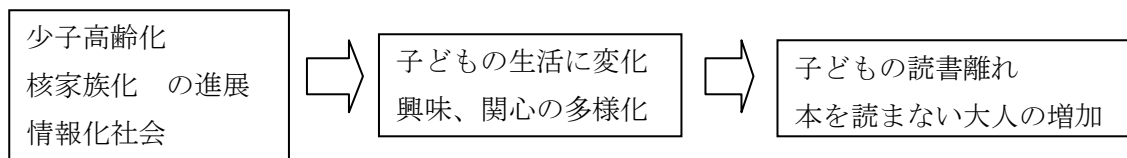
平成 13 年 12 月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、国は「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」と位置づけました。

武蔵野市では、これまで様々な形で多くの施設や機関が子どもの読書活動に関わり、推進活動を行ってきています。これまでの活動や施策を、網羅的、体系的に整理し、よりいっそう子どもたちの読書活動が活発となるよう支援をすることを目的とし、平成 22 年 6 月に「武蔵野市子ども読書活動推進計画策定委員会」を設置しました。図書館を事務局とし、関係各課、施設、学校等関係者から成る委員会で検討を重ね、平成 23 年 8 月に完成しました。

1. 子ども読書活動推進計画の概要

【第 1 章 計画策定の背景】

1 子ども読書をめぐる社会的背景



- 全ての子どもにとって豊かな読書環境を作り出していくことが必要
- 子どもの読書環境を整えていく責務を果たすことが求められている

- 2 国の動向 国際子ども図書館の設置、子どもの読書活動の推進に関する法律の施行、子ども読書活動の推進に関する基本的な計画の策定
- 3 東京都の動向 東京都子ども読書活動推進計画の策定
- 4 武蔵野市の動向 子どもプラン武蔵野、学校教育計画、生涯学習計画、図書館基本計画

【第 2 章 武蔵野市子ども読書活動推進計画の基本的考え方】

1 計画の目的

市の様々な機関、施設において多様な形で行っている子どもの読書活動を推進するための施策を体系化、市全体での子ども読書への取組みとして整理し、さらに有効なものへと発展させていきます。

2 計画の基本理念

市内のすべての子どもが読書を楽しむことができるような環境を将来的な展望も含めて、整えていくことを目指します。

3 計画の基本方針

- (1) 子どもの読書環境の整備
- (2) 家庭、地域、学校、図書館、関係機関が連携した事業展開
- (3) 子どもの読書活動に関わる人材の育成
- (4) 子どもの読書活動に関する既定事業の継続と拡充
- (5) 子どもの読書活動に関わる保護者への啓発、支援
- (6) 武蔵野市の他施策との連動

4 計画の期間

平成23年度から概ね5年間とする

5 計画の進行・管理

教育委員会による、その権限に属する事務の管理および執行の状況についての点検および評価の制度を活用し、進行管理を進めていきます。

【第3章 武蔵野市における子ども読書活動の現状と課題、取組み】

1 家庭・地域等

<現状と課題>

関係機関において様々な読書活動を実施



- 子どもの読書に関わる活動の更なる充実
- 子どもの読書に関わる人材の育成
- 子どもと保護者に対する働きかけの充実

<今後の取組み>

- 子どもと保護者が読書に親しむ環境づくりと読書活動支援
- 関係機関の職員を対象とした講座、講演会、研修の実施

2 学校

<現状と課題>

学校図書館の整備が進められ、各校で様々な読書活動を実践



- 学校図書館の更なる充実
- 子どもの読書に関わる人材の活用。保護者への啓発、支援
- 1か月に家で1冊も本を読まない子どもの割合の減少

<今後の取組み>

- 蔵書の充実、展示の工夫など学校図書館機能の充実
- 学校図書館の開館時間の拡大と読書時間の確保・充実、読書の習慣化
- 学校と市立図書館との連携事業の充実
- 図書室サポーター等を対象とした研修の実施

3 市立図書館

<現状と課題>

児童書の配備、貸出、紹介等全ての年齢にわたる子どもたちに読書の機会を提供



- 無認可保育園や私立学校への情報提供や支援
- 中高生を対象としたサービスの展開
- 子どもの読書に関わる人材の育成

<今後の取組み>

- 児童、ヤング・アダルトサービスの充実
- ハンディキャップを持つ子どもへのサービスの実施
- 子どもの読書に関わる人材の育成、活用
- 学校と市立図書館との連携事業の拡大
- 保護者への啓発活動の実施、子どもの読書に関わる活動への支援

4 関係機関等の連携、協力

<現状と課題>

図書館等関係機関や学校間の連携、保護者や地域の協力の下、読書活動を展開



- 家庭、学校、図書館など地域社会全体のより効果的な連携
- 子どもの読書に関わる人材の育成・確保

<今後の取組み>

家庭、地域、学校、関係機関をつなぐ中心機関、読書活動に関する相談窓口としての市立図書館の体制整備

- 子どもたちの読書活動の指針となるようなブックリストの作成

2. 平成 26 年度 of 取組み

平成 26 年度も、図書館として引き続き計画に基づいた事業を実施してきました。今年度は平成 24 年度から開始している配慮を必要とする子どもへのサービスとして実施している、みどりのこども館への出張おはなし会に加えて、新たに障害者福祉センター内の学童保育所「千川さくらっこクラブ」および「千川おひさま幼児教室」（就学前児童対象施設）への出張おはなし会と本の貸出を開始しました。

また、新しい事業として、小学校 1 年生向けの読書案内と図書館紹介の冊子を作成し、各小学校に配布し、一部の小学校には職員が出向いて、ブックトークや読み聞かせを行いました。これによって武蔵野市では、0 歳のブックスタートを最初に、3 歳のブックスタート、6 歳（小 1）での読書案内、9 歳（小 3）での読書の動機づけ指導と、3 年ごとの子ども読書活動推進の取組みを実施することとなりました。

今後は、更に上の年齢への取組みや、それぞれの活動を一層深めていくことが必要となります。

■ 団体貸出サービス及び文庫活動助成

個人利用者への貸出だけでなく、家庭文庫や学級文庫、学童クラブ等の団体への貸出も行っています。団体貸出用図書は一般貸出用図書とは別に所蔵しています。

1. 蔵書数及び貸出数

	蔵書数	貸出数
一般書	5,689	688
児童書	19,050	10,421
合計	24,739	11,109

2. 団体貸出サービス

団体貸出登録数	24 団体
図書貸出期間	2 か月
貸出冊数	300 冊まで

3. 武蔵野市文庫連絡会（文庫連）事業

文庫連登録数	5 団体
定例会開催数	6 回
図書館・文庫連共催事業	2 回

(1) 春の催し

場 所	中央図書館 3 階視聴覚ホール
日 時	6 月 10 日（火）、午前 10 時 30 分～午後 0 時 30 分
対 象	武蔵野市文庫連絡会会員および一般利用者
内 容	講演会「増田裕子のパネルシアターであそぼう！」
講 師	増田 裕子 氏（シンガー・絵本・パネルシアター作家）
定 員	50 名
参加人数	31 名
保 育	希望者無

(2) 秋の催し

場 所	中央図書館 3 階視聴覚ホール
日 時	10 月 4 日（土）午前 10 時 30 分～午後 0 時 30 分
対 象	武蔵野市文庫連絡会会員および一般利用者
内 容	講演会「新作絵本『ぐるぐるぐるぼん』で遊んじゃおう！」
講 師	竹内 通雅 氏（絵本作家）
定 員	50 名
参加人数	37 名

■ 障害者サービス

市内在住の視覚障害者、重度の肢体不自由者などの方々に図書館利用者登録の他、障害者サービスの登録をした方に以下のサービスを行っています。

音訳はボランティアグループ『武蔵野市立図書館朗読奉仕の会』、点訳は『六実会』の協力により実施しています。

平成 23 年、『武蔵野市立図書館朗読奉仕の会』は、財団法人鉄道弘済会、社会福祉法人日本盲人福祉委員会主催の第 41 回「朗読録音奉仕者感謝行事」において長年の業績が認められ、朗読録音奉仕グループ奨励賞を受賞しました。この賞は朗読録音奉仕者の養成活動実績が顕著なボランティア団体を対象に贈呈されています。

1. 登録者数

単位：人

年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
登録者数	99	102	101	104	101

2. 利用者サービス

(1) 録音図書

市内在住の視覚障害者等、通常の読書が困難な方に録音図書の貸出をしています。

① 録音図書所蔵数

録音図書には、音訳ボランティアの協力により図書館で録音作成した“自館作成”と、寄贈・購入・委託により受入をした資料があり、媒体は、カセットテープと、デイジー（※）の 2 種類があります。

※DAISY規格

DAISYは「Digital Accessible Information System」の略で、カセットテープに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として普及しており、専用のツールを使って作成でき、専用機器やパソコンで再生することができます。

記録媒体の主なものはCD-ROMで、1枚に長時間の録音をすることができます。また、音質の劣化がなく、見出しやページでの検索が可能なことも大きな特徴です。

	平成 26 年度受入数		所蔵数	
	タイトル数	本数(枚数)	タイトル数	本数(枚数)
自館作成テープ	25	181	827	5,269
寄贈テープ	0	0	0	0
購入テープ	0	0	322	990
テープ合計	25	181	1,149	6,259
自館作成デイジー	47	47	209	209
寄贈デイジー	1	1	2	2
購入(委託)デイジー	6	6	58	61
デイジー合計	54	54	269	272
総計	79	235	1,418	6,531

② 録音図書貸出申込（タイトル）数

利用者は、録音図書目録や都立図書館発行の新作情報から必要なテープやデジジーを申し込み、貸出を受けることができます。武蔵野市立図書館で所蔵していない場合は、全国の所蔵する図書館から取り寄せて貸出をしています。

	カセット	デジジー	合 計
当館から利用者	40	223	263
当館から他公共図書館	77	386	463
当館から点字図書館	0	179	179
他公共図書館から利用者	1	86	87
点字図書館から利用者	5	412	417
合 計	123	1,286	1,409

(2) 対面朗読サービス

市内在住の視覚障害者等の方で事前に申し込みをされた方に、図書館の本・新聞・雑誌や、個人所有の資料（手紙、電気製品などの説明書等）の対面朗読を音訳ボランティアの協力により実施しています。中央図書館は3階、武蔵野プレイスは1階に対面朗読室があります。

	中央	プレイス
利用者数(のべ)	152 人	109 人
時間(のべ)	196 時間 10 分	188 時間 55 分

中央図書館の対面朗読室には印刷物を自動で読み上げる機器を設置しており、事前申し込みにより、利用することができます。

(3) 書籍郵送サービス

市内在住の重度の肢体不自由者に希望の書籍の郵送貸出をしています。1度に2冊まで、貸出期間は3週間です。

利用者数 (のべ) 31 人 貸出冊数 36 冊

(4) デジタル録音図書（デジジー）再生機器貸出

カセットテープやカセットテープ用の録音機やダビング機などの機器類が製造中止になり、全国的にもデジタル化が進んでいるため、登録者にデジジーを普及させる目的で再生機器の貸出を行っています。1人につき1回1台、1か月以内の貸出です。

貸出件数 (のべ) 10 件

(5) 個人資料作成（プライベートサービス）

希望する資料を音訳または点訳します。資料と点字用紙・CD-ROM・カセットテープは利用者負担です。

音訳（継続的に作成している資料を含む） 12 件
 点訳（六実会が直接依頼を受けた資料を含む） 42 件

(6) 情報資料の提供 音訳ボランティアの協力により実施

① 新作情報（テープ版・デイジー版）の貸出

都立中央図書館発行の「東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報」をダビングまたはコピーして、希望者に貸出・提供しています。

貸出回数：年6回

利用者数：20名（テープ版）28名（デイジー版） 計48名

墨字版利用者：12名

② 情報資料の貸出

「朗読奉仕の会」が定期的に作成している「声の会報」「週刊誌」「新聞」などの録音資料を希望者に郵送しています。

<声の会報>

内 容：図書館からのお知らせや出版情報など（各回60分テープ1本またはCD-ROM1枚）

貸出回数：年6回

利用者数：20名（テープ版）28名（デイジー版） 計48名

<週刊誌>

内 容：「サンデー毎日」4月から9月、「週刊現代」10月から3月の記事を抜粋して音訳（各回90分テープ1本またはCD-ROM1枚）

貸出回数：週1回

利用者数：8名（テープ版）19名（デイジー版） 計27名

<新聞切り抜き帳>

内 容：「朝日」「読売」「日本経済」「産経」「毎日」「東京」各紙から音訳者が記事を選んで音訳（各回60分テープ3～4本またはCD-ROM1枚）

貸出回数：週1回

利用者数：6名（テープ版）18名（デイジー版） 計24名

3. 障害者サービス意見交換会

障害者サービスの質の向上を図るため、障害者サービス利用者（同伴者）、ボランティア団体会員、市内在住の希望者、図書館員で意見交換会を開催しています。

日 時 11月29日（土）、午後1時30分～3時50分

参加人数 43人（利用者6人、同伴者4名、会員29人、図書館員4人）

場 所 中央図書館3階視聴覚ホール

4. 講座

音訳、点訳の技術の向上を目的として、協力者であるボランティア団体会員を対象に講座を開催しています。

対 象 朗読講座・初級講座：「武蔵野市立図書館朗読奉仕の会」会員 会員数 86人

点訳講座：「六実会」会員 会員数 26人

場 所 中央図書館

(1) 声のボランティア養成講座（初級）

日 時 5月22日、29日、6月5日、19日、26日、7月3日、17日、24日、31日、
9月4日、18日、25日、10月2日、23日、30日、全15回、いずれも木曜
日、午前10時～正午

講 師 磯部 誠子 氏（音訳指導員・元ニッポン放送アナウンサー）

参加者数 のべ139名

(2) 声のボランティア養成講座（録音機器操作研修）

日 時 11月18日(火)、25日(火)、午前10時～正午

講 師 武蔵野市立図書館朗読奉仕の会会員

参加者数 のべ18名

(3) 声のボランティア養成講座（PC録音研修）

日 時 1月15日(木)、22日(木)、2月5日(木)、午後1時30分～4時

講 師 武蔵野市立図書館朗読奉仕の会会員

参加者数 のべ42名

(4) 朗読講座「表紙・絵・イラストなどの処理」

日 時 A－5月8日(木)、22日(木)、午後1時30分～3時30分

B－6月26日(木)、7月10日(木)、午後1時30分～3時30分

講 師 恵美 三紀子 氏（音訳指導員）

参加者数 のべ60名

(5) 朗読講座「符号・記号・文字説明の処理」

日 時 A－9月18日(木)、10月30日(木)、午後2時～4時

B－11月20日(木)、12月18日(木)、午後2時～4時

講 師 松本 久美子 氏（音訳指導員）

参加者数 のべ60名

(6) 朗読講座「音訳技術点検」

日 時 11月4日(火)、11日(火)、午後1時30分～3時30分

講 師 高橋 久美子 氏（音訳指導員）

参加者数 のべ20名

(7) 朗読講座「音訳に役立つ発声・発語」

日 時 12月4日(木)、11日(木)、午後1時30分～3時30分

講 師 村上 由美 氏（言語聴覚士）

参加者数 のべ61名

(8) 朗読講座「下調べとインターネット検索」

日 時 1月29日(木)、午後1時30分～3時30分

講 師 檜山 多門 氏 (武蔵野市立図書館朗読奉仕の会会員)

参加者数 32名

(9) 「応急救護講習」

日 時 2月12日(木)、午後1時30分～3時30分

講 師 中村 茂美 氏 (応急手当普及員)

橋本 良直 氏 (武蔵野消防署警防課防災安全係 救急救命士 防災士)

勝村 正彦 氏 (武蔵野消防署警防課防災安全係 救急救命士 防災士)

他2名 (武蔵野消防署)

参加者数 18名

5. 障害者サービス登録を必要としないサービス

(1) 大活字本の貸出

通常の図書の約4倍の大きさの文字で書かれた大活字本の貸出をしています。

蔵書数

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
中央	1,168	1,361	1,429	1,591	1,849
吉祥寺	387	385	382	381	375
プレイス(西部)	786	787	691	740	698
合計	2,341	2,533	2,502	2,712	2,922

※ 平成22年度までは西部図書館。平成23年度より武蔵野プレイス(7月開館)

(2) 点字雑誌コーナー

中央図書館2階に点字雑誌コーナーを設けています。

(3) 拡大読書器の設置

中央図書館2階、武蔵野プレイス地下1階に、機器の上に置いた資料を拡大してモニターに映し出す拡大読書器を設置しています。

(4) 自動読み上げ機の設置

武蔵野プレイス地下1階に、印刷物を自動的に読み上げる機器を設置しています。

※ 中央図書館3階対面朗読室に設置の自動読み上げ機の利用は障害者サービス登録、事前申し込みが必要です。

(5) 車いす専用席

中央図書館2階に車いすをご利用の方専用の閲覧席があります。

■ 一般向け催し

1. 映画会

青少年も含めた市民に名作映画等に親しむ機会を提供しています。

当日は、上映作品の原作者の著作や監督・出演者、映画の主題に関連する資料などを紹介、貸出もしています。

(1) 中央図書館

① 「土曜の午後の映画会」

日 時 毎月第4土曜日 午後2時30分より

対 象 中学生以上

定 員 70名

月日	上映作品	参加人数
4月26日	黄金花	46
5月24日	武器よさらば	77
6月28日	ヤコブへの手紙	49
7月26日	パンと恋と夢	56
8月23日	蠅の王	68
9月27日	今朝の秋	74
10月25日	アルバート氏の人生	70
11月22日	1911	48
12月27日	花咲ける騎士道	66
1月24日	群衆	79
2月28日	鏡	78
3月28日	そして父になる	82

② 3. 11 特別映画会

日 時 3月11日(水) 午後2時30分より

上映作品 『遺体』 監督：君塚良一 2012年 日本 105分 日本語音声字幕

被災箏演奏 復興支援ソング『花は咲く』 磯貝 真紀 氏(箏演奏家)

対 象 中学生以上

参加人数 90名

その他 2階ミニトピックス『忘れないで3. 11 防災について考えよう』と連動して実施

(2) 吉祥寺図書館「黄昏時の映画会」

日 時 偶数月の第2木曜日 午後5時15分より
対 象 中学生以上
定 員 40名

月 日	上映作品	参加人数
4月10日	旅の贈りもの 明日へ	16
6月12日	フレンチカンカン	34
8月14日	殯の森	60
10月9日	ピンク・スパル	24
12月11日	フランシスコの2人の息子	24
2月12日	クラブアート	22

(3) 武蔵野プレイス「シネマプレイス」

①「日曜の午後の映画会」

日 時 奇数月の第3日曜日 午後2時30分より
(7月は第2日曜日に変更し、実施)
対 象 中学生以上
定 員 5・7・9月：70名、 11・1・3月：100名

月 日	上映作品	参加人数
5月18日	バグダッド・カフェ	122
7月13日	ポー川のひかり	100
9月21日	人生いろどり	102
11月16日	素晴らしき哉、人生!	100
1月18日	きつと、うまくいく	100
3月15日	明日へのチケット	98

②「夜の映画会」

日 時 平日 午後8時より(不定期開催)
対 象 中学生以上
定 員 8月：70名、 12月：自由観覧 各回28名、即興演奏付特別上映 100名

月 日	上映作品	参加人数
8月8日	マリリン・モンロー最後の告白	100
12月22日※	チャップリン アーリーコレクション (自由観覧 計4回)	41
	チャップリン アーリーコレクション (即興演奏付特別上映)	57

※武蔵野プレイス総合イベント「プレイス・フェスタ2014」で開催

2. 講習会

サーチバーを使いこなそう！！～データベース利用講習会～

(1) Lexis AS ONE講習会

場 所 武蔵野プレイス1階ギャラリー

日 時 3月5日(木) 午後5時～6時

参加者数 4名(定員10名)

(2) 日経テレコン21講習会

場 所 武蔵野プレイス1階ギャラリー

日 時 3月5日(木) 午後6時30分～7時30分

参加者数 4名(定員10名)

3. 写真展・上映会・トークセッション

武蔵野市地域映像アーカイブ PRイベント

「映像で見る武蔵野 ～知っていますか、あの時、あの場所」

場 所 武蔵野プレイス1階ギャラリー

(1) 写真展および上映会

日 時 平成27年 2月27日(金) 午前10時～午後10時

2月28日(土) 午前9時30分～午後10時

2月 1日(日) 午前9時30分～午後8時

(2) トークセッション

日 時 平成27年3月1日(日) 午後2時～3時

司 会 ふるさと歴史館館長

講 師 井口 良美氏、舟橋 優子氏、中里 鉄男氏

内 容 展示・上映資料をめぐる意見・質問等を来場者より収集し、その内容をめぐり
ギャラリートークを行った

来場者数(通過人数計測器による参考数値)

2月27日 午前10時～午後10時	上映6回	612人
2月28日 午前9時30分～午後10時	上映6回	786人
3月1日 午前9時30分～午後8時	上映3回	347人

4. トピックス

利用者の読書のヒントとして、時事的なことがらや季節にふさわしいテーマを選び、そのテーマに沿った図書を展示しています。中央図書館では年4回と武蔵野プレイスでは年約6回行っています。また、他課、吉祥寺美術館の企画に合わせたミニトピックスも随時行っています。ブックリストは図書館ホームページにて公開しています。

中央図書館

	期間	テーマ	冊数	備考
第1回	5～7月	親子DE作家	196	親子・親戚関係にある作家の本
第2回	8～10月	ムーミンの故郷・北欧	136	ムーミンの作者トーベ・ヤンソンと北欧関連の本
ミニ	9月	認知症を知る月間	60	本庁でのパネル展示(高齢者支援課)に伴い実施※吉祥寺図書館も同時実施
ミニ	9月	自殺対策強化月間	50	本庁でのパネル展示(障害者福祉課)に伴い実施※吉祥寺図書館も同時実施
第3回	11～1月	天体－鉱石	122	天体や鉱石に関する小説、エッセイ、ビジュアル本
ミニ	11月	女性に対する暴力をなくす運動(女性に対する暴力撤廃国際日)	45	本庁等で開催されるパネル展示(市民活動推進課)に伴い実施
ミニ	11月	武蔵野市 平和の日	52	本庁等で開催されるパネル展示(市民活動推進課)に伴い実施。中島飛行機、戦争や平和をテーマにした本
第4回	2～4月	日常の謎	131	「日常の謎」と呼ばれる人が死なないミステリーの本
ミニ	2～3月	忘れないで3.11 防災について考えよう	96	映画会番外編の3.11 特別映画上映に伴い実施

武蔵野プレイス (地下1階トピックス)

	期間	テーマ	冊数	備考
第1回	5～6月	青の本、大集合	276	海・空などの自然・表情・感情など多様な意味合いを持つ「青」をテーマに見た目も楽しい本を展示。
第2回	7～8月	見えない世界を楽しむ	288	目には見えない幽霊から、幻想・想像・夢・ゼロ・沈黙等儚く不思議で透明感のある本を展示。
第3回	9～10月	〇〇したい本	243	様々な欲や望みの本を展示
第4回	11～12月	つながり (プレイスフェスタ2014)	262	フェスタのテーマ「出会いを楽しむ」にちなみ様々なつながりを感じられる本を展示
第5回	1月	芥川賞・直木賞の本	187	歴代の受賞作品と受賞者の作品
第6回	2～3月	オノマトペがきこえる本	256	擬声語・擬態語を連想させる本を展示

5. 課題解決テーマ展示

中央図書館では、平成23年度より、地域や市民の抱える課題を的確に把握し、課題解決に関連する資料や情報を提供していくため、「課題解決テーマ展示」を行っています。「地域や市民生活に役に立つこと、実際的な内容であること」を主眼に置いて、図書館資料や、行政情報を選択、展示しています。また、ブックリストを図書館ホームページにて公開しています。

課題解決テーマ展示

月	課題	タイトル	冊数
4 ～ 5	定年後の生活・生き方	定年、子育て卒業後のハッピーライフ～第二のスタート応援します～	78
6	終活・エンディング	終活はじめました。～「縁起が悪い」は昔の話!?!～	57
7	疲労回復	「休み上手」のススメ～こころとからだをリセットしよう～	47
8	親子で学んだり楽しんだりするために参考となる資料を探したい	さあ夏休み!～親子で学ぼう!楽しもう!～	54
9	防犯	被害に遭うその前に!今すぐ始めよう防犯対策	45
10	ゴミの減量・リサイクル	ちょっと待って!それって本当にゴミ!?!～家庭でできるリサイクルとゴミ減量～	72
11	気持ちよく暮らす	お家の片づけから、気持ちの片づけまで	85
12	年末年始の過ごし方、新年を迎えるにあたっての準備	新しい年を迎える準備はできていますか?～お助けします!年賀状からおせち料理まで～	85
1	生活習慣の改善	健康的な体を作りましょう!	67
2	家庭で子どもと一緒に楽しめる絵本選び	子どもと絵本を楽しもう	86
3	新生活応援	心はずむ門出の季節を応援～春からの新生活の準備をはじめましょう!～	49

※ 展示期間は概ね1か月間

【協力課・機関】

安全対策課、ごみ総合対策課、子ども家庭支援センター、市民活動推進課、生活経済課、地域支援課、緑のまち推進課、0123吉祥寺、0123はらっぱ、野外活動センター、公益財団法人武蔵野健康づくり事業団、ボランティアセンター武蔵野、一般社団法人武蔵野市観光機構、東京しごとセンター(多摩)、一般社団法人終活カウンセラー協会、武蔵野警察生活安全課

6. 武蔵野プレイス内で他機能に提供した図書数

各機能のイベントに関連した図書を依頼に応じて提供した。

展示期間	内容	主催機能	冊数
4月11日～13日	鉄道探検隊	生涯学習	40
4月15日～29日	青少年によるテーマ展示「夢」	青少年	21
5月17日～18日	食文化講座「はちみつを知り楽しむ講座」	生涯学習	23
5月29日～ 7月17日	武蔵野地域自由大学講座「現代社会と哲学」	生涯学習	74
6月15日	プロに学ぶ！イラスト講座 ～あなたの体験を描こう～	青少年	23
6月9日～ 7月6日	青少年自主企画のための企画方法	青少年	15
6月27日～30日	マネジメント講座 「活動が続く環境作り」	市民活動	18
7月20日～26日	遠野文化研究センター連携事業「遠野の山人と武蔵野の大人」	生涯学習	77
7月15日～ 8月5日	マネジメント講座 「知って納得！会計と税務」	市民活動	35
9月23日～ 10月31日	青少年対象啓発事業「知って欲しいSNS」	青少年	38
9月23日～ 10月2日	マネジメント講座 「広報初心者のためのキャッチコピー&デザイン」	市民活動	32
9月20日、27日、 11月1日	土曜学校「朗読ことばあそび倶楽部」	生涯学習	各10
10月1日～24日	マネジメント講座 「みんなの力を引き出すファシリテーション講座」	市民活動	29
10月19日	プロに学ぶ！料理講座 ～ふわとろオムライス～	青少年	27
10月20日～ 11月3日	市民活動講演会「田部井淳子さんをむかえて」	市民活動	25
12月1日～20日	ギャラリーコンサート「ハープとフルートで奏でるクリスマス」	生涯学習	35
12月6日～12日	クリスマス装飾	青少年	21
12月21日	「ムーミンの生みの親 トーベヤンソンとその時代」講演会	生涯学習	64
12月13日～18日	プレイスアートプロジェクト「SnowFlake空からの贈り物」	生涯学習・ 青少年・市民活動	20
12月21日	親子食文化講座「絵本とお菓子の幸せなひととき」	生涯学習	52
1月19日～25日	青少年リクエスト企画「百人一首大会」	青少年	13
2月10日～15日	青少年リクエスト企画「イラスト展示会」	青少年	24
2月21日	武蔵野地域自由大学 大学正規科目履修登録受付	生涯学習	33

3月14日	プロに学ぶ！演劇講座	青少年	21
3月19日～27日	講座「子育て世代のための時間術」	生涯学習	140

7. 武蔵野プレイス内の返却棚展示

期間	展示テーマ	冊数
4月1日～15日	お弁当の本	40
4月16日～30日	村岡花子とモンゴメリーと赤毛のアン	約40
5月1日～15日	プロジェクトXシリーズ	70
5月16日～31日	新釈漢文大系	約100
6月1日～14日	写真の本	110
6月15日～28日	太宰治の本	103
7月1日～15日	世界遺産	約60
7月16日～31日	大人も楽しめる図鑑	40
8月1日～15日	「戦争の世紀」をふりかえる	約50
8月16日～31日	妖怪の本	62
9月1日～15日	認知症を知る月間（高齢者福祉課と連携）	62
9月16日～30日	自殺対策強化月間（障害者福祉課と連携）	54
10月1日～15日	部活！（部活動をテーマにした小説）	75
10月16日～30日	青春の音楽	50
11月1日～9日	岩波写真文庫	51
11月18日～30日	STOP！DV（市民活動推進課と連携）	35
12月1日～15日	ギャラリーコンサート関連本	35
12月16日～31日	2014年に出版された本	約60
1月1日～15日	ジョギング・ランニング・マラソンの本	約70
1月16日～31日	幕末の本	70
2月1日～15日	チョコレート・スイーツの本	約80
2月16日～28日	アンソロジー小説	約100
3月1日～15日	片付け・引越し・新生活！	50
3月16日～31日	子育てライフのヒントになる本（生涯講座「子育て世代のための時間術」に合わせて）	140

■ 除籍資料リサイクル事業

平成5年度より、各図書館で保存年限を過ぎた雑誌を再利用するためにリサイクルを開始しました。平成9年度からは、除籍図書等も含め、希望する利用者は無償で頒布しています。

1. 概要

(1) 内容

- ① 各図書館にブックリサイクルコーナーを設け、常時、リサイクル資料を無償で提供しています。
- ② 図書交流センターを通じて、市内公共施設、友好都市等にリサイクル資料を無償で提供しています。

(2) 対象資料

- ① 保存年限が過ぎ、廃棄の対象となった雑誌
- ② 時の経過につれて利用がなくなり保存価値を失ったもの
- ③ 利用の少ない複本図書
- ④ 改版が入手されたもの
- ⑤ 寄贈図書(図書館として不要な資料で、寄贈者からリサイクルの承諾を得ている図書)

(3) 提供冊数

利用者1人1回につき、10冊までを原則とします。

2. リサイクルコーナー提供資料数

単位：冊

月	中央	吉祥寺	プレイス	合計
4	396	448	661	1,505
5	217	530	735	1,482
6	537	596	733	1,866
7	450	751	581	1,782
8	513	389	654	1,556
9	502	755	920	2,177
10	540	476	713	1,729
11	712	853	577	2,142
12	580	582	982	2,144
1	570	258	755	1,583
2	518	477	779	1,774
3	391	495	790	1,676
合計	5,926	6,610	8,880	21,416

■ グループ学習室利用

中央図書館 2階のグループ学習室は、学習会や読書会等のため、2人以上のグループで使用することができます。

1. 利用申込み及び利用方法

- (1) 図書館カードを提示し、2階カウンターで「グループ学習室申込書」に必要事項を記入する。
- (2) 利用申込みは、利用日の属する月の1か月前の初日とする（電話での申し込みも受け付ける）。
- (3) 利用申込みは、1グループにつき、1日1回で1か月に5回までとする。
- (4) 利用時間
 - A：午前9時30分～午後1時
 - B：午後1時～午後5時
 - C：午後5時～午後8時（土・日・祝日以外）
- (5) 利用人員等
 - 小学生以上の2～8名のグループ

2. 利用状況

単位：グループ

室名 月	学習室 1				学習室 2			
	A	B	C	小計	A	B	C	小計
4	5	22	0	27	9	25	5	39
5	5	23	2	30	14	23	5	42
6	10	23	7	40	16	18	11	45
7	15	30	4	49	22	24	11	57
8	26	29	7	62	28	28	7	63
9	11	20	1	32	13	25	7	45
10	8	20	5	33	14	16	6	36
11	14	27	10	51	19	28	10	57
12	11	22	5	38	15	19	6	40
1	10	18	6	34	18	23	6	47
2	12	20	8	40	14	23	8	45
3	10	21	1	32	17	25	4	46
合計	137	275	56	468	199	277	86	562

■ 大学図書館利用

利用資格に該当される方は、市内大学図書館を利用することができます。また、市立図書館を通じて、市内外の大学図書館の利用申請をすることができます。

1. 成蹊大学図書館

昭和 57 年 4 月、武蔵野市立図書館と成蹊大学図書館との利用協定が制定される。

平成 17 年度より、利用資格・手続き方法が変更される。武蔵野市立図書館では、1 日利用のみの受付となり、長期間利用の場合（有料）は、直接成蹊大学図書館での受付となる。

(1) 利用資格

既に武蔵野市立図書館利用者カードを持つ学生でない 23 歳以上の市内在住・在勤の方で特定の研究テーマをお持ちの方

(2) 利用の範囲

館内閲覧のみで、館外貸出は行わない。7 月・12 月・1 月の定期試験期間は、原則として利用不可。

(3) 利用手続

- ① 「成蹊大学図書館利用願」を武蔵野市立図書館に提出し、市内在住・在勤を証明できる公的な証明を提示する。
- ② 押印された利用願（1 日のみ）を成蹊大学図書館に 1 週間以内に持参する。

2. 亜細亜大学図書館

大学の社会への開放の一環として、一般社会人に対して図書館を公開している。武蔵野市立図書館では、1 日利用のみを受付し、長期間利用の場合（有料）は、直接亜細亜大学図書館での受付となる。

(1) 対象

市内在住・在勤で、学術的研究を目的としており、亜細亜大学図書館の許可した方

(2) 利用の範囲

館内閲覧のみで、書庫の利用、館外貸出は行わない。

(3) 利用手続

- ① 「大学図書館利用願」を武蔵野市立図書館に提出し、市内在住・在勤を証明できる公的な証明を提示する。
- ② 押印された利用願（1 日のみ）を亜細亜大学図書館に利用希望日に提出する。

3. 日本獣医生命科学大学附属図書館

平成 17 年 5 月、覚書を取り交わしたことで市民が閲覧することができることとなった。

(1) 対象

市内在住・在学・在勤で、学術的研究を目的としている方

(2) 利用の範囲

館内閲覧のみで、館外貸出は行わない。

(3) 利用手続

- ①利用希望日の3～5日前までに、武蔵野市立図書館に「日本獣医生命科学大学附属図書館利用紹介申請書」を提出し、住所を確認できるものを提示する。
- ②大学図書館に利用の可否を確認の後、「利用願」が発行される。
- ③「利用願」を日本獣医生命科学大学附属図書館に提出する。

4. 市内大学以外の利用紹介申請（閲覧・複写）

(1) 対象

既に武蔵野市立図書館利用者カードを持つ原則として学生でない市内在住・在勤の方
※その他の利用資格は、各大学の規程に準じる。

(2) 利用の範囲

各大学の利用規程に準じる。

5. 大学図書館利用願発行実績

利用願発行実績（3館合計数）

単位：件

年度	発行数		
	成蹊大学図書館	その他	合計
平成 22 年度	8	12	20
平成 23 年度	6	10	16
平成 24 年度	6	6	12
平成 25 年度	5	7	12
平成 26 年度	2	7	9

■ レファレンスサービス

レファレンスサービスとは、利用者の調査、研究についての相談に、図書館職員が図書館資料等を利用して援助するサービスです。平成 17 年度より、Eメールレファレンスを受け付けています。また、ホームページで、武蔵野市に関するレファレンス情報提供を行っています。平成 23 年度より、全館でのカウンター受付レファレンス件数の集計を開始しました。

1. レファレンスサービス利用方法

- (1) 図書館カウンター
- (2) Eメールレファレンス（図書館ホームページ）
- (3) その他（電話・文書等）

2. レファレンスサービス利用対象

Eメールレファレンスについては、

- ・武蔵野市に在住、在勤、在学の図書館カードをお持ちの方
- ・武蔵野市の郷土行政資料に関するご質問の方

3. レファレンスサービス利用状況

単位：件

	カウンター			Eメール レファレンス	その他 (電話・文書等)	合計
	所蔵調査 書架案内	レファレンス	調べ学習			
中央	23,212	984	96	25	20	24,337
吉祥寺	11,177	1,412	23	—	—	12,612
プレイス	22,425	376	73	—	—	22,874
全館	56,814	2,772	192	25	20	59,823

※ Eメール、その他（電話・文書等）については、中央図書館での受付質問数

※ 調べ学習は、小、中学生から寄せられた調べものについての質問

4. ホームページレファレンス情報提供

(1) 武蔵野市に関するレファレンス事例データベース

武蔵野市に関する質問（レファレンス事例）について、当市図書館所蔵資料を中心に調査したもの。平成 19 年度より公開。

(2) 武蔵野市に関する新聞記事見出しデータベース

新聞記事の中から、武蔵野市に関する記事を選択し、当館で「分類」、「主題・テーマ」を付与した索引データベース。平成 23 年 1 月より公開。

収録期間：平成 9 (1997) 年 9 月～平成 26 (2014) 年 8 月（平成 27 年 3 月現在）

収録紙：朝日・産経・東京・毎日・読売新聞

(3) パスファインダー「おしえてむさしの！～武蔵野市についての調べ案内～」

武蔵野市についての調べ方や資料を紹介したもの。平成 25 年度より公開。

■ インターネット検索用パソコン

中央、吉祥寺図書館に1台ずつ、利用者用インターネット検索用パソコンを設置しています。新聞記事等のオンラインデータベースの利用や調査、研究に必要なWEBサイトの閲覧をすることができます。また、武蔵野プレイスには、10台のパソコンを設置した「サーチバー」（利用者用インターネットパソコンコーナー）があり、オンラインデータベースの利用、WEBサイトや地域映像アーカイブの閲覧をすることができます。

1. サービスの概要

(1) 利用資格

中央・吉祥寺：18歳以上の武蔵野市の図書館カードをお持ちの方

プレイス：武蔵野市の図書館カードをお持ちの方

(2) 利用時間

中央・吉祥寺：1日1回30分（次に予約がなければ30分延長可能）

プレイス：1日1回30分×2回または60分×1回

(3) 利用料金

無料（データベース等のプリントアウトは1枚10円）

2. オンラインデータベース（平成27年3月現在）

データベース名称	内容	導入館
日経テレコン21	日経各紙、全国紙、地方紙、業界紙、会社情報等	中央・吉祥寺・プレイス
聞蔵Ⅱビジュアル	明治、大正、昭和の朝日新聞紙面 1985年～当日の朝日新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
ヨミダス歴史館	明治、大正、昭和の読売新聞紙面 1986年～前日の読売新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
毎索	1987年～当日の毎日新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
Lexis AS ONE	判例、法令データベース	中央・プレイス
官報情報サービス	昭和22年5月3日から当日発行分の官報	中央・吉祥寺・プレイス
JapanKnowledge Lib	事典、辞書類を中心に40以上のコンテンツ 『日本大百科事典』、『日本国語大辞典』、 『国史大辞典』、『日本歴史地名大系』等	中央・プレイス
人物レファレンス事典 plus	1945年以降に国内で刊行された伝記・評伝類の書誌	中央・吉祥寺・プレイス
magazineplus	一般誌、専門誌、海外誌紙の雑誌・記事	中央・プレイス
Web OYA-bunko	大宅壮一文庫所蔵の雑誌記事	中央
国立国会図書館歴史的音源配信試行	歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）がデジタル化した音源	プレイス
ナクソス・ミュージック・ライブラリー	利用者個人のパソコンからアクセスする音楽配信サービス	各館カウンターでID、パスワードを配布※

※ プレイスのみ館内インターネットパソコンで利用可能

3. 武蔵野市地域映像アーカイブ（武蔵野プレイス）

昭和初期から現在までの市やNHKが所有する武蔵野市に関する資料や映像を収集、「武蔵野市地域映像アーカイブ」としてデータ化し、市民共有の文化資産として保存、公開しています。
収録データ件数：動画 126 件、静止画 206 件（平成 26 年度）

4. 利用状況

月	中央		吉祥寺		プレイス		全館合計	
	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数
4	131	166	101	21	1,412	582	1,644	769
5	141	115	104	7	1,352	537	1,597	659
6	134	132	110	6	1,414	721	1,658	859
7	131	190	124	2	1,454	633	1,709	825
8	113	61	115	79	1,676	851	1,904	991
9	109	97	114	37	1,477	913	1,700	1,047
10	81	33	116	5	1,409	483	1,606	521
11	124	59	110	5	1,163	569	1,397	633
12	88	35	103	13	1,126	561	1,317	609
1	112	23	110	30	1,200	709	1,422	762
2	115	63	115	28	1,413	684	1,643	775
3	144	17	106	2	1,462	747	1,712	766
合計	1,423	991	1,328	235	16,558	7,990	19,309	9,216

※ 利用者用インターネット検索パソコン：中央、吉祥寺 1 台、プレイス 10 台

■ 図書特別整理

資料の現状を把握し、適正に管理するため、また、資料を整理し、利用しやすい環境を作るために、各館で年に1回特別整理を行っています。

1. 概要

(1) 実施期間

中央図書館	① 10月3日(金)、10月6日(月)～10日(金) ② 10月14日(火)～20日(月) ※ ①は書庫を先行して点検を行った(一部開館期間中に実施)
吉祥寺図書館	11月17日(月)～21日(金)
武蔵野プレイス	11月10日(月)～14日(金)

(2) 業務内容

① 所蔵資料の在庫点検 (ICタグ読み取り操作蔵書点検)、不明本の確認及び統計処理

② 資料整理

開架、書庫本の書架整理

開架、書庫資料の選別及び整理、書架移動(配架変更等)

③ その他

書架表示修正、著者名表示追加、変更等

2. 実績

単位：冊・点

	種別	蔵書数 ※1	不明数※2			計	参考 前年度の 蔵書点検 不明数
			前年度まで の不明数	今年度の蔵書点検不明数			
				点検前不明数(前回 から11月 末までの 不明分)	蔵書点検期 間に判明した 不明分		
中央	図書	592,456	1,674	406	86	2,166	—
	雑誌	34,628	129	23	17	169	—
	AV	13,659	279	237	10	526	—
	小計	640,743	2,082	666	113	2,861	149
吉祥寺	図書	92,719	1,171	229	17	1,417	—
	雑誌	3,154	142	18	18	178	—
	AV	3,132	64	21	2	87	—
	小計	99,005	1,377	268	37	1,682	97
プレイス	図書	165,672	648	203	103	954	—
	雑誌	10,232	75	28	30	133	—
	小計	175,904	723	231	133	1,087	103
合計		915,652	4,182	1,165	283	5,630	349

※1・2：平成26年11月末現在

■ コンピュータシステムの概要

1. 導入の経過（主な経過）

昭和 58 年		図書館内部でコンピュータシステム導入のための検討が始まる。
昭和 59 年	10 月	武蔵野市立図書館電算機導入基本計画書作成。
	12 月	電算対策委員会設置（委員 6 名、労働組合も参加）
昭和 60 年	1 月	個人情報保護審議会に入力項目についての審議を諮問。 電算機種選定委員会を設置（助役、企画部長、教育次長、電算担当副参事、図書館長、図書館管理係長で構成）
	2 月	個人情報保護審議会より入力項目について承認される。
	5 月	電算機種選定委員会において機種決定される。 （NEC ACOS410 モデル 10 パッケージ L I C S 2）
	12 月	本格稼働開始（中央図書館、西部図書館）
昭和 62 年	11 月	吉祥寺図書館開館、3 館オンラインへ。
平成 4 年	11 月	システムのバージョンアップを図る。 （NEC ACOS 3300/55N） 市民会館とのネットワーク開始。（武蔵野市立図書館資料の検索及び返却のみ稼働）
平成 7 年	4 月	新中央図書館開館、利用者用検索機導入。
平成 9 年	9 月	電算機入替に関し、個人情報保護審議会承認される。
平成 10 年	1 月	電算機入替。（NEC より富士通へ） （富士通 GRANPOWER7000 モデル 200 パッケージ i L i s w i n g）
平成 13 年	2 月	東京都立図書館電算新システム稼働に伴い、検索用電算機設置。
平成 13 年	11 月	武蔵野市立図書館ホームページ開設。 （ http://www.library.musashino.tokyo.jp/ 、利用案内、蔵書検索、 新着図書案内機能等。www サーバ：富士通 PRIME POWER 200）
平成 17 年	5 月	システムのバージョンアップに関し、個人情報保護審議会承認される。
平成 17 年	7 月	システムのバージョンアップを図る。 （富士通 PRIME POWER450 パッケージ i L i s w i n g 21/UX+へ） 図書館ホームページのリニューアルをする。
平成 19 年	12 月	システムのバージョンアップを図る。 （富士通 PRIME POWER450 パッケージ i L i s w i n g 21/UX+ Ver 6 へ）
平成 20 年	3 月	IC タグ管理及びブックディテクションシステム（BDS）稼働
平成 22 年	12 月	電算機入替。（富士通より NEC へ） （NEC Web 型パッケージ L i c s - W e b II） 自動貸出機、自動返却機、予約棚等 IC タグを活用するシステムを導入
平成 23 年	7 月	武蔵野プレイス開館とともに返却棚、予約棚の運用を開始

2. 個人情報保護に関する留意事項

利用者データの入力については、移行時も含めすべて自館内で行っており、利用者の検索も、パスワードを入力しないと検索できないシステムとなっています。

また、入力データについては、個人情報保護審議会に諮問し、承認を得ています。さらに、他のコンピュータシステムとの接続を禁じるなど、プライバシー保護については、慎重を期しています。

- (1) 利用者の登録番号は、図書館で独自に設定し、住民基本台帳をもととした住民情報と接続しない。
- (2) 利用者の読書記録は持たない（返却と同時に貸出記録はすべて消滅する）。
- (3) 利用者ファイルには、図書コードのみを、図書ファイルには利用者コードのみを記録し、利用者名と書名の直接の対応を避ける。
- (4) 生年月日は、年のみ入力（月日は全員4月1日で入力）。
- (5) 利用者の登録、修正、削除等個人のデータについてはパスワード等により、作業者を特定する。

3. 図書館コンピュータシステム所蔵機器一覧（平成26年3月現在）

単位：台

	場所	館内 OPAC	自動 貸出機	自動 返却機	ノート パソコン	デスクトップ パソコン	プリンター	サーバー	インターネット パソコン
中央	4階電算室	—	—	—	—	1	1	10	—
	4階事務室	—	—	—	6	4	2	—	1
	3階	1	—	—	1	—	2	—	1
	2階	3	2	—	1	1	1	—	1
	1階メイン	6	5	2	4	2	1	—	—
	1階児童	2	1	—	1	—	1	—	—
	地下1階	—	—	—	—	3	1	—	—
	地下2階	—	—	—	1	—	—	—	—
	小計	12	8	2	14	11	9	10	3
吉祥寺	1階	4	1	—	—	4	—	—	—
	1階事務室	—	—	—	6	1	2	—	1
	2階児童	2	—	—	—	2	—	—	—
	地階	2	—	—	—	—	—	—	—
	小計	8	1	0	6	7	2	—	1
プレイス	事務室	—	—	—	5	6	1	—	1
	2階メイン	2	—	—	—	3	1	—	—
	2階児童	1	1	—	1	—	—	—	—
	1階	5	6	2	—	6	1	—	—
	地下1階	4	—	—	—	6	1	—	1
	地下2階	1	—	—	1	—	1	—	—
	小計	13	7	2	7	21	5	0	2
合計	33	16	4	27	39	16	10	6	

※ その他利用者用インターネット検索用パソコンが中央、吉祥寺に各1台、プレイスに10台あり

■ 広報

図書館のサービスや事業、取り組み等を広く市民、利用者に周知し、図書館利用を促進するため、様々な広報活動を行っています。

1. 図書館だより

全館ガイド（利用案内）より詳細な利用サービスのガイドとして年4回発行し、ホームページでも公開しています。平成26年度は、以下の3号と改訂版を発行しました。

平成26年度内容

No.95（平成26年7月3日発行）「本の中の武蔵野市 その4」

No.96（平成26年9月25日発行）「数字で見る武蔵野市立図書館2013」

No.97（平成27年3月30日発行）「図書館バックヤードツアー①『図書特別整理』」

改訂版

No.69（平成26年7月1日改訂）「図書館の子ども向けサービス」

No.64（平成26年8月20日改訂）「視聴覚資料利用ガイド」

No.90（平成26年8月20日改訂）「都立・国立国会図書館（協力貸出）について」

2. ホームページ

図書館ホームページは、利用案内、お知らせ、発行物・会議録等を公開し、蔵書検索（Web OPAC）、インターネット予約、利用状況確認、レファレンス受付等を利用することができます。

ホームページ訪問数

月	訪問数	日数	1日平均	備考
4	87,543	30	2,918.1	
5	92,116	31	2,971.5	
6	88,049	30	2,935.0	
7	93,498	31	3,016.1	
8	96,950	31	3,127.4	
9	92,997	30	3,099.9	
10	94,484	31	3,047.9	中央図書特別整理
11	89,527	30	2,984.2	プレイス・吉祥寺図書特別整理
12	85,125	31	2,746.0	
1	96,332	31	3,107.5	
2	93,451	28	3,337.5	
3	96,437	31	3,110.9	
合計	1,106,509	365	3,031.5	

※平成22年度まではトップページカウンター数による算出。23年度よりアクセスログの解析開始

■人材育成・職員研修

平成 22 年 2 月に策定された『武蔵野市図書館基本計画』では、“質の高いサービスを支える体制・整備の施策”の一つとして、人材育成が挙げられています。同計画に基づき、平成 23 年 2 月、情報化社会の進展や職員体制の多様化等の変化の中で、図書館が目指す将来像を実現し、質の高い図書館サービスを提供するために、長期的な視点に立った図書館の人材育成計画を策定しました。

1. 職員研修の実施

日常業務の知識、技術の共有化と向上を図るため、館内整理日等を利用して、館内研修を実施しています。また、東京都立図書館、多摩地域市町村立図書館長協議会等が実施する外部の研修、研究会等に職員を派遣し、情報収集や担当業務に関わる専門知識を習得するように努めています。研修の成果については、各職員が記録、評価する個人シートを作成しています。

館内研修実施実績

研修名	実施時期	対象職員	参加人数	備考
新任研修	4～7、10、11月	新任職員・新任嘱託職員	10	中央 10
業務研修	4月、10月	職員	10	中央 10
課題解決テーマ展示	4～3月	職員	20	中央 20
レファレンス入門	8月	職員	4	中央 4
インターネットデータベース研修①②	5、6月	職員・嘱託職員	44	①プレイス 30 ②プレイス 14 ※①外部講師
インターネットデータベース研修①②	6、7月	職員・嘱託職員	34	①中央 16 ②中央 18 ※外部講師
児童レファレンス研修	7、9月	職員・嘱託職員	54	中央 12 プレイス 42
レファレンス研修 (国立国会図書館)	11月	職員・嘱託職員	42	プレイス 42 中央 1
レファレンス研修	8、9、2月	職員・嘱託職員	29	吉祥寺 29
レファレンスステップアップ研修	10月	職員・嘱託職員	19	中 18、吉 1 ※外部講師
レファレンス研修 ①②	9、12、2、3月	職員・嘱託職員	120	①中央 20 プレイス 42 ②中央 19 プレイス 39 ※外部講師
I S O・情報セキュリティ	5、7、1月	職員・嘱託職員	96	中央 42、吉祥寺 11、 プレイス 43
防災訓練	4、10～12月	職員・嘱託職員	126	中央 33、吉祥寺 11、 プレイス 82
防犯研修	2月	職員・嘱託職員	27	中央 27
評価者訓練	1月	館長	1	中央 1

※ 参加人数には研修講師を務めたものを含む

外部研修参加実績

研修名	実施機関、団体	対象職員	参加人数	備考
担当者会・研究会（協力貸出、地域資料、障がい者サービス）	東京都市町村立図書館長協議会	担当職員	7	協力担当2回、地域資料2回、障がい者サービス3回
多摩地域公立図書館大会	〃	全職員	5	障がい者サービス3回、地域資料1回、講演会1回
担当者会（レファレンス・地域資料、協力、児童・青少年）	東京都立図書館	担当職員	12	レファレンス3回、地域資料3回、協力貸出3回、児童・青少年1回、障がい者サービス2回
東京都図書館研究交流会（講演会）	〃	全職員	2	講演会2回
児童図書館専門研修Ⅰ～Ⅲ	〃	担当職員	6	
障害者サービス研修	〃	担当職員	2	
音訳者講習会専門研修	〃	担当職員	1	
レファレンス研修	〃	中堅職員	5	健康、法律、美術、東京情報等
国会図書館デジタル化資料送信サービス研修	国立国会図書館	担当職員	1	
国会図書館書誌情報研修	国立国会図書館	全職員	1	
全国公共図書館協議会研究集会	全国公共図書館協議会	担当職員	1	
ブックフェア	TRC、丸善、トーハン	全職員	3	セミナー、講演会
実務研修「図書館科」	東京市町村職員研修所	全職員	2	
図書館総合展	図書館総合展運営委員会	全職員	3	電子資料、企業・展示、地域史資料
図書館向けトークセッション	TRC	全職員	2	
点字図書館見学	日本点字図書館	担当職員	2	
HTML研修	ビット・ラボラトリ	HP担当	3	
晴眼者とともに学ぶ視覚障害者教養講座	東京都教育委員会	担当職員	1	
サイトワールド2014	日本盲人福祉委員会	担当職員	1	
サピエ研修会	全国視覚障害者情報提供施設協会	担当職員	2	
成蹊大学ボランティア支援センター設立記念講演会	成蹊大学ボランティア支援センター	担当職員	1	
東京都図書館協会講演会	東京都図書館協会	担当職員	1	
東京都市町村立図書館長協議会視察研修	東京都市町村立図書館長協議会	館長	1	

※ 内容の異なる複数回の研修はのべ人数をとる

■ 図書館運営委員会

武蔵野市立図書館の運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市らしい特色ある図書館づくりを行うため、武蔵野市図書館運営委員会を設置して、①図書館サービスに関すること ②図書館主催事業に関すること ③施設、閲覧環境等に関すること ④その他図書館の充実に関すること について協議しています。

【第6期武蔵野市図書館運営委員会】

○委員任期 図書館運営委員会：平成25年10月1日より平成27年9月30日

○委員数 図書館運営委員会：8名（学識経験者5名、公募市民3名）

○委員名簿 （委員長 船崎 尚 職務代理者 毛利 和弘）

委員名	任期	学識・公募
桂 まに子	平成25年10月1日～平成27年9月30日	京都女子大学 司書課程 専任講師
船崎 尚	平成25年10月1日～平成27年9月30日	元 武蔵野大学 司書課程 非常勤講師 元 武蔵野市百年史統編 編さん委員
松山 巖	平成25年10月1日～平成27年9月30日	玉川大学 通信教育部 教育学部 教育学科 准教授
毛利 和弘	平成25年10月1日～平成27年9月30日	亜細亜大学 司書課程 非常勤講師
伊野 啓子	平成25年10月1日～平成27年9月30日	武蔵野市立 関前南小学校 校長
小林 八千代	平成25年10月1日～平成27年9月30日	公募委員
田丸 直幸	平成25年10月1日～平成27年9月30日	公募委員
花村 廣美	平成25年10月1日～平成27年9月30日	公募委員

○ 委員会開催状況

回	開催日	主な会議の内容
第3回	平成26年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・「アンネの日記」の被害状況について ・平成26年度 武蔵野市図書館事業目標（案）について ・平成25年度 武蔵野市図書館評価（案）について ・武蔵野プレイス館内視察
第4回	平成26年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度 武蔵野市図書館評価（案）について
第5回	平成26年10月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度 武蔵野市図書館評価（案）について
第6回	平成27年2月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 武蔵野市図書館事業目標（案）について ・吉祥寺図書館の在り方について

■ 図書館基本計画

平成 22 年 4 月、武蔵野市図書館基本計画を策定しました。策定にあたっては、平成 21 年度に図書館基本計画策定委員会を設置し、検討を行いました。

1. 武蔵野市図書館基本計画の概要

【1 計画策定の背景】

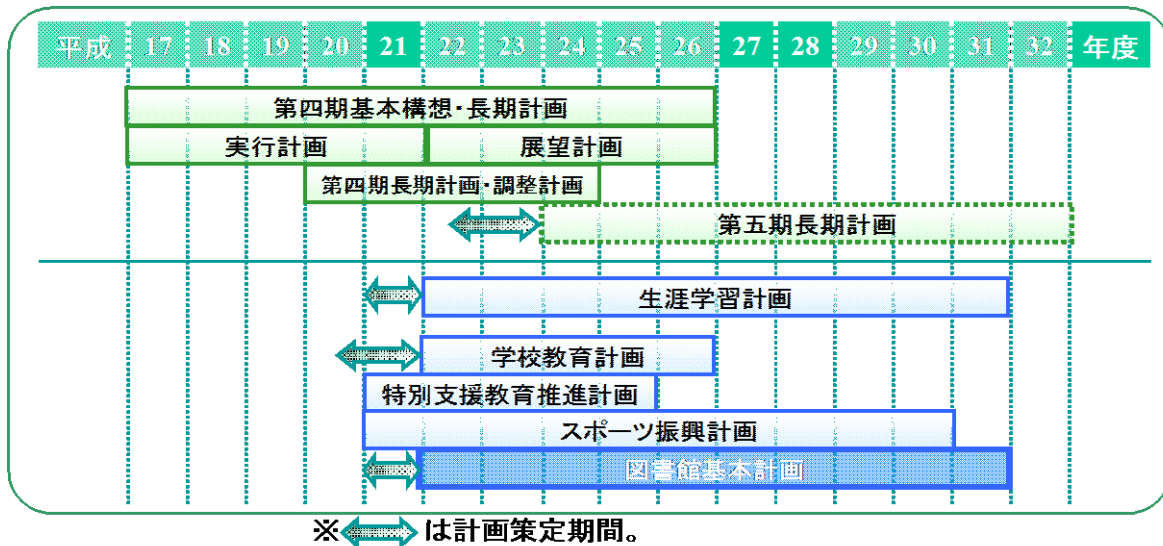
平成 23 年度の武蔵野プレイス開設にあたり、中央図書館、吉祥寺図書館、武蔵野プレイスの 3 館を核とし、既存の公共施設との連携を図りつつ、市内全域へサービスが行きわたるような図書館運営が求められています。また、情報化の進展や市民活動の発展、超高齢社会の到来による生涯学習機会のニーズの高まりなどといった、社会環境の変化の中で、図書館サービスに求められる役割は多様化しています。

こうした社会環境に見合った図書館運営を効率的・効果的に展開するとともに、相応しいサービスを展開するため、武蔵野市立図書館のあるべき姿を描くと同時に、その実現に向けて必要な施策を網羅的・体系的に整理することを目的として、「武蔵野市図書館基本計画」を策定することとしました。

【2 計画の位置づけ・計画期間】

本計画は、教育・文化行政推進のための基本計画の一つとして策定されている「生涯学習計画」の図書館部分について整理した個別計画として位置づけられており、武蔵野市立図書館 3 館が今後取り組むべき内容について網羅的に整理したものです。

本計画の計画期間は、平成 22～31 年度までの 10 年間とします。今後、教育委員会の基本方針や第五期長期計画に反映していくとともに必要に応じて計画期間中に見直しを行います。



【3 計画の構成】

本計画は、第 1 章で計画の位置づけについて整理した後、第 2 章で武蔵野市立図書館を取り巻く現状と課題について整理し、第 3 章では、武蔵野市立図書館が目指す 10 年後の将来像を明確にし、将来像の実現に向けた取組み内容について項目ごとに記載しています。

第1章 計画の位置づけ	・本計画策定の背景や計画の位置づけ・計画期間等について記載
第2章 武蔵野市立図書館を取り巻く現状と課題	・図書館政策に関連する動向や、武蔵野市の地域特性、図書館施設や図書館サービスの現状を概括し、解決すべき課題を明確化
第3章 基本方針	・武蔵野市立図書館が目指す将来像を記載
第4章 実施計画	・将来像を実現するための取組み内容を記載
第5章 計画の実現に向けて	・計画の見直しや進行管理のあり方を記載

【4 四つの将来像】

これまでの図書館は、いわゆる貸出サービスを中心とした取組みが主となってきました。その結果として、図書館本来の機能を十分果たせなくなっていました。

貸出サービスがこれからも必要であることは変わりませんが、図書館がより市民や利用者にとって役に立つ機関であるためには、図書館の持つ多様な情報を活用して、市民の課題解決を支援するとともに、生涯学習に役立つ多様な情報提供を行っていくことが求められています。

本計画では、市民活動が活発であるといった本市の特色や、本市が有する様々な地域資源の存在を踏まえて、図書館の「力」や図書館資料の持つ「力」を引き出す方策について検討を進め、武蔵野市立図書館の将来像を設定しました。

(1) 図書や読書の大切さと喜びを実感出来、本のあるライフスタイルを提案・創造する図書館

いま一度図書館の原点に立ち返り、図書館が保有する様々な図書資料を活用し、読書の楽しさを実感出来る機会を積極的に提供するとともに、図書館以外の身近な場所でのサービス提供を進め、身近に本のある豊かなライフスタイルを提案する図書館を目指します。

(2) すべての人の学びを支援する図書館

必要な情報の収集はもとより、情報資源に的確にアクセスし必要な知識を得られるよう、図書館資料の活用方法を実際に「体験」しながら学ぶ機会を提供します。また、図書館の取組みを積極的に情報発信し、武蔵野市に住み、働き、学ぶすべての人の学びを支援する拠点となる図書館を目指します。

(3) 地域住民の課題解決を支援する図書館

図書館の保有する多様な資料を活用して、こうした生活課題の解決につながる情報を積極的に発信するとともに、必要に応じて行政窓口や専門機関との橋渡しをすることで、地域住民が生活情報や地域情報にアクセスしやすい環境を構築していきます。

(4) 人々が交流し文化を創造する地域拠点としての図書館

文化や情報を自ら生み出そうとする潜在的なエネルギーを活用し、図書館を訪れるすべての人々が、様々な知識や情報と出会い、また人々と交流し、新しい文化を創造していくための触媒の役割を果たす必要があると考えています。今後は、武蔵野市立図書館は、市民の知的な活動を育み、地域文化の創造を支援する図書館を目指します。

【5 施策体系】

武蔵野市図書館では、「目指す将来像」を実現するために、図書館運営に関する項目として3

つの基本施策を、図書館サービスに関する項目として5つの基本施策を設定し、それぞれ様々な施策・事業を展開していきます。

それぞれの施策に基づき、個別の事業に取り組むことで、「目指す将来像」に向けて着実に計画を実施していきます。

(図書館運営)

- (1) 図書館施設・機能の充実
- (2) 安心して利用出来る図書館環境の構築
- (3) 質の高いサービスを支える体制整備

(図書館サービス)

- (1) 地域の情報拠点としての情報蓄積
- (2) 市民や関係機関と連携したサービスの充実
- (3) 図書館の活用と情報収集の支援
- (4) 市民の学びと課題解決の支援
- (5) 利用対象者別の図書館サービスの充実

【6 計画実現に向けて】

図書館サービスが適切であるかを評価するとともに、本計画に示された各種事業が適切に実施されているかについて定期的にチェックを行うための事業進捗評価もあわせて実施します。

図書館サービス評価は、【5 施策体系】で示した「施策」を対象として、図書館が提供している様々なサービスが、客観的な成果指標や外部の視点からどの程度充実しているか、想定している効果をあげているかについて評価します。これに対して、事業進捗評価は、本計画の「事業」を対象として、事業が計画通りに実施されているかについて内部的に評価を行います。さらに、こうした2つの評価を活用して、計画実施後5年が経過した段階で、十分なサービスが提供出来ていない、事業の進捗が思わしくないなどの問題点を勘案した上で、必要に応じて計画内容（事業内容）の見直しを行います。

2. 図書館評価

「図書館基本計画」の実現に向けて、平成23年度以降、前年度事業を対象とする「図書館評価」を実施しています。平成26年度は、第6期図書館運営委員会において、平成25年度図書館事業目標に基づく評価を実施しました。また、平成26年度図書館事業目標を、評価対象である重点中長期目標とその他中長期目標に区分けのうえ検討を進め決定しました。

(参考) 図書館評価の概要

- ① 「図書館基本計画」の主要な施策に対して、平成22年から5年間（平成26年度まで）の取組目標を設定する。
- ② 当該年度の取組目標を設定し、年度終了後にその取組結果（実績）を図書館運営委員会（以下委員会）に報告する。
- ③ 項目ごとに、取組状況の経年の進捗状況を委員会に報告する。
- ④ 委員会による評価を実施する。
- ⑤ 評価結果を基に、計画策定5年後を目処に計画の見直しについての検討を行い、必要に応じて計画内容の再検討を行う。

統計編

■ 図書館評価のための主要指標

武蔵野市立図書館では、平成 26 年度の図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために努力してまいります。評価のための指標の推移は以下のとおりです。

1. 図書館評価のための主要指標の推移

1. 参考：『図書館評価プロジェクト中間報告』（日本図書館協会 2011）

指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
【インプット指標】：投資された資源及びその蓄積					
人口	138,340	138,301	139,535	141,584	142,899
専任職員数	32	36	36	36	37
専任・非常勤・臨時・委託	78	115	117	121	121
蔵書冊数(図書)	717,456	793,110	813,460	837,768	857,679
視聴覚資料点数(貸出対象分)	17,035	16,340	16,078	163,347	16,654
蔵書点数(CD)	11,895	11,726	11,269	11,473	11,484
蔵書点数(カセット)					
蔵書点数(ビデオ)	3,432	2,660	2,613	2,589	2,559
蔵書点数(DVD)※館内視聴用を含む	1,708	1,954	2,196	2,285	2,611
図書館費(千円)	556,080	509,657	479,735	479,233	529,312
図書購入費(千円)	69,856	68,216	64,066	64,066	65,894
市民一人当たりの蔵書冊数(図書)	5.19	5.73	5.83	5.92	6.00
市民一人当たりの図書館費(円)	4,020	3,685	3,438	3,385	3,704
市民一人当たりの図書購入費(円)	505	493	459	452	461
年間受入冊数(図書)	37,211	40,395	39,387	39,913	40,916
年間除籍冊数(図書)	16,006	17,596	19,037	15,605	21,005
【中間的指標】：資源、効果のうち図書館の努力により増加させることができる指標					
開館日数	287	294	303	306	307
利用登録者数(市内)	52,908	61,191	63,534	65,403	65,917
利用登録者数(市外)	37,454	52,513	60,332	67,173	70,538
市民登録率	38.2%	44.2%	45.5%	46.2%	46.1%
専任司書率	45.5%	44.1%	44.1%	50.0%	43.2%
雑誌購入タイトル数	586	834	851	856	832
新聞購入タイトル数	45	52	54	54	53
【アウトプット指標】：資源とその活用により生まれた効果					
利用者数(貸出利用者数)	624,688	852,050	969,378	948,447	947,052
予約件数	303,172	451,239	547,070	552,883	577,956
貸出数(全資料)	1,892,219	2,194,270	2,398,397	2,326,533	2,322,268
貸出冊数(図書)	1,674,945	1,935,118	2,121,157	2,062,380	2,070,510
貸出点数(視聴覚資料)	107,294	125,808	124,888	115,395	107,272
貸出点数(CD)	86,748	84,850	87,026	79,964	72,915
貸出点数(カセット)	357				
貸出点数(ビデオ)	12,118	6,729	3,290	1,192	908
貸出点数(DVD)※館内視聴分を含む	8,071	34,229	34,572	34,239	33,449
蔵書回転率(図書)	2.33	2.44	2.61	2.46	2.41
蔵書回転率(視聴覚資料)	6.30	7.70	7.77	7.06	6.44
市民一人当たりの貸出冊数(図書)	12.1	14.0	15.2	14.6	14.5
一日当たりの貸出冊数(図書)	5,836	6,582	7,001	6,740	6,744
団体貸出冊数	10,915	8,047	9,694	10,653	11,109
レファレンス件数	15,626	44,609	54,535	58,154	59,823
事業参加人数(児童・YA・一般向け)	4,811	6,199	7,437	7,565	10,370
ホームページアクセス件数	1,094,922	790,401	943,496	1,018,252	1,106,509

※レファレンス件数のカウンター受付分は、平成 22 年度までは中央分、平成 23 年度より全館分

※平成 23 年度よりホームページアクセス件数集計方法をアクセスログによる集計に変更

■ 一般統計（平成 26 年度）

1. 蔵書統計

(1) 分類別蔵書統計

単位：冊

		中央	吉祥寺	プレイス	全館
一般書	郷土行政	25,793	925	2,504	29,222
	0. 総記	16,332	1,766	3,603	21,701
	1. 哲学	22,937	2,679	4,953	30,569
	2. 歴史	48,582	7,582	12,349	68,513
	3. 社会科学	90,386	7,494	17,059	114,939
	4. 自然科学	31,595	4,022	10,375	45,992
	5. 技術	36,652	5,442	13,635	55,729
	6. 産業	16,511	1,797	4,708	23,016
	7. 芸術	48,032	6,733	14,813	69,578
	8. 言語	9,745	1,733	2,713	14,191
	9. 文学	133,153	23,113	34,519	190,785
小計	479,718	63,286	121,231	664,235	
YA	0～9	19,556	4,179	6,999	30,734
	マンガ	5,246	0	135	5,381
	小計	24,802	4,179	7,134	36,115
児童書	0～9	59,532	15,774	23,005	98,311
	絵本	31,208	8,902	14,993	55,103
	紙芝居	1,542	1,025	1,348	3,915
	小計	92,282	25,701	39,346	157,329
合計		596,802	93,166	167,711	857,679

※吉祥寺図書館のYAマンガは、平成24年度に、YA（0～9）の資料区分に繰り込み

(2) 形態別蔵書統計【(1)に含まれる特殊形態書籍の統計】

単位：冊

種別	中央	吉祥寺	プレイス	全館
文庫	41,401	7,979	16,467	65,847
大型本	13,639	908	2,562	17,109
外国語図書	8,692	458	996	10,146
参考図書	25,899	3,009	3,327	32,235
大活字本	1,849	375	698	2,922

(3) 視聴覚資料所蔵数（タイトル数）

種別	中央	吉祥寺	全館
CD	8,341	3,143	11,484
ビデオ	2,559	—	2,559
DVD	2,611	—	2,611

(4) 新聞・雑誌所蔵タイトル数

種別	中央	吉祥寺	プレイス	全館
新聞	45 (12)	22 (2)	33 (9)	53 (17)
雑誌	470 (31) 33,805冊	210 (2) 3,173冊	629 (25) 10,223冊	832 (45) 47,201冊

※ () は外国語の新聞・雑誌タイトル数

2. 利用状況

(1) 中央図書館

① 内容別貸出冊数 (図書)

	一般図書				児童書	合計	%
	郷土資料	一般	YA	小計			
郷土行政	1,572	—	—	1,572	—	1,572	0.2%
0. 総記	—	7,848	204	8,052	1,215	9,267	1.2%
1. 哲学	—	21,511	652	22,163	1,286	23,449	3.0%
2. 歴史	—	49,040	905	49,945	7,555	57,500	7.4%
3. 社会科学	—	51,221	1,256	52,477	4,509	56,986	7.4%
4. 自然科学	—	26,317	873	27,190	12,944	40,134	5.2%
5. 技術	—	61,342	1,672	63,014	4,699	67,713	8.8%
6. 産業	—	13,996	252	14,248	3,018	17,266	2.2%
7. 芸術	—	42,895	37,802	80,697	22,968	103,665	13.4%
8. 言語	—	8,718	326	9,044	1,217	10,261	1.3%
9. 文学	—	180,154	18,922	199,076	62,178	261,254	33.8%
絵本・紙芝居	—	—	—	—	124,441	124,441	16.1%
合計	1,572	463,042	62,864	527,478	246,030	773,508	—

② 月別貸出件数

	開館日数	図書			雑誌	視聴覚資料	相互貸借	合計	一日平均
		一般	児童	小計					
4月	25	44,467	19,158	63,625	4,387	6,480	102	74,594	2,984
5月	25	45,022	19,038	64,060	4,526	6,772	165	75,523	3,021
6月	25	43,133	20,413	63,546	4,302	6,285	122	74,255	2,970
7月	26	48,802	23,583	72,385	4,455	6,634	138	83,612	3,216
8月	25	48,801	24,603	73,404	4,514	6,231	133	84,282	3,371
9月	25	46,962	21,736	68,698	4,663	6,399	138	79,898	3,196
10月	19	37,345	17,561	54,906	3,691	5,182	117	63,896	3,363
11月	25	43,298	22,091	65,389	4,589	6,056	78	76,112	3,044
12月	23	39,555	17,550	57,105	3,960	5,542	84	66,691	2,900
1月	23	41,975	20,166	62,141	4,315	5,648	117	72,221	3,140
2月	23	42,522	19,732	62,254	4,255	5,784	91	72,384	3,147
3月	26	45,596	20,399	65,995	4,844	6,364	100	77,303	2,973
合計	290	527,478	246,030	773,508	52,501	73,377	1,385	900,771	3,106

(2) 吉祥寺図書館

① 内容別貸出冊数 (図書)

	一般図書				児童書	合計	%
	郷土資料	一般	YA	小計			
郷土行政	465	—	—	465	—	465	0.1%
0. 総記	—	4,721	99	4,820	343	5,163	1.3%
1. 哲学	—	14,352	249	14,601	192	14,793	3.7%
2. 歴史	—	29,024	304	29,328	2,106	31,434	8.0%
3. 社会科学	—	30,129	873	31,002	1,369	32,371	8.2%
4. 自然科学	—	14,547	368	14,915	4,435	19,350	4.9%
5. 技術	—	31,430	436	31,866	1,843	33,709	8.5%
6. 産業	—	6,838	74	6,912	977	7,889	2.0%
7. 芸術	—	21,426	7,174	28,600	5,040	33,640	8.5%
8. 言語	—	5,798	162	5,960	530	6,490	1.6%
9. 文学	—	118,229	9,186	127,415	29,191	156,606	39.6%
絵本・紙芝居	—	—	—	—	53,172	53,172	13.5%
合計	465	276,494	18,925	295,884	99,198	395,082	—

② 月別貸出件数

	開館 日数	図書			雑誌	視聴覚資料	相互貸借	合計	一日平均
		一般	児童	小計					
4月	25	24,725	8,234	32,959	2,372	2,119	123	37,573	1,503
5月	25	24,820	7,689	32,509	2,332	1,991	127	36,959	1,478
6月	25	24,355	7,800	32,155	2,276	1,988	79	36,498	1,460
7月	26	25,686	9,480	35,166	2,319	2,137	100	39,722	1,528
8月	25	26,785	9,976	36,761	2,250	2,042	161	41,214	1,649
9月	25	25,171	8,363	33,534	2,405	1,998	121	38,058	1,522
10月	25	24,886	8,391	33,277	2,311	2,147	115	37,850	1,514
11月	21	22,555	7,653	30,208	2,116	2,015	95	34,434	1,640
12月	23	22,173	7,308	29,481	2,173	1,986	107	33,747	1,467
1月	23	23,960	7,678	31,638	2,275	2,117	61	36,091	1,569
2月	23	24,367	7,936	32,303	2,397	2,107	96	36,903	1,604
3月	26	26,401	8,690	35,091	2,486	2,128	89	39,794	1,531
合計	292	295,884	99,198	395,082	27,712	24,775	1,274	448,843	1,537

(3) 武蔵野プレイス

① 内容別貸出冊数 (図書)

	一 般 図 書				児童書	合 計	%
	郷土資料	一 般	Y A	小 計			
郷土行政	927	—	—	927	—	927	0.1%
0. 総 記	—	11,110	230	11,340	1,521	12,861	1.4%
1. 哲 学	—	25,144	673	25,817	910	26,727	3.0%
2. 歴 史	—	59,850	656	60,506	7,778	68,284	7.6%
3. 社会科学	—	65,203	1,814	67,017	3,455	70,472	7.8%
4. 自然科学	—	38,090	994	39,084	15,497	54,581	6.1%
5. 技 術	—	86,180	1,067	87,247	5,817	93,064	10.3%
6. 産 業	—	19,175	118	19,293	2,852	22,145	2.5%
7. 芸 術	—	48,485	28,370	76,855	22,638	99,493	11.0%
8. 言 語	—	12,216	297	12,513	1,417	13,930	1.5%
9. 文 学	—	208,914	22,583	231,497	77,513	309,010	34.3%
絵本・紙芝居	—	—	—	—	130,426	130,426	14.5%
合 計	927	574,367	56,802	632,096	269,824	901,920	—

② 月別貸出件数

	開館 日数	図 書			雑誌	視聴覚資料	相互貸借	合 計	一日平均
		一般	児童	小計					
4月	25	52,368	20,811	73,179	5,102	842	103	79,226	3,169
5月	27	55,783	20,928	76,711	5,486	819	100	83,116	3,078
6月	26	53,273	21,723	74,996	5,112	734	115	80,957	3,114
7月	26	55,192	25,664	80,856	4,932	733	110	86,631	3,332
8月	27	58,117	30,516	88,633	5,384	745	89	94,851	3,513
9月	26	54,620	21,978	76,598	5,174	723	113	82,608	3,177
10月	26	51,945	20,981	72,926	4,933	766	99	78,724	3,028
11月	22	46,975	21,463	68,438	4,596	742	103	73,879	3,358
12月	24	47,417	18,819	66,236	4,530	714	121	71,601	2,983
1月	24	50,654	20,705	71,359	4,667	699	92	76,817	3,201
2月	24	52,319	22,491	74,810	5,021	811	106	80,748	3,365
3月	27	53,433	23,745	77,178	5,378	792	148	83,496	3,092
合計	304	632,096	269,824	901,920	60,315	9,120	1,299	972,654	3,200

(4) 全館

① 内容別貸出冊数 (図書)

	一般図書				児童書	合計
	郷土資料	一般	YA	小計		
郷土行政	2,964	—	—	2,964	—	2,964
0. 総記	—	23,679	533	24,212	3,079	27,291
1. 哲学	—	61,007	1,574	62,581	2,388	64,969
2. 歴史	—	137,914	1,865	139,779	17,439	157,218
3. 社会科学	—	146,553	3,943	150,496	9,333	159,829
4. 自然科学	—	78,954	2,235	81,189	32,876	114,065
5. 技術	—	178,952	3,175	182,127	12,359	194,486
6. 産業	—	40,009	444	40,453	6,847	47,300
7. 芸術	—	112,806	73,346	186,152	50,646	236,798
8. 言語	—	26,732	785	27,517	3,164	30,681
9. 文学	—	507,297	50,691	557,988	168,882	726,870
絵本・紙芝居	—	—	—	—	308,039	308,039
合計	2,964	1,313,903	138,591	1,455,458	615,052	2,070,510

② 月別貸出件数

	開館 日数	図書			雑誌	視聴覚資料	相互貸借	合計	一日平均
		一般	児童	小計					
4月	25	121,560	48,203	169,763	11,861	9,441	328	191,393	7,656
5月	27	125,625	47,655	173,280	12,344	9,582	392	195,598	7,244
6月	26	120,761	49,936	170,697	11,690	9,007	316	191,710	7,373
7月	26	129,680	58,727	188,407	11,706	9,504	348	209,965	8,076
8月	27	133,703	65,095	198,798	12,148	9,018	383	220,347	8,161
9月	26	126,753	52,077	178,830	12,242	9,120	372	200,564	7,714
10月	26	114,176	46,933	161,109	10,935	8,095	331	180,470	6,941
11月	25	112,828	51,207	164,035	11,301	8,813	276	184,425	7,377
12月	24	109,145	43,677	152,822	10,663	8,242	312	172,039	7,168
1月	24	116,589	48,549	165,138	11,257	8,464	270	185,129	7,714
2月	24	119,208	50,159	169,367	11,673	8,702	293	190,035	7,918
3月	27	125,430	52,834	178,264	12,708	9,284	337	200,593	7,429
合計	307	1,455,458	615,052	2,070,510	140,528	107,272	3,958	2,322,268	7,564

※ 開館日数は、館によって異なるため、多い日数を表示

3. 貸出利用登録者数

(1) 貸出利用登録者数（平成 26 年度）

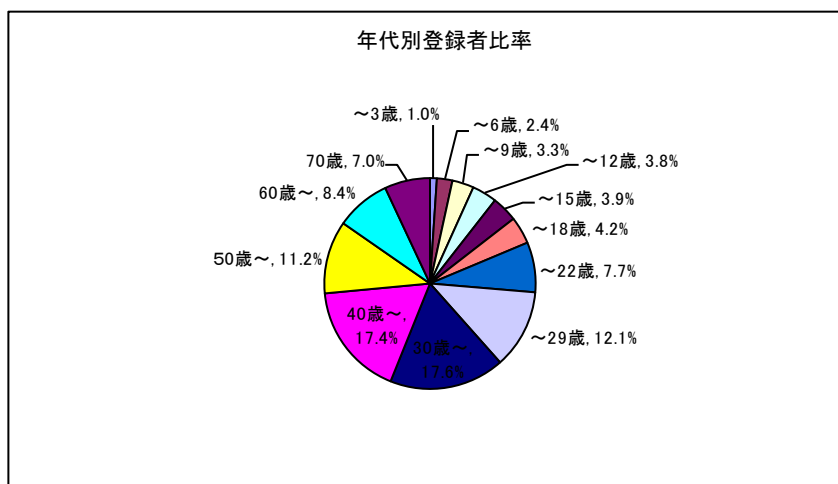
町名	一般	児童	合計	人口	登録率(%)
吉祥寺東町	4,285	693	4,978	12,850	38.7%
吉祥寺南町	4,224	725	4,949	13,518	36.6%
御殿山	1,229	214	1,443	4,210	34.3%
吉祥寺本町	3,839	547	4,386	11,357	38.6%
吉祥寺北町	6,358	1,566	7,924	16,198	48.9%
中町	5,299	839	6,138	13,443	45.7%
西久保	4,078	704	4,782	11,326	42.2%
緑町	3,210	971	4,181	8,307	50.3%
八幡町	1,455	384	1,839	4,415	41.7%
関前	3,203	675	3,878	9,017	43.0%
境	7,287	1,397	8,684	15,246	57.0%
境南町	7,299	1,114	8,413	14,197	59.3%
桜堤	3,303	1,019	4,322	8,815	49.0%
市内小計	55,069	10,848	65,917	142,899	46.1%
三鷹市	21,263	3,502	24,765		
小金井市	11,394	1,830	13,224		
西東京市	8,962	1,559	10,521		
練馬区	6,839	1,031	7,870		
杉並区	7,146	562	7,708		
その他の地区	6,013	437	6,450		
※市外小計	61,617	8,921	70,538	—	—
合計	116,686	19,769	136,455	—	—

※登録者数は平成 24 年 3 月 31 日以降の未利用者を除く

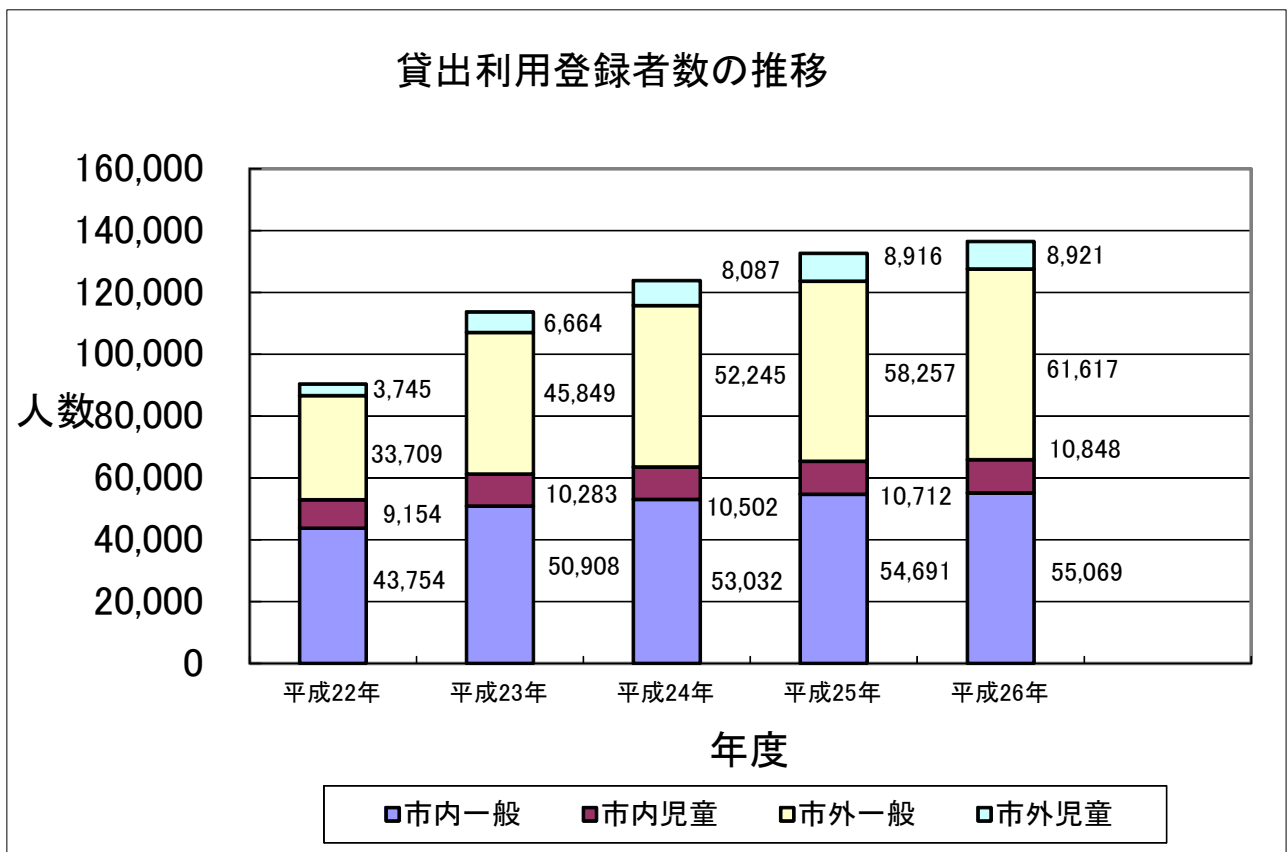
※登録率は人口に対する登録者の割合

※登録者数および人口は平成 27 年 3 月 31 日現在

※市外小計は在勤・在学・近隣市区在住者



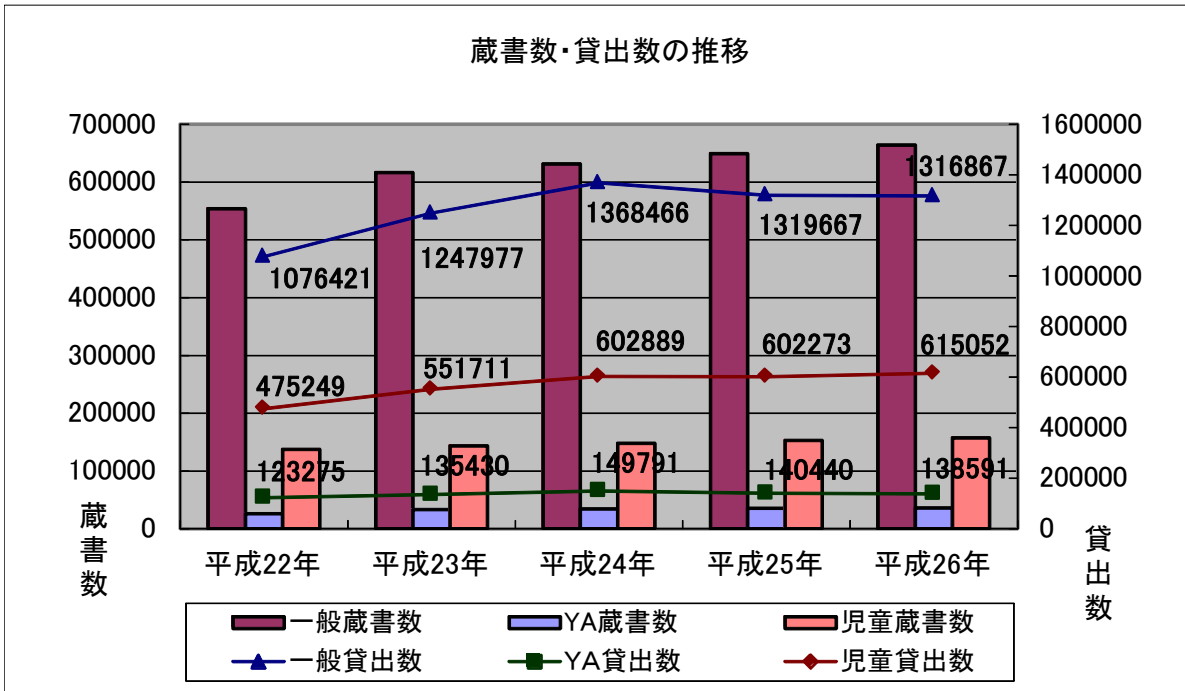
(2) 貸出利用登録者数の推移



(3) 年代別貸出利用登録者数と比率の推移

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
～3 歳	820	0.9%	1,226	1.1%	1,490	1.2%	1,509	1.1%	1,430	1.0%
～6 歳	1,998	2.2%	2,765	2.4%	2,978	2.4%	3,166	2.4%	3,239	2.4%
～9 歳	2,941	3.3%	3,785	3.3%	4,219	3.4%	4,437	3.3%	4,521	3.3%
～12 歳	3,544	3.9%	4,491	3.9%	4,799	3.9%	5,129	3.9%	5,196	3.8%
～15 歳	3,596	4.0%	4,680	4.1%	5,103	4.1%	5,387	4.1%	5,383	3.9%
～18 歳	2,992	3.3%	4,286	3.8%	4,982	4.0%	5,582	4.2%	5,705	4.2%
～22 歳	5,883	6.5%	7,908	7.0%	9,015	7.3%	9,939	7.5%	10,468	7.7%
～29 歳	12,573	13.9%	14,638	12.9%	15,348	12.4%	16,217	12.2%	16,524	12.1%
30 歳～	17,071	18.9%	21,027	18.5%	22,419	18.1%	23,701	17.9%	24,065	17.6%
40 歳～	15,503	17.2%	19,747	17.4%	21,566	17.4%	23,150	17.5%	23,770	17.4%
50 歳～	9,260	10.2%	11,648	10.2%	12,916	10.4%	14,232	10.7%	15,243	11.2%
60 歳～	8,047	8.9%	9,915	8.7%	10,569	8.5%	11,021	8.3%	11,424	8.4%
70 歳～	6,134	6.8%	7,588	6.7%	8,462	6.8%	9,106	6.9%	9,487	7.0%
合計	90,362		113,704		123,866		132,576		136,455	

4. 蔵書数・貸出数の推移



5. 新システム導入後の機器毎の利用数

中央図書館

単位：件

	台数	貸出数	返却数	予約数	登録者数
カウンター・事務室等	25	105,011	116,834	13,456	3,647
自動貸出機	8	793,643			
自動返却機	2		740,786		
館内OPAC	12			21,838	
合計		898,654	857,620	35,294	3,647

※ 貸出数全体のうち貸出機の占める割合： 88.3%

吉祥寺図書館

単位：件

	台数	貸出数	返却数	予約数	登録者数
カウンター・事務室等	13	285,884	477,182	12,573	3,115
自動貸出機	1	160,951			
館内OPAC	8			17,042	
合計		446,835	477,182	29,615	3,115

※ 貸出数全体のうち貸出機の占める割合： 36.0%

武蔵野プレイス

単位：件

	台数	貸出数	返却数	予約数	登録者数
カウンター・事務室等	28	53,986	40,783	17,186	9,101
自動貸出機	7	908,992			
自動返却機	2		915,887		
館内OPAC	13			50,035	
合計		962,978	956,670	67,221	9,101

※ 貸出数全体のうち貸出機の占める割合： 94.4%

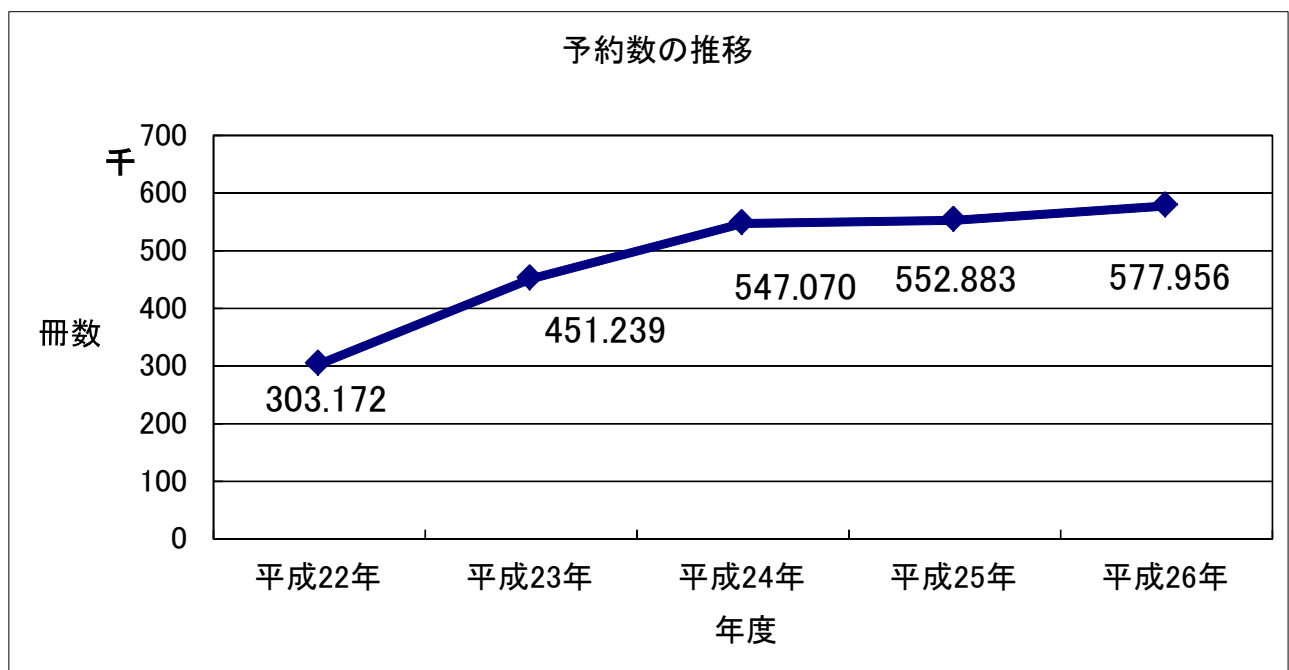
■ 予約・リクエストサービス

1. 予約の手段別内訳

単位：件

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
窓 口	35,549	40,054	42,535	41,743	43,217
OPAC	51,893	86,519	101,654	91,123	88,921
W e b	202,482	308,109	386,330	408,561	436,686
携 帯	13,248	16,557	16,551	11,456	9,132

2. 予約数の推移



※ 平成 22 年度までの予約数には都立・国会・他市区図書館からの相互貸借分、業務用予約を含む

■ サービス事業

1. 児童サービス事業統計の推移

(1) おはなし会

単位：人

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央	子ども	190	268	271	248	249
	大人	122	190	177	174	165
	計	312	458	448	422	414
吉祥寺	子ども	73	181	145	154	98
	大人	48	109	90	92	74
	計	121	290	235	246	172
プレイス (西部)	子ども	245	297	298	343	369
	大人	156	229	228	270	278
	計	401	526	526	613	647
合計		834	1,274	1,209	1,281	1,233

(2) 乳幼児向けおはなし会

単位：人

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央	子ども	332	485	457	500	512
	大人	317	461	419	479	476
	計	649	946	876	979	988
吉祥寺	子ども	203	198	249	293	213
	大人	183	179	243	275	201
	計	386	377	492	568	414
プレイス (西部)	子ども	255	311	574	642	669
	大人	227	288	555	637	659
	計	482	599	1,129	1,279	1,328
合計		1,517	1,922	2,497	2,826	2,730

(3) どっきんどようび

単位：人

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央	子ども	192	170	204	110	232
	大人	129	130	148	78	148
	計	321	300	352	188	380
吉祥寺	子ども	53	91	139	83	91
	大人	37	75	96	75	83
	計	90	166	235	158	174
プレイス (西部)	子ども	74	159	200	155	210
	大人	41	112	180	109	165
	計	115	271	380	264	375
合計		526	737	967	610	929

(4) こどもまつり

単位：人

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央	子ども	218	214	269	263	243
	大人	86	85	124	86	108
	計	304	299	393	349	351
吉祥寺	子ども	131	146	145	167	172
	大人	39	53	51	59	76
	計	170	199	196	226	248
プレイス (西部)	子ども	183	393	408	375	269
	大人	67	215	207	169	118
	計	250	608	615	544	387
合計		724	1,106	1,204	1,119	986

(5) ブックスタート

単位：組

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
0歳	1,093	1,116	1,073	1,263	1,312
3歳	935	974	939	1,052	1,101
合計	2,028	2,090	2,012	2,315	2,413

(6) ブックスタート講演会、人形劇

単位：人

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
講演会	大人	45	60	34	35	55
	子ども (保育含む)	14	12	26	15	54
	計	59	72	60	50	109
人形劇	子ども	88	38	49	66	36
	大人	75	44	52	50	32
	計	163	82	101	116	68
合計		222	154	161	166	177

(7) プレイス主催事業（子ども向け）

単位：人

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加 人数	子ども	—	50	34	43	166
	大人	—	56	0	25	111
	計	—	106	34	68	277

(8) 配慮を必要とする子どもへのサービス（みどりのこども館でのおはなし会と図書の貸出）

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施回数		—	—	11	12	18
おはなし会 参加人数	子ども	—	—	72	79	184
	大人	—	—	62	80	124
	計	—	—	134	159	308
貸出冊数		—	—	157	110	179

《児童向け事業参加人数》

単位：人

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
児童向け事業参加人数	3,823	5,299	6,206	6,229	6,640

※ 事業参加人数は、(1)～(4)、(6)～(8)の参加人数の合計。ブックスタートは除く

※ 平成 22 年度までは西部図書館、平成 23 年度より武蔵野プレイス（7月開館）

2. 学校連携事業統計の推移

(1) 図書館見学・調べ学習

		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
		図書館 見学	調べ 学習	図書館 見学	調べ 学習	図書館 見学	調べ 学習	図書館 見学	調べ 学習	図書館 見学	調べ 学習
中 央	学校数	5	3	3	6	4	1	4	2	4	2
	人数	76	69	192	88	202	10	191	8	160	4
吉祥寺	学校数	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0
	人数	12	0	39	0	30	0	7	0	15	0
プレイス (西部)	学校数	1	0	3	0	0	0	1	0	3	0
	人数	5	0	170	0	0	0	72	0	183	0
計	学校数	7	3	7	6	6	1	6	2	9	2
	人数	93	69	401	88	232	10	270	8	358	4

(2) 貸出冊数

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
学校数	71	117	140	205	195
冊数	2,232	3,657	3,828	5,095	5,040

(3) 職場体験・大学生図書館実習

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
回数	6	9	12	10	12
人数	12	14	23	21	31

3. YA向け事業統計の推移

《YA向け事業参加人数》

単位：人

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加人数	—	—	57	48	26

4. 一般向け事業統計の推移

(1) 映画会

単位：人

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央	525	460	564	633	883
吉祥寺	156	53	103	77	180
プレイス(西部)	216	136	314	270	820
全館合計	897	649	981	980	1,883

(2) 文庫連事業（講座・講演会）

単位：人

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加人数	91	74	82	43	68
保育	8	6	3	5	0

(3) プレイス主催事業

単位：人

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加人数	—	177	111	265	1,753

《一般向け事業参加人数》

単位：人

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加人数	988	900	1,174	1,288	3,704

※ 平成 22 年度までは西部図書館、平成 23 年度より武蔵野プレイス（7 月開館）

(4) トピックス

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央	回数	4	6	7	11	9
	展示冊数	293	594	787	953	888
プレイス	回数	—	7	7	6	6
	展示冊数	—	1,239	1,800	1,570	1,512
合計	回数	4	13	14	17	15
	展示冊数	293	1,833	2,587	2,523	2,400

(5) 課題解決テーマ展示（中央図書館）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
回数	11	10	11	11
展示冊数	506	553	552	725

5. 施設利用統計の推移

(1) グループ学習室（中央図書館）

単位：グループ

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用数	528	952	1,108	991	1,030

(2) AVブース利用

単位：回

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央	7,749	4,975	4,999	4,353	4,227
吉祥寺	1,329	1,298	1,556	1,226	1,297
合計	9,078	6,273	6,555	5,579	5,524

※ 平成 23 年 1 月より、中央図書館のレイアウト変更により、AVブース数を減らしたため利用数が減少している

■ レファレンスサービス

1. レファレンスサービス利用状況の推移

単位：件

	カウンター			Eメール レファレンス	その他(電話・ 文書等)	合計
	所蔵調査・ 書架案内	レファレンス	調べ学習			
平成22年度	14,987	484	92	25	38	15,626
平成23年度	42,031	2,312	221	26	19	44,609
平成24年度	51,985	2,274	243	18	15	54,535
平成25年度	55,477	2,441	171	47	18	58,154
平成26年度	56,814	2,772	192	25	20	59,823

※「カウンター」は、平成22年度までは中央図書館受付分のみ。平成23年度7月より、吉祥寺、武蔵野プレイスで集計開始

※「その他(電話・文書等)」は、中央図書館受付分

※調べ学習は、小、中学生から寄せられた調べものについての質問

※Eメールレファレンス件数は平成24年度まではメール件数。平成25年度より質問数

■ インターネット検索用パソコン

1. 利用状況の推移

年度	中央		吉祥寺		プレイス(西部)		全館	
	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数
平成22年度	1,885	1,190	2,365	147	500	172	4,750	1,509
平成23年度	1,802	518	1,829	150	9,286	3,725	12,917	4,393
平成24年度	1,940	755	1,697	182	16,756	6,228	20,393	7,165
平成25年度	1,856	1,400	1,205	277	16,304	7,602	19,365	9,279
平成26年度	1,423	991	1,328	235	16,558	7,990	19,309	9,216

※ 平成22年度までは西部図書館。平成23年度より武蔵野プレイス(7月開館)

※ 中央、吉祥寺、西部は各館1台、プレイスは10台

■他自治体図書館との比較

1. 近隣区市との比較（三鷹市、小金井市、西東京市、杉並区、練馬区）平成 25 年度

※『平成 26 年度「東京都公立図書館調査」（東京都立中央図書館 2014）より作成

自治体名	人口	館数	蔵書冊数	市民1人 当たり 蔵書冊数	登録者数	貸出数 (全資料)	市民1人 当たり 貸出数	予約件数
武蔵野市	141,584	3	837,768	5.92	132,576	2,326,533	16.4	552,883
三鷹市	180,570	6	703,541	3.90	183,832	1,427,534	7.9	246,801
小金井市	117,079	3	401,772	3.43	129,741	792,814	6.8	134,228
西東京市	197,676	7	787,037	3.98	51,608	2,212,808	11.2	693,362
杉並区	545,210	13	2,283,236	4.19	160,710	4,622,711	8.5	299,369
練馬区	712,407	13	1,739,605	2.44	222,983	6,152,346	8.6	2,076,381

※ 人口：「東京都総務局『住民基本台帳による世帯と人口 平成 26 年 4 月 1 日現在』

【参考】※各市区立図書館HPより作成

自治体名	貸出可能数(本・雑誌、視聴覚資料等)	予約可能件数
武蔵野市	10冊、CD 2点、ビデオ・DVD 2点	8冊(内AV 2点)在住・在勤・在学 5冊(内AV 1点)上記以外 (H26.5より)
三鷹市	10冊、CD・カセット 3点	6冊(内CD・カセット 1点)
小金井市	無制限、CD 5点	10冊(内CD 5点)
西東京市	30冊、CD・カセット 3点	30冊、CD・カセット 3点
杉並区	15冊、CD・カセット・レコード 4点	20冊(内未所蔵リクエスト 5冊)、CD 4点
練馬区	10冊、CD等 5点、ビデオ 1点、 布絵本 2点	10冊、CD等 5点、ビデオ 1点、 布絵本 2点

2. 同規模自治体（人口 10 万～15 万人）図書館との比較 平成 24 年度

※参考 他自治体のデータについては『図書館年鑑 2014』（日本図書館協会 2014）

※同資料は 2013 年 4 月 1 日を調査基準日としている。

蔵書冊数

	自治体名	(千冊)
1	長浜市	964
2	東近江市	928
3	成田市	832
4	刈谷市	829
5	武蔵野市	814
6	多摩市	792
7	諫早市	745
8	彦根市	744
9	北見市	727
10	飯田市	709

資料費

	自治体名	(万円)
1	成田市	9,614
2	武蔵野市	9,402
3	諫早市	9,125
4	一関市	8,547
5	中央区(東京都)	6,328
6	藤枝市	6,175
7	東近江市	6,065
8	丸亀市	5,179
9	糸島市	5,055
10	北見市	5,044

貸出数

	自治体名	(千点)	貸出可能数
1	武蔵野市	2,398	10冊、AV 4点
2	多摩市	1,800	無制限、AV 5点 (在住勤学) 近隣 10点 (内AV 5点)
3	稲沢市	1,629	10冊、AV 2点、複製絵画 1点
4	箕面市	1,380	20冊
5	中央区(東京都)	1,336	10冊、AV 7点
6	岩国市	1,307	10冊、AV 4点
7	生駒市	1,306	5冊
8	我孫子市	1,272	10冊、AV 5点
9	草津市	1,263	15点 (全資料)
10	諫早市	1,228	10冊、AV 4点

予約件数

	自治体名	(件)	予約可能数
1	多摩市	492,294	20冊、AV 5点 (在住勤学) 5冊、AV 5点 (日野・稲城)
2	中央区(東京都)	448,223	10冊、AV 7点
3	箕面市	274,379	10冊
4	河内長野市	166,282	20冊
5	国分寺市	165,130	12冊、AV 2点
6	生駒市	148,951	5冊、リクエスト年間 12冊
7	稲沢市	148,616	10冊、リクエスト 5冊、AV 2点
8	岩国市	144,392	14点
9	武蔵野市	144,189 ※(547,070)	8冊(内AV 2点)在住勤学 5冊(内AV 1点)上記以外
10	朝霞市	144,044	3点

リクエスト：未所蔵リクエスト

※ 武蔵野市()はWeb OPAC、携帯 OPAC での予約 (402,881 件) を含んだ件数

図書交流センター

■ 図書交流センター

武蔵野市在住の蔵書家のコレクションを譲り受け、市民の貴重な知的財産である書籍の散逸を防ぎ、その有効活用を図ることを目的に、平成 15 年 4 月に、旧桜堤小学校 3 階（桜堤 1-7-25）に設置されました。

個人所有の図書コレクションの減少もあり、貴重な図書コレクションの散逸防止という当初の目的は終えたことから、平成 24 年度に事務事業見直し方針が決定され、平成 26 年度中に有効活用できる蔵書を公立図書館、大学図書館等へ提供・仲介のうえ最終的に図書館で保存する蔵書以外を整理し、平成 26 年度末をもって廃止しました。

1. 主な業務内容

- (1) 遺贈・寄贈された蔵書コレクション（以下「蔵書コレクション」という）の受け入れ・整理
- (2) 蔵書コレクションの保存・有効活用
- (3) 蔵書コレクションの活用を通じた、友好都市との交流事業

2. 経過

平成 15 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○新潟県小国町に開設された愛蔵書センターへ、書籍・雑誌を寄託・寄贈（約 1 万 2,000 冊）。同町立保育園・小・中学校へ児童書を寄贈（約 1,100 冊）（8 月～） ○図書交流センター運営委員会が発足
平成 16 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○小国町愛蔵書センター・友好都市の小・中学校への寄託・寄贈（約 4,500 冊） ○小国町震災復興支援のため「がんばれ小国ブックリサイクル」と「武蔵野から本がくるくるブックフェア」を実施（提供した書籍 約 2,100 冊）（平成 17 年 3 月）
平成 17 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○小国愛蔵書センターへ「笑いをテーマとした本」等を寄贈（約 870 冊）5 月～8 月 ○武蔵野市内の保育園・幼稚園・こどもクラブなどへ図書館からのリサイクル児童書を提供（約 1,700 冊）（6 月・平成 18 年 3 月） ○長岡市立小国中学校復興支援のため「がんばれ小国ブックリサイクル 2」を開催（提供した書籍 約 1,600 冊）（10 月） ○「小国の中学生に本を贈ろう！」で市民より寄せられた本を、小国中学と小国愛蔵書センターへ寄贈（約 1,000 冊）（12 月～平成 18 年 3 月） ○都立図書館除籍資料再活用プロジェクトに参加。4 万 9,000 冊の書籍を分別・整理作業が当センターで行われる（12 月～平成 18 年 1 月）
平成 18 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○武蔵野市内あそべえ・こどもクラブなどへ図書館からのリサイクル児童書を提供（1,058 冊） ○「チャリティブックリサイクル・本がくるくる」を開催し、募金 10 万 5,454 円を「のぞみの家」へ寄付（提供した書籍 約 3,000 冊）（10 月・11 月） ○寄贈図書の一部の販売を開始（販売冊数 230 冊）（11 月～） ○小国愛蔵書センターへ児童書などを寄贈（約 1,000 冊） ○中日新聞東京本社から、戦後 40 年間のテーマ別新聞記事切抜きを受け入れ（12 月）
平成 19 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「チャリティブックリサイクル・本がくるくる 2、3、4」を開催。募金総額 21 万 2,820 円を市民社会福祉協議会へ寄付（提供した書籍 約 1 万 700 冊） ○古書販売冊数（545 冊）

平成 20 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「チャリティブックリサイクル・本がくるくる 5、6、7、8」を開催。募金総額 14 万 6,060 円を市民社会福祉協議会へ寄付（提供した書籍 約 1 万 1,700 冊） ○古書販売冊数（722 冊）
平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○受け入れ済みの古書をリスト化（ドイツ語 120 冊・和書 30 冊） ○古書販売冊数（228 冊）
平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○小国愛蔵書センターの閉鎖（6 月） ○古書販売冊数（83 冊） ○8 月より中央図書館 4 階で展示室を開設。毎週月曜日（平成 23 年 2 月から第 2・4 日曜日も追加）本センターの周知と理解を深める活動を実施
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ブックリサイクル（9 月 17～19 日：プレイスにて）（3,769 冊提供） ○展示室での資料公開を継続（中央図書館 4 階）毎週月曜日と第 2・4 日曜日 ○大学図書館・専門図書館への提供拡大（成蹊大学・武蔵野大学・秩父宮記念スポーツ図書館など） ○古書販売冊数（135 冊）
平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ブックリサイクル（9 月 16～17 日：プレイスにて）（2,789 冊提供） ○展示室での資料公開を継続（中央図書館 4 階）毎週月曜日と第 2・4 日曜日 ○研究者蔵書の大学図書館への仲介（約 6,000 冊） 寄贈の申出があった蔵書を「日本中世史コレクション」として、武蔵野大学へ仲介 ○古書販売冊数（92 冊）
平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ブックリサイクル（9 月 22～23 日：プレイスにて）（2,283 冊提供） ○ブックリサイクル（2 月 9～11 日：中央図書館視聴覚ホールにて）（2,314 冊提供） ○都立多摩図書館への提供（イタリア語雑誌＋欠号雑誌等 2,577 冊） ○市内小中学校への提供（児童書リサイクル・中学校サポーターを通じて） ○事務室の移転（旧桜堤小→中央図書館内）に伴い、展示室を 12 月末で閉室 ○古書販売冊数（48 冊）＊11 月末にて古書販売を終了
平成 26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○提供の拡大 公共図書館など 17 件・10,239 冊／大学図書館など 21 件・1,737 冊／専門図書館など 6 件 1,014 冊 合計 12,990 冊 ○「東京新聞記事切り抜き」資料を 17 か所 段ボール約 50 箱提供 ○3 月末で廃止

3. 寄贈、資料提供実績

単位：冊

年度	寄贈受入	公立・専門図書館 等への資料提供	市関係機関 (友好都市含) への寄贈	ブックリサイクル他	古書販売冊数
平成 15 年度	約 30,000	約 660	約 13,100	—	—
平成 16 年度	約 7,400	約 3,630	約 4,500	約 2,100	—
平成 17 年度	約 1,000	約 700	約 3,570	約 1,600	—
平成 18 年度	約 5,700	約 2,200	約 2,060	約 3,000	230
平成 19 年度	約 1,770	約 2,300	—	約 10,700	545
平成 20 年度	約 5,340	約 1,570	—	約 11,700	722
平成 21 年度	8,411	437	—	—	228
平成 22 年度	28,409	8,598	—	124	83
平成 23 年度	1,311	2,025	—	3,879	135
平成 24 年度	691	3,095	319	2,942	92
平成 25 年度	473	5,867	474	4,739	48
平成 26 年度	—	8,292	4,698	—	—

參考資料

■ 参考資料

武蔵野市立図書館条例

平成6年12月20日条例第47号

武蔵野市立図書館設置条例（昭和26年4月武蔵野市条例第13号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書、記録その他必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として、武蔵野市立図書館（第5条第7号を除き、以下「図書館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 図書館の名称及び位置は、別表のとおりとする。

（管理）

第3条 図書館は、武蔵野市教育委員会（以下「委員会」という。）が管理する。ただし、武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイス（第5条各号に掲げる事業を行う部分に限る。以下「プレイス」という。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 指定管理者は、武蔵野市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年6月武蔵野市条例第13号）第4条各号のいずれにも該当し、かつ、第1条に規定する目的を達成するために必要な能力及び実績を有する者とする。

（職員）

第4条 図書館（プレイスを除く。）に次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 司書
- (3) 司書補
- (4) 前3号に掲げる者のほか、委員会が必要と認める職員

（事業）

第5条 図書館は、法第3条の規定に基づき、次に掲げる事業を行う。

- (1) 図書館資料の収集、整理及び保存
- (2) 図書館資料の個人及び団体への閲覧、視聴及び貸出し
- (3) 調査研究の支援、読書指導、読書案内及び読書相談その他図書館資料を利用するための相談
- (4) 学校等との連携及び協力
- (5) 地域文庫、子ども文庫その他の地域における読書活動への協力及び支援
- (6) 読書会、お話し会、研究会、講演会、資料展示会等の開催
- (7) 他の図書館との連絡、協力及び図書館資料の相互貸借
- (8) 図書館に附帯する施設（以下「図書館施設」という。）の供用
- (9) 前各号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める事業

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) プレイスにおける前条各号に掲げる事業に関する業務
- (2) プレイスにおける図書館資料、図書館施設並びに図書館施設に附帯する設備及び器具（以下「図書館資料等」という。）の維持管理に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、プレイスの管理及び運営に関する業務のうち、市長又は委員会
のみの権限に属する事務を除く業務
(休館日)

第7条 図書館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、委員会は、特に必要があると認めるときは、図書館の全部又は一部を臨時に開館し、又は休館することができる。

- (1) 金曜日
 - (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
 - (3) 館内整理日（1月4日及び1月を除く毎月第1水曜日をいう。）
 - (4) 年10日以内で委員会が指定する図書特別整理日
- 2 前項の規定にかかわらず、プレイスの休館日については、武蔵野市立武蔵野プレイス条例（平成22年3月武蔵野市条例第10号。以下「プレイス条例」という。）第5条に定めるところによる。
(開館時間)

第8条 図書館の開館時間は、次の各号に掲げる日に応じてそれぞれ当該各号に定めるとおりとする。ただし、委員会は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

- (1) 月曜日から木曜日まで（次号に規定する休日を除く。） 午前9時30分から午後8時まで
 - (2) 土曜日及び日曜日並びに国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
午前9時30分から午後5時まで
- 2 前項の規定にかかわらず、プレイスの開館時間については、プレイス条例第6条に定めるところによる。

(貸出登録)

第9条 図書館資料の貸出しを受けようとする者は、委員会が規則で定めるところにより、登録を受けなければならない。

(図書館の利用の制限)

第10条 委員会（プレイスにあつては、指定管理者。第12条第1項において同じ。）は、図書館を利用する者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その利用を制限し、若しくは禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 図書館資料等を損傷し、又は損傷するおそれがあるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号の暴力団の利益になるとき。
- (4) 貸出しの手続をとらずに所定の場所以外の場所に図書館資料を持ち出したとき。
- (5) この条例、この条例に基づく規則その他の規程に違反したとき。
- (6) 係員の指示に従わないとき。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、図書館の管理上支障があるとき。

(駐車場の使用料)

第11条 武蔵野市立中央図書館駐車場の使用料は、1台1時間につき200円とする。ただし、委員会が、特に必要と認めるときは、使用料を免除することができる。

(原状回復義務)

第12条 利用者は、図書館資料等の利用を終了したとき又は第10条の規定により図書館の利用を禁止され、若しくは退館を命ぜられたときは、その利用した図書館資料等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、委員会の承認を得たときは、この限りでない。

2 利用者が前項に規定する義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

(損害賠償義務)

第13条 利用者は、故意又は過失により図書館資料等を損壊し、又は紛失したときは、その損害を市に賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

2 前条第2項の規定は、利用者が前項に規定する義務を履行しない場合に準用するものとする。

(委任)

第14条 この条例の施行について必要な事項は、委員会が別に定める。

付 則

この条例は、平成7年4月2日から施行する。

付 則 (平成22年9月22日条例第28号)

(施行期日)

1 この条例は、武蔵野市立武蔵野プレイス条例(平成22年3月武蔵野市条例第10号)の施行の日から施行する。ただし、別表の改正中武蔵野市立西部図書館の項を削る部分は、平成23年4月1日から施行する。

(準備行為)

2 次に掲げる準備行為は、この条例の施行の前においても行うことができる。

(1) 改正後の武蔵野市立図書館条例(以下「改正後の条例」という。)第3条第1項ただし書の規定による指定

(2) 前号に掲げるもののほか、改正後の条例を施行するために必要な準備行為

別表(第2条関係)

名称	位置
武蔵野市立中央図書館	武蔵野市吉祥寺北町4丁目8番3号
武蔵野市立吉祥寺図書館	武蔵野市吉祥寺本町1丁目21番13号
武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイス	武蔵野市境南町2丁目3番18号

武蔵野市立図書館条例施行規則

平成22年12月8日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、武蔵野市立図書館条例（平成6年12月武蔵野市条例第47号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(貸出登録の要件)

第2条 条例第9条の登録（以下「貸出登録」という。）を受けることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 次のいずれかに該当する個人

ア 武蔵野市内に居住し、通勤し、又は通学する者

イ 三鷹市、小金井市、西東京市、杉並区又は練馬区の区域内に居住する者（アに該当する者を除く。）

(2) 武蔵野市内に所在する学校、官公署その他地域文庫等公共的な活動を行っている団体（以下「団体」という。）

2 前項の規定にかかわらず、武蔵野市立図書館（以下「図書館」という。）の館長（武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスにあっては、条例第3条第1項ただし書の規定により、武蔵野市教育委員会（以下「委員会」という。）が指定する者。以下「館長」という。）が特に必要と認める者は、貸出登録を受けすることができる。

(貸出登録の申請等)

第3条 貸出登録を受けようとする者は、委員会が別に定める貸出登録申請書により、館長に申請しなければならない。この場合において、前条に定める要件（以下「登録要件」という。）に該当することを明らかにする書類を提示するものとする。

2 館長は、前項の規定による申請があった場合において申請者が登録要件に該当すると認めるときは、当該申請者に係る貸出登録を行うものとする。

3 前項の規定により貸出登録を受けた者（以下「登録者」という。）は、貸出登録を受けた事項に変更があったときは、その旨を館長に届け出なければならない。

4 館長は、特に必要と認めるときは、登録者に対し、第1項の書類の提示を求めることができる。

(図書館カードの交付等)

第4条 館長は、登録者に対し、委員会が別に定める図書館カード（以下「図書館カード」という。）を交付するものとする。

2 登録者は、条例第1条に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の貸出しを受けようとするときは、図書館カードを提示しなければならない。ただし、館長が適当と認めるときは、この限りでない。

3 登録者は、図書館カードを他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

4 登録者は、図書館カードを紛失したときは、その旨を館長に届け出なければならない。

(登録者に貸し出すことができる図書館資料の種類等)

第5条 登録者に貸し出すことができる図書館資料の種類、数量及び期間は、別表に定めるとおりとする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(図書館資料の貸出しの制限等)

第6条 前条の規定にかかわらず、登録者は、図書館資料のうち、館長が特に指定するものは、貸出しを受けることができない。

第7条 館長は、登録者が次の各号のいずれかに該当するときは、図書館資料の貸出しを制限し、又は当該登録者に係る貸出登録を取り消すことができる。

- (1) 登録要件に該当しなくなったとき。
- (2) 第3条第4項の規定による書類の提示の求めがあった場合において当該求めがあった日から3か月を経過する日までに当該書類を提示しなかったとき。
- (3) 第4条第4項の規定による届出を行ったとき。
- (4) 図書館資料の貸出しを受けた場合において第5条の期間の末日から2週間を経過する日までに当該図書館資料を返却しなかったとき。
- (5) 図書館カードを他人に貸与し、又は譲渡したとき。

(図書館資料の閲覧及び視聴)

第8条 条例第10条の利用者（以下「利用者」という。）は、図書館資料を所定の場所において閲覧し、又は視聴しなければならない。

- 2 利用者は、館内において視聴することができるものとして館長が指定する図書館資料（以下「視聴覚資料」という。）を視聴しようとするときは、委員会が別に定める視聴票により、館長に届け出なければならない。この場合において、視聴することができる視聴覚資料は、1人につき1日1点を限度とする。

(図書館資料等の複写等)

第9条 利用者は、図書館資料（館長が指定するものに限る。）を複写し、又は電子計算組織の端末を利用して検索することができる情報（館長が指定するものに限る。）を表示した画面を印刷することができる。この場合において、利用者は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額を負担するものとする。

- (1) 単色のもの 複写面又は印刷面1面につき10円
- (2) カラーのもの 複写面又は印刷面1面につき50円

(図書館資料の購入)

第10条 図書館資料を図書館に売却しようとする者は、その種類、書名、冊数、売却希望価格等を記載した書面により、館長に申し出なければならない。

- 2 前項の規定による申出があった図書館資料の購入は、時価又はその状態により適正な価格で行うものとする。

(図書館資料の受贈)

第11条 図書館は、図書館資料の寄贈を受けることができる。

- 2 前項に規定する寄贈を受けた図書館資料は、広く公衆の閲覧又は視聴に供するものとする。

(図書館資料の受託)

第12条 図書館資料を図書館に寄託しようとする者は、その種類、書名、冊数等を記載した書面により、館長に申し出なければならない。

- 2 前項の規定による申出により寄託を受けた図書館資料（以下「受託図書館資料」という。）は、広く公衆の閲覧又は視聴に供するものとする。

- 3 受託図書館資料が火災、盗難その他天災により損失を生じたときは、図書館は、その責任を負わない。
- 4 受託図書館資料の寄託をした者は、当該受託図書館資料を他人に譲渡し、又は売却しようとするときは、事前に館長に申し出なければならない。

(駐車場の使用料の免除)

第13条 条例第11条ただし書の委員会が必要と認めたときは、次に掲げるときとする。

- (1) 歩行に際して補装具等を必要とする者が運転し、又は同乗する車両を駐車するとき。
- (2) 介護を必要とする者等が同乗する車両を駐車するとき。
- (3) 図書館の運営に要する車両を駐車するとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が必要と認めるとき。

(事故責任)

第14条 駐車場及び図書館の敷地内で発生した事故等については、図書館は、一切の責任を負わないものとする。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、武蔵野市教育委員会教育長が別に定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この規則は、武蔵野市立武蔵野プレイス条例（平成22年3月武蔵野市条例第10号）の施行の日から施行する。

(武蔵野市立図書館規則の廃止)

- 2 武蔵野市立図書館規則（平成7年3月武蔵野市教育委員会規則第1号）は、廃止する。

(経過措置)

- 3 この規則の施行の日の前日において、前項の規定による廃止前の武蔵野市立図書館規則第8条又は第9条の規定による図書館カードの交付を受けている者は登録者と、当該交付を受けている図書館カードは第4条第1項の規定による交付を受けたものとみなす。

別表（第5条関係）

	図書館資料の種類	数量	期間
個人	図書	10冊以内	貸出しを受けた日から起算して2週間を経過する日まで
	コンパクトディスク及びカセットテープ	2点以内	
	ビデオテープ及びデジタルバーサタイルディスク	2点以内	
団体	図書	300冊以内	貸出しを受けた日から起算して2か月を経過する日まで

武蔵野市立図書館処務規程

昭和32年1月11日教育委員会訓令第2号

第1条 武蔵野市立図書館（武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスを除く。以下「市立図書館」という。）の処務は、この規程の定めるところによる。

第2条 市立図書館を管理するため、図書館を置く。

2 図書館に館長を置く。館長は、上司の命を受け図書館の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

3 図書館に副参事を置くことができる。副参事は、上司の命を受け担任の事務をつかさどる。

第2条の2 図書館に課長補佐を置くことができる。課長補佐は、館長を補佐する。

2 館長に事故がある場合において、館長専決事項中急施を要するものがあるときは、課長補佐が代決することができる。

第3条 図書館に次の係を置く。

管理係

中央図書館

吉祥寺図書館

2 管理係に係長を、中央図書館及び吉祥寺図書館に館長を置く。

3 係長及び前項に規定する館長（以下「係長」という。）は、第2条第2項に規定する館長（以下「館長」という。）の命を受け係の事務を処理する。

4 係に担当係長を置くことができる。担当係長は、館長の命を受け担任の事務をつかさどる。

5 館長に事故がある場合において、館長専決事項中急施を要するものがあるときは、主管する係長及び担当係長が代決することができる。

6 係に主任を置くことができる。主任は、上司の命を受け担任の事務を処理する。

7 前各項に定める職員以外の職員は、上司の命を受け事務に従事する。

第4条 係の事務分掌は、次のとおりとする。

管理係

- (1) 文書の管理に関すること。
- (2) 施設の管理に関すること。
- (3) 関係各機関との連絡に関すること。
- (4) 広報に関すること。
- (5) その他図書館の庶務に関すること。

中央図書館

- (1) 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 図書館資料の館内及び館外利用に関すること。
- (3) 図書館の蔵書構成の調整に関すること。
- (4) 図書館の読書傾向の調査及び研究に関すること。
- (5) 参考事務及び読書相談に関すること。
- (6) 郵送貸出、録音及び対面朗読に関すること。
- (7) 地域図書館活動への協力に関すること。
- (8) 読書指導に関すること。

- (9) 集会、行事等の開催に関すること。
- (10) 市史の編さんに関すること。
- (11) その他図書館奉仕に関すること。

吉祥寺図書館

- (1) 吉祥寺図書館の管理に関すること。
- (2) 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (3) 図書館資料の館内及び館外利用に関すること。
- (4) 参考事務及び読書相談に関すること。
- (5) 集会、行事等の開催に関すること。
- (6) 録音及び対面朗読に関すること。
- (7) その他図書館奉仕に関すること。

第5条 文書の方式及び処理並びに館長その他の職員の服務については、別表に定めるものを除くほか、武蔵野市教育委員会事務局及びその職員の例による。

付 則

この規程は、公布の日から施行する。

(略)

付 則 (平成23年3月31日 (教) 訓令第2号)

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第1条の改正は、武蔵野市立武蔵野プレイス条例 (平成22年3月武蔵野市条例第10号) の施行の日から施行する。

別表 (第5条関係)

勤務時間	午前8時30分から午後5時15分まで		
休憩時間	正午から午後1時まで。ただし、勤務の実情により館長が教育長の許可をうけて上記以外の時間に1時間の休憩時間を定めることができる。		
勤務を要しない日	(1) 金曜日 (2) 2週間につき、館長が指定する一の土曜日及び一の日曜日で、下欄に定める日		
土曜日及び日曜日の勤務	職員を2班編成とし、次表の勤務割に基づいて交替勤務を行う。		
	通常勤務	A型	土曜日の勤務 平常勤務 午前8時30分から 午後5時15分まで
		B型	日曜日の勤務 勤務を要しない日 平常勤務 午前8時30分から 午後5時15分まで
休日が勤務を要しない日に当たる場合	金曜日が祝日の場合		当該休日を土、日曜日以外の日で、館長が職員ごとに指定する日に与える。
	土曜日が祝日の場合		B型については、当該休日を土、日曜日以外の日で、館長が職員ごとに指定する日に与える。
	日曜日が祝日の場合		A型については、当該休日を土、日曜日以外の日で、館長が職員ごとに指定する日に与える。

武蔵野市立図書館資料収集方針

武蔵野市立図書館は図書館法及び武蔵野市立図書館設置条例第 1 条に定められた事業を十分かつ円滑に運営するため資料を収集する。

(目的)

この方針は、資料収集にあたっての基準を定めるものとする。

(基本方針)

- 1 武蔵野市立図書館は、武蔵野市の地域的特性を基盤として、市立の公共図書館としての役割を考慮に入れ、広く市民の教養、調査研究、レクリエーションなどに役立てることを目的とし、図書及びその他の資料を収集・整理し、保存する。
- 2 収集する資料の範囲については、各館の地域性を考慮しながら、市民の要望に十分こたえられるように、各分野にわたり、必要な資料を広範囲に収集する。
また、中央図書館は、地域館として一般書を収集する一方で、地域館の収集範囲を超える専門的な資料及び高価な資料の収集にもつとめる。
- 3 収集する資料の種類については、図書・逐次刊行物など、多様な形態の資料を収集する。
また、将来登場するであろう、新しいメディアについても、積極的にその収集を検討する。
- 4 資料の選択は、担当の図書館員がこれにあたり、決定を下すのは図書館長である。
選択にあたっては、すでに当館で所蔵している資料の内容、市民の要求、資料の著者・発行所・内容・資料的価値・形態などを検討し、決定する。なかでも市民の要求を最重要の要素として考える。ただし、一部の市民の要求だけでなく、広範な市民の要求、潜在している市民の要求も十分に考慮して収集する。
- 5 基本的人権のひとつである「知る自由」を市民に対して保障することが自治体図書館のつとめであることをふまえ、資料選択の上で以下の点に留意する。
 - (1) 多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 - (2) 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
 - (3) 図書館員の個人的な関心や好みによって選択をしない。
 - (4) 個人、組織、団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、糾弾をおそれて自己規制したりはしない。
 - (5) 寄贈資料の受け入れにあたっても同様である。

なお、図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようとも、それを図書館及び図書館員が支持することを意味するものではない。

(平成 4 年 7 月 16 日)

資料別収集方針

1 一般図書

全分野にわたり基礎的、入門的なものから専門的なものまで幅広く収集する。ただし極めて高度な専門書、学術書、学習参考書、各種試験問題集、コミック類は原則として収集しない。

2 参考図書

調査、研究に役立つものとなるよう、全分野にわたり辞典、事典、図鑑、名鑑、年鑑、目録、書誌、地図等を幅広く収集する。

3 郷土・行政資料

- (1) 武蔵野市に関する資料は、図書、新聞、雑誌、パンフレット、写真、地図等可能な限り収集する。特に市の行政資料は網羅的、継続的に収集する。
- (2) 武蔵国、相模国に関する資料のうち武蔵野市に特に関係のある資料を中心に収集する。
- (3) 東京都及び都内、区、市町村に関する資料は基本的資料（歴史、地理、統計書、要覧等）を収集する。

4 官公庁出版物

政府諸機関が発行する資料については、主要なものを幅広く収集する。

5 逐次刊行物

(1) 雑誌

あらゆる分野における基本的な雑誌を中心に幅広く収集する。外国誌も代表的なものを収集する。ただし、高度な学術専門誌、漫画雑誌は原則として収集しない。

(2) 新聞

国内発行の主要全国紙を中心に幅広く収集する。外国語新聞も代表的なものを収集する。

6 視聴覚資料

市民の趣味、教養または文化活動に資するため、CD・ビデオテープなど、それぞれの分野の基本的作品・内外の著名な作者・代表的演者の作品を中心に収集する。

7 点字資料及び録音図書

視覚障害者等の日常・社会生活に必要な点字資料・録音図書・大型活字本・さわる絵本・拡大写本等を積極的に収集する。

8 外国語資料

市内に在住する外国人に必要な情報・資料を提供するため、また国際化時代の市民要望に十分応えるため、英語を中心にアジア地域の言語にも留意し、できるだけ幅広く収集する。（収集方針については、別に定める）

9 寄贈資料

- (1) 寄贈資料については、当館の収集方針に基づいて資料的価値のあるものは蔵書として受入れる。
- (2) 市民が「著」「訳」「編」「監修」等、なんらかの形で著作に関わっている資料は、市民文庫として収集に努める。

10 特殊コレクション

特に必要と認められる個人・団体の文庫等の資料は、特殊コレクションとして収集する。

11 ヤング・アダルト資料

- (1) ヤング・アダルト（児童にも成人にも属さない10代の若者）の知的好奇心を刺激するような資料を収集する。
- (2) ヤング・アダルトに関心の高い時代に即した分野（AV資料・雑誌を含む）を考慮して幅広く収集する。

12 児童図書

児童図書については別に定める。

〈廃棄について〉

常に質の高い新鮮な蔵書構成を維持するため、必要に応じて資料的価値を失った資料などを廃棄し、蔵書の更新を行う。

廃棄については、別に図書館資料除籍基準に定める。

（平成4年7月16日）

児童図書資料収集方針

(目的)

武蔵野市立図書館の児童図書資料の収集にあたっての基準を定めるものとする。

(基本方針)

武蔵野市立図書館の児童図書資料として以下のものを収集する。

- 1 読書を通じて子どもの豊かな感性・想像力を養い、子どもに読書の楽しさを伝えられる資料。具体的には以下の点に留意する。
 - (1) 絵がすぐれているかどうか(絵を主な表現手段としているものについて)
 - (2) 作者の訴えたいものが伝わるかどうか
 - (3) 話がおもしろく、また読みたいと思うかどうか
- 2 学習・教養・レクリエーションなどに役立つ資料(ただし、学習参考書・受験参考書などは原則として収集しない。)
- 3 障害のある子どもが利用できる資料。
- 4 高い評価を得ている外国語で書かれた図書。
- 5 その他
 - (1) ダイジェスト本を入れる場合は、できるだけ原作の意をそこなわずに書かれたものを収集する。
 - (2) マンガについても、原則として他の資料と同様に検討の対象とする。

(ジャンル別収集方針)

各々のジャンルについては、以下の方針に基づいて収集すること。

- 1 絵本
 - (1) 子どもにとっての最初の読書の体験を与えるものとして、創造性・想像性の豊かなもの
 - (2) 絵がすぐれているもの
 - (3) 子どもが理解でき、美しい言葉で書かれているもの
 - (4) 子どもの発達段階に応じた書き方のされているもの
 - (5) 子どもが扱いやすく、こわれにくいもの
- 2 よみもの
 - (1) それぞれの年齢にあった書き方がされているもの
 - (2) 登場人物が生き生きと描かれていて、子どもが共感できるもの
 - (3) 明解・簡潔で美しい言葉で書かれているもの
 - (4) さし絵が内容にふさわしいもの
- 3 知識の本
 - (1) 正確な知識に基づき、最新の情報がもりこまれているもの
 - (2) 子どもにとって興味深く、わかりやすく書かれているもの
- 4 実用書(芸術・スポーツ・趣味・娯楽)
 - (1) 子どもの興味あるもので、わかりやすく、楽しめるもの
 - (2) 子どもの生活に役立ち、自分で工夫をこらすことのできるもの

5 郷土資料

- (1) 武蔵野市の地域学習に役立つ資料
- (2) 子どもに、武蔵野市の歴史や市の様子について、興味をもたせるもの
- (3) それらのことがらが、わかりやすくかかされているもの

6 参考図書

- (1) 内容が正確で新しく、わかりやすくかかされているもの
- (2) 子どもが自分で調べたり、学習したりするときに使いやすいもの

7 紙芝居

- (1) 子どもが楽しめるもの
- (2) 文にリズムがあり、演じやすいもの
- (3) 紙芝居で表現することが、ふさわしいもの
- (4) 大勢の子どもたちに演ずることができるもの

8 児童図書選定のための資料

- (1) 小さな子どもをもつ親や、子どもの本に関心をもつ人などが、子どもの本を選んだり、与えたりする際の参考となるもの（ブックリストなど）

(平成4年7月16日)

武蔵野市立図書館除籍基準

(目的)

この基準は、武蔵野市立図書館の所蔵資料の現状を明確にし、常に有効な利用状態に置くため、資料を除籍するときの基準について定める。

(基本方針)

図書館資料の除籍にあたっては、中央館、地域館とも、次のことに留意し、相互に連絡調整する。

- 1 中央館は、地域館の所蔵変更を容易にするため、総合的な保存体制を確立するようにする。
- 2 地域館は、自館の所蔵能力に基づいて計画的な所蔵更新をはかるようにする。

(範囲)

- 1 不用
 - (1) 情報が古くなり利用価値を失ったもの
 - (2) 利用が少なくなり複本を所蔵するもの（地域館については他館に所蔵のあるもの）
 - (3) 改版が入手されたもの
 - (4) 著しい破損、汚損のため修理が不可能なもの
 - (5) 雑誌、新聞については、保存年限を経過したもの
- 2 亡失および不明
 - (1) 利用者が紛失または破損、汚損した資料で、弁償が完了したもの
 - (2) 天災その他やむを得ない事由により失ったもの
 - (3) 未返納資料のうち、督促不能の状態となったもの
 - (4) 未返納資料のうち、一定期間を経過したもの
 - (5) 図書特別整理期間に行う蔵書点検で引き続き2回にわたり所在不明のもの
- 3 保管替
他の図書館へ所属替えするもの
- 4 合冊・分冊
合冊又は分冊により、冊数を変更したもの
- 5 その他、館長が認めたもの

(除籍の調整)

この基準に定めるもののほか、図書館資料除籍について必要な事項は館長が決定する。

(基準の改定)

必要と認めるときは、これを改訂する。

(平成14年8月6日)

武蔵野市立図書館読書の動機づけ指導実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、武蔵野市立の各小学校（以下「各市立小学校」という。）の第3学年の児童（以下単に「児童」という。）に読書の楽しみを伝えることを通じて、読書への意欲を高め、及び読書の習慣を身につけさせ、豊かな心を育てることを目指す読書の動機づけ指導（以下「読書指導」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(対象)

第2条 読書指導は、児童を対象として実施するものとする。

(実施場所及び実施時期)

第3条 読書指導の実施場所は、各市立小学校とする。

2 読書指導は、各市立小学校と調整のうえ、夏季休業期間の開始の日の3週間前までに実施するものとする。

(実施手順)

第4条 指導時間は1クラス90分とし、午前中に実施する。この場合において、60分を児童への指導に充て、30分を次条の講師、参観した保護者及び見学者との懇談に充てるものとする。

2 読書指導の終了後、使用した図書教材を各クラスに配布する。

3 読書指導終了後も各市立小学校においては、児童の読書意欲を高めるため、継続して指導を行うよう努めるものとする。

(講師)

第5条 読書指導の講師（以下「講師」という。）は、次の各号のいずれかに該当する者から、次条第1項の委員会が選出するものとする。

(1) 小学校教諭として読書指導の実績を持つ者

(2) 図書館勤務において児童奉仕サービスの実績を持つ者

(3) 子どもの本の研究に携わっている団体に所属し、その活動に実績を持つ者

(4) 前3号に掲げるもののほか次条第1項の委員会が認める者

2 講師は、児童に対し読書指導を行う。

3 講師は、前条第1項に規定する懇談会で、児童の読書についての質問及び相談に答えるものとする。

4 講師は、3年以上連続して同一の小学校を指導することができない。

(委員会等の設置)

第6条 読書指導の実施計画等を策定するため、武蔵野市立図書館読書の動機づけ指導運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、次に掲げる委員で組織し、武蔵野市教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(1) 各市立小学校の校長を代表する者 1人

(2) 各市立小学校の副校長を代表する者 1人

(3) 教育部指導主事 1人

(4) 講師 6人

(5) 武蔵野市立小中学校教育研究会小学校図書部会を代表する者 2人

(6) 各市立小学校を代表する教諭 各校1人

(7) 教育部図書館長

第7条 指導用図書教材を選定するため、委員会に図書選定部会（以下「部会」という。）を設置する。

2 部会は、次に掲げる部会員で組織する。

- (1) 前条第2項第1号から第5号までに掲げる者及び人数
- (2) 前条第2項第6号に掲げる者のうちから選出する者 2人
- (3) 前条第2項第7号に掲げる者
- (4) 教育部図書館の職員であって読書指導を担当する者 若干人

3 部会は、武蔵野市児童図書資料収集方針（平成4年7月16日制定）及び次に掲げる選定基準に基づき、指導用図書教材を選定するものとする。

- (1) 児童の読書能力を考慮すること。
- (2) 図書の構成は、新刊書に重点を置くこと。
- (3) 図書の種類は、絵本、物語、ノンフィクション、科学読み物等とすること。
- (4) 第3号の絵本、物語の中でも、ファンタジー作品については、児童のイメージが膨らみ、空想の世界に導く作品であること。
- (5) 生活体験に具体性を持つ作品については、日常生活を豊かにする作品であること。
- (6) 第3号の科学読み物については、単に知識を与えるものだけでなく、科学的な考えを踏まえた物語性のある作品であること。

（委員長及び副委員長）

第8条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長は第6条第2項第1号に掲げる者を、副委員長は同項第2号に掲げる者をもって充てる。

3 委員長は、委員を代表し、会務を総括する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

5 委員会の委員長及び副委員長は、部会の部会長及び副部会長を兼ねるものとする。

（任期）

第9条 委員会の委員及び部会の部会員の任期は、1年間とする。ただし、補欠の委員及び部会員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員及び部会員は、再任されることができる。

（事務局）

第10条 委員会及び部会の庶務は、教育部図書館が行う。

（経費）

第11条 読書指導に要する経費は、教育部図書館が負担する。

（その他）

第12条 この要綱に定めるもののほか、読書指導について必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成17年9月29日から施行する。

付 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

武蔵野市子ども文芸賞実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、小学生及び中学生の文芸活動を奨励し、優れた文芸作品を顕彰する武蔵野市子ども文芸賞（以下「文芸賞」という。）を実施することにより、ことばの豊かな子どもの育成及び地域文化の向上に資することを目的とする。

(応募資格)

第2条 文芸賞に応募することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 武蔵野市内に在住する小学生又は中学生
- (2) 武蔵野市外に在住し、かつ、武蔵野市内にある学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校又は中学校に在籍する児童又は生徒

(募集作品)

第3条 文芸賞の募集の対象とする作品は、次に掲げる作品であって、日本語で表現されたものとする。

- (1) 小説、童話又は随筆。ただし、小学生は20,000字以内、中学生は40,000字以内のものに限る。
- (2) 詩
- (3) 俳句又は短歌
- (4) 読書感想作品（図書（漫画を除く。）を読んで感じたことを、感想文、作者又は登場人物への手紙、当該図書の紹介文等の形態により表現したものをいう。）。ただし、小学生は1,200字以内、中学生は1,600字以内のものに限る。

(応募の制限)

第4条 文芸賞に応募することができる作品の数は、1人につき、前条第1号、第2号及び第4号に掲げる作品についてはそれぞれ1点以内、同条第3号に掲げる作品については2点以内とする。

(優秀作品の選考)

第5条 文芸賞に大賞、最優秀賞、優秀賞及び佳作を設け、審査により選考するものとする。

(審査員)

第6条 前条の審査を行うため、武蔵野市子ども文芸賞審査員（以下「審査員」という。）を置く。

- 2 審査員は、教育長、教育部長、教育部指導課長及び教育部図書館長の職にある者その他教育長が別に指定する者をもって充てる。

(審査の区分)

第7条 第5条に規定する優秀作品の選考は、第3条各号に掲げる作品ごとの部門に、それぞれ3年生以下の小学生、4年生以上の小学生及び中学生の小部門を設けて行うものとする。

(優秀作品の数)

第8条 大賞は、文芸賞に応募があったすべての作品のうちから、1点以内を選考するものとする。

- 2 最優秀賞は、部門ごとに1点以内を選考するものとする。
- 3 優秀賞は、小部門ごとに2点以内を選考するものとする。
- 4 佳作は、小部門ごとに必要と認める数を選考するものとする。

(庶務)

第9条 文芸賞に関する庶務は、教育部指導課及び教育部図書館において行う。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、文芸賞の実施について必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成19年9月6日から施行する。

付 則

この要綱は、平成23年7月1日から施行する。

武蔵野市立図書館身体障害者サービス実施要領

平成 13 年 4 月 1 日要綱第 14 号

武蔵野市立図書館「身体障害者サービス」実施要領（昭和 63 年 10 月 1 日施行）の全部を改正する。

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 この要領は、武蔵野市立図書館身体障害者サービス（以下「身体障害者サービス」という。）を実施するために必要な事項を定め、円滑な運用を図ることを目的とする。

（事業）

第 2 条 身体障害者サービスは、次に掲げる事業を行うものとする。

（1）録音図書の貸出し

（2）対面朗読

第 2 章 録音図書の貸出し

（対象）

第 3 条 録音図書の貸出しの対象は、市内に居住する視覚障害者、ねたきり老人、重度の肢体不自由者及びその他館長が適当と認めた者で、身体障害者サービスを受ける者として登録されたものとする。

（貸出方法）

第 4 条 録音図書の貸出方法は、窓口渡し又は郵送とする。

（貸出数）

第 5 条 録音図書は、1 人 5 タイトルまで貸し出すことができる。ただし、館長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

（貸出期間）

第 6 条 録音図書の貸出期間は、3 週間以内とする。この場合において、郵送により貸し出したときは、郵送した日から起算するものとする。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りでない。

（損害の弁償）

第 7 条 録音図書の貸出しを受けた者が、録音図書を破損し、又は紛失したときは、現品又は相当の代価をもって弁償しなければならない。

第 3 章 対面朗読

（対象）

第 8 条 対面朗読の対象は、市内に居住する視覚障害者その他館長が認めた身体障害者で、身体障害者サービスを受ける者として登録されたものとする。

（手続）

第 9 条 対面朗読を希望する場合は、事前に申し込むものとする。

（実施場所）

第 10 条 対面朗読は、武蔵野市立図書館対面朗読室で実施する。

(実施時間)

第11条 実施時間は、図書館の開館時間内とし、1人1日につき、2時間以内とする。

付 則

この要領は、平成13年4月1日から施行する。

武蔵野市立図書館身体障害者書籍郵送サービスの実施要領

昭和 58 年 9 月 1 日要綱第 7 号

この要領は、身体障害者への図書の郵送について必要な事項を定め、円滑に運用されることを目的とする。

1 対 象

市内に居住する重度と肢体不自由者、及びその他館長が適当と認めた者に貸し出しすることができる。

2 貸出方法

図書の貸出は、本人の登録にもとづき郵送する。

3 貸出数

図書は、1人2冊まで貸し出しすることができる。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りでない。

4 貸出期間

図書の貸出期間は、郵送に要する期間を含め、3週間（21日）以内とする。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りでない。

5 損害の弁償

図書の貸出を受けた者が、図書をはなはだしく破損し、もしくは紛失したときは、現品または相当の代価をもつて弁償しなければならない。

6 郵送できない図書

- (1) 貴重な図書
- (2) 辞書及び参考書
- (3) 館長が指定した文書
- (4) 郵便規則第39条により 3 kgをこえる図書

付 則

この要領は、昭和58年9月1日から実施する。

付 則（昭和63年10月1日）

この要領は、昭和63年10月1日から実施する。

武蔵野市立図書館デジタル録音図書再生機器貸出サービス実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、視覚障害者等へデジタル録音図書再生機器（以下「デイジー再生機」という。）の貸出しを行うことにより、視覚障害者等への図書館の利用を促進し、もってその福祉の増進を図ることを目的とする。

(対象者)

第2条 デイジー再生機の貸出し（以下「貸出し」という。）の対象となる者（次条及び第4条において「対象者」という。）は、武蔵野市立図書館身体障害者サービス実施要領（平成13年4月1日施行）第3条に規定する対象者のうち、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 活字資料を読むことが困難な者
- (2) 前号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

(貸出方法)

第3条 貸出しは、対象者又は対象者の家族その他対象者の介護を行う者からの申込みに基づき、武蔵野市立中央図書館において直接手渡しで行うものとし、原則として郵送等による貸出しは行わないものとする。

(貸出数)

第4条 貸出しは、対象者1人につき1回1台とする。

(貸出期間)

第5条 貸出期間は、原則として1か月以内とする。ただし、館長が特別な事情があると認める場合は、この限りでない。

(損害の弁償)

第6条 貸出しを受けた者が、当該機器を著しく破損し、又は紛失したときは、現品又は相当の代価をもって弁償しなければならない。

付 則

この要綱は、平成22年11月1日から施行する。

武蔵野市図書館運営委員会設置要綱

(設置)

第1条 武蔵野市立図書館の運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市らしい特色ある図書館づくりを行うため、武蔵野市図書館運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所管事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 図書館サービスに関すること。
- (2) 図書館主催事業に関すること。
- (3) 施設、閲覧環境等に関すること。
- (4) その他図書館の充実に関すること。

2 委員会に選書部会を設置し、所管事項について協議する。

3 選書部会の設置については、別に教育長が定める。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織し、教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 7人以内
- (2) 公募による市民 3人以内

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は会務を総括し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会が必要と認めたときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の庶務は、教育部図書館が行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会について必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

武蔵野市図書館運営委員会傍聴基準

(趣旨)

第1条 この基準は、武蔵野市図書館運営委員会（以下「委員会」という。）の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴人の定員)

第2条 傍聴人の定員は、当日会場における先着順により、20人とする。ただし委員会の委員長（以下「委員長」という。）が特に認めたときは、定員を超えて傍聴をさせることができる。

(傍聴の手続)

第3条 委員会を傍聴しようとする者は、受付において傍聴申込書に、住所及び氏名を記入し、傍聴券の交付を受けて傍聴しなければならない。

2 傍聴券は、委員会当日受付で交付する。

(傍聴席以外の入場禁止)

第4条 傍聴人は、傍聴席以外入ることができない。

(傍聴席に入ることができない者)

第5条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器、火薬その他危険物を持っている者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 鉢巻、ゼッケン、たすき、腕章その他これらに類する物を着用している者
- (4) ラジオ、拡声器、マイク、旗、プラカードその他の会議を妨害し、又は他人に迷惑を及ぼすと認められるものを持っている者
- (5) 前4号に掲げるものの他、委員長が会議の運営上支障があると認める者

(傍聴人の守るべき事項)

第6条 傍聴人は次の事項を守らなければならない。

- (1) 静粛を旨とし、騒ぎ立てるなど議事の妨害となるような行為をしないこと
- (2) 会議における発言に対して拍手その他の方法により、公然と可否を表明しないこと
- (3) 会場内では飲食又は喫煙をしないこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、委員会の妨害となるような行為をしないこと

(写真等の撮影及び録音等の禁止)

第7条 傍聴人は、傍聴席においてカメラ、ビデオカメラ等により撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に委員長に許可を得た者は、この限りでない。

(係員の指示)

第8条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第9条 傍聴人がこの基準に違反したときは、委員長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

付 則

この基準は、平成18年10月30日から適用する。

付 則

この基準は、平成19年4月1日から施行する。

武蔵野市立武蔵野プレイス条例

（平成22年3月18日）
条例第10号

（設置）

第1条 市民の多様な活動及び学習の場を創出することにより、市民文化の振興を図ることを目的として、武蔵野市立武蔵野プレイス（以下「プレイス」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 プレイスの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイス	武蔵野市境南町2丁目3番18号

（管理）

第3条 プレイスは、武蔵野市教育委員会（以下「委員会」という。）が管理する。

2 前項の規定による管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

3 指定管理者は、武蔵野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例（平成16年6月武蔵野市条例第13号）第4条各号のいずれにも該当し、かつ、第1条に規定する目的を達成するために必要な能力及び実績を有する者とする。

（指定管理者が行う業務）

第4条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) プレイスの使用の承認に関する業務
- (2) プレイスの使用料の免除に関する業務
- (3) プレイスの施設及び設備の維持管理に関する業務
- (4) 第1条に規定する目的を達成するために必要な事業に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、プレイスの管理及び運営に関する業務のうち、市長又は委員会のみの権限に属する事務を除く業務

（休館日）

第5条 プレイスの休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、委員会の承認を得て、プレイスの全部又は一部を臨時に開館し、又は休館することができる。

(1) 水曜日（毎月第3水曜日及び1月の第1水曜日を除く。）及び毎月第3金曜日。ただし、当該水曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、指定管理者があらかじめ委員会の承認を得て、指定する日とする。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで

(3) 年10日以内で指定管理者が指定する図書特別整理日

（開館時間）

第6条 プレイスの開館時間は、午前9時30分から午後10時までとする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(使用の承認)

第7条 プレイスの施設を使用しようとする者は、指定管理者に申請し、その承認を受けなければならない。承認を受けた事項を変更し、又は取り消そうとするときも同様とする。

2 指定管理者は、前項の承認をするときは、管理上必要な条件を付することができる。

3 指定管理者は、市、委員会又は指定管理者が事業で使用する場合は、優先的に使用を承認することができる。

(使用の不承認)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、プレイスの施設の使用を承認しないことができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。

(2) プレイスの施設又は当該施設に附帯する設備及び器具（以下「附属設備」という。）を損傷するおそれがあるとき。

(3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号の暴力団の利益になるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、プレイスの管理上支障があるとき。

(使用期間の制限)

第9条 プレイスの施設の使用期間は、同一の利用者が使用する場又は同一の利用目的で使用する場合は、引き続き6日を超えることはできない。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用料)

第10条 プレイスの施設の使用料は、別表のとおりとする。

2 附属設備の使用料は、1設備1回の使用につき10,000円（規則に定めるワーキングデスクの年間使用料については、24,000円）を限度として規則で定める。

3 前2項に規定する使用料は、使用の承認の際納入しなければならない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の免除)

第11条 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、使用料を免除することができる。

(使用料の返還)

第12条 納入済の使用料は、返還しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第13条 第7条第1項の規定により使用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用の承認の取消し等)

第14条 次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、承認した事項を変更し、又は使用の承認を取り消し、若しくは使用の中止を命ずることができる。

(1) 第8条各号のいずれかに該当することとなったとき。

(2) この条例、この条例に基づく規則その他の規程に違反したとき。

(3) 使用の目的又は条件に違反したとき。

(4) 係員の指示に従わないとき。

(5) 不正又は偽りの行為により、使用の承認を受けたとき。

(6) 災害、工事その他プレイスの管理上支障があると指定管理者が認める事由によりプレイスを使用することができなくなったとき。

2 前項の規定により承認した事項を変更し、又は使用の承認を取り消し、若しくは使用の中止を命じた場合（同項第6号に該当するときを除く。）において使用者に損害が生じても、指定管理者は、その賠償の責めを負わないものとする。

（原状回復義務）

第15条 使用者は、その使用が終了したとき又は前条第1項の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用の中止を命ぜられたときは、その使用した施設又は附属設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、指定管理者の承認を得たときは、この限りでない。

2 使用者が前項に規定する義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、その費用を使用者から徴収することができる。

（損害賠償義務）

第16条 使用者は、故意又は過失によりプレイスの施設又は附属設備を損壊し、又は滅失したときは、その損害を市に賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

2 前条第2項の規定は、使用者が前項に規定する義務を履行しない場合に準用するものとする。

（委任）

第17条 この条例の施行について必要な事項は、委員会が規則で定める。

付 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から起算して1年6月を超えない範囲内において規則で定める日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。（平成23年5月（教）規則第5号で、同年7月9日から施行）

（準備行為）

2 次に掲げる準備行為は、施行日前においても行うことができる。

(1) 第3条第2項の規定による指定

(2) 第7条第1項の規定による申請、承認その他この条例を施行するために必要な準備行為

別表（第10条関係）

1 会議室使用料

（単位 円）

施設名称	区分		午前9時30分から午後0時30分まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時30分から午後10時まで
	フォーラム	区分 使用	A	3,900	5,700	6,200
B			2,500	3,700	4,000	9,300
全部使用		6,400	9,400	10,200	23,800	
スペースA	全部使用		800	1,100	1,200	2,800
スペースB	全部使用		800	1,100	1,200	2,800
スペースC	全部使用		2,400	3,500	3,900	9,000
スペースD	全部使用		1,200	1,800	2,000	4,500
スペースE	全部使用		1,200	1,800	2,000	4,500

2 スタジオ使用料

（単位 円）

区分	午前9時30分から正午まで	正午から午後2時30分まで	午後2時30分から午後5時まで	午後5時から午後7時30分まで	午後7時30分から午後10時まで
サウンドスタジオA	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
サウンドスタジオB	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
パフォーマンススタジオ	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
クラフトスタジオ	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

3 ギャラリー使用料

（単位 円）

区分	午前9時30分から午後0時30分まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時30分から午後10時まで
ギャラリー	1,700	2,500	2,700	6,300

備考

- 武蔵野市内に住所を有する者、武蔵野市内の事業所に勤務する者若しくは武蔵野市内の学校に在学する者（以下「市民」という。）以外のもの又は市民を含む団体以外のものが使用する場合は、この表に規定する額（以下「規定使用料」という。）に当該規定使用料の2割に相当する額を加算した額とする。

- 2 規則で定める年齢の市民（以下「青少年市民」という。）又は規則で定める年齢の者（以下「青少年」という。）のみで構成し、かつ、青少年市民を含む団体が使用する場合は、規定使用料の1割に相当する額とする。
- 3 市民以外の青少年又は市民以外の青少年のみで構成する団体が使用する場合は、規定使用料の2割に相当する額とする。

武蔵野市立武蔵野プレイス条例施行規則

（平成23年4月28日）
教育委員会規則第4号

（趣旨）

第1条 この規則は、武蔵野市立武蔵野プレイス条例（平成22年3月武蔵野市条例第10号。以下「条例」という。）の施行について、必要な事項を定めるものとする。

（用語の定義）

第2条 この規則における用語の意義は、条例の例による。

（使用の申請）

第3条 条例第7条第1項の規定によりプレイスの施設を使用しようとする者及び別表第2に定める附属設備（ワーキングデスク及びロッカーに限る。次条において同じ。）を使用しようとする者は、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用申請書（以下「施設使用申請書」という。）を指定管理者に提出しなければならない。

2 前項の規定による使用の申請は、別表第1左欄に掲げる施設又は附属設備ごとに同表中欄に掲げる使用者が行うことができるものとし、その受付期間は同表右欄に掲げるとおりとする。

3 指定管理者は、公益上必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、別表中欄に掲げる使用者以外の者からの第1項に規定する使用の申請を受け付けることができる。

（使用の承認等）

第4条 条例第7条第1項の規定によるプレイスの施設の使用の承認及び附属設備の使用の承認（以下「使用の承認」という。）は、申請の順序による。ただし、申請が同時のときは、抽選により決定する。

2 指定管理者は、使用の承認をするときは、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用承認書兼領収書（以下「施設使用承認書兼領収書」という。）を交付する。

3 指定管理者は、使用の承認をしないときは、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用不承認書を交付する。

（使用の変更）

第5条 使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）が使用の承認を受けた事項を変更しようとするときは、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用変更・取消申請書（以下「施設使用変更・取消申請書」という。）に、施設使用承認書兼領収書を添えて指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

2 前項の規定による申請は、次の各号に掲げる施設につき、それぞれ施設を使用しようとする日（以下「使用日」という。）の当該各号に定める日前までに、1回に限り行うことができる。

(1) フォーラム 60日

(2) ギャラリー 30日

(3) スペース、サウンドスタジオ、パフォーマンススタジオ及びクラフトスタジオ 3日

3 指定管理者は、第1項に規定する承認（以下「使用変更の承認」という。）をしたときは、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用（変更・取消）承認書（兼領収書）（以下「施設使用（変更・取消）承認書」という。）を使用者に交付する。

4 使用変更の承認により、変更後の使用料と納入済みの使用料との間に過不足額が生じた場合の使用料の精算は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 不足額については、使用料の納入に準じて納入しなければならない。
- (2) 超過額については、使用料の返還に準じて返還するものとする。

(使用の承認の取消し等)

第6条 使用者が、使用の承認を受けた事項を取り消そうとするときは、施設使用（変更・取消）申請書に施設使用承認書兼領収書又は施設使用（変更・取消）承認書を添えて指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

- 2 指定管理者は、前項に規定する承認（以下「使用取消しの承認」という。）をするときは、使用者に施設使用（変更・取消）承認書を交付する。
- 3 指定管理者は、条例第14条に規定する使用の承認の取消し等をするときは、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用取消等通知書を使用者に交付する。

(附属設備の使用料)

第7条 条例第10条第2項に規定する附属設備の使用料（以下「設備使用料」という。）は、別表第2のとおりとする。

(ワーキングデスク)

第8条 条例第10条第2項に規定するワーキングデスク（以下「ワーキングデスク」という。）は、次の各号に定めるいずれかの方法により使用することができる机及び椅子のことをいう。

- (1) 通常使用 別表第2備考2に定める時間帯区分を単位として使用する方法
- (2) 年間使用 4月1日から翌年の3月31日まで（年度の途中で使用の承認を受ける場合は、承認を受けた日から同日の属する年度の末日まで）の期間、指定管理者が別に定める回数を上限として複数回使用する方法
- 2 ワーキングデスクの年間使用ができる者は、武蔵野市立図書館条例施行規則（平成22年12月武蔵野市教育委員会規則第2号）第2条に定める貸出登録の要件を満たす者であって、ワーキングデスクの年間使用の承認を受けたもの（以下「ワーキングデスク登録会員」という。）とする。
- 3 ワーキングデスクの年間使用の承認をする人数は、指定管理者が別に定める。

(使用料の免除)

第9条 条例第11条の規定による使用料を免除することができる場合は、次の各号のいずれかに該当するときとする。

- (1) 市、委員会又は指定管理者が主催し、又は共催する行事に使用するとき。
- (2) 武蔵野市立の小学校及び中学校が教育活動として使用するとき。
- (3) 官公署が公益のために使用するとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要と認めるとき。
- 2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する車両に係る駐車場の使用料は、免除することができる。
- (1) 歩行に際して補装具等を必要とする者等が運転し、又は同乗する車両
- (2) 介護を必要とする者等が同乗する車両
- (3) プレイスの運営に要する車両
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要と認める車両
- 3 第1項の規定による使用料の免除を受けようとする者は、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用料免除申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。
- 4 指定管理者は、前項の規定による使用料の免除の申請を承認したときは、別に定める武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用料免除承認書を交付する。

(使用料の返還)

第10条 条例第12条ただし書の規定による使用料の返還をすることができる場合は次の各号のいずれかに該当するときとし、返還する額はそれぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項第6号に掲げる事由により指定管理者が使用の承認を取り消したとき。
全額
 - (2) 第6条第1項の規定により使用者が次のアからウまでに掲げる施設につき、それぞれ使用日の当該アからウまでに定める日前までに使用の取消しを申請し、指定管理者がこれを承認したとき。使用料の額の100分の50に相当する額
- ア フォーラム 60日
イ ギャラリー 30日
ウ スペース、サウンドスタジオ、パフォーマンススタジオ及びクラフトスタジオ 3日
- 2 使用変更の承認を受けた場合で、納入済の使用料が変更後の使用料を超過することとなったときは、その超過する金額の100分の50に相当する額を返還する。
 - 3 第1項各号に該当するとき又は前項に該当するときの設備使用料は、全額を返還する。
 - 4 前項の規定にかかわらず、指定管理者が、ロッカーの使用又はワーキングデスクの年間使用について、使用取消しの承認をしたときは、それぞれ別表第2に定める使用料を12で除して得た金額に、当該使用取消しの承認をした日の属する月の翌月から同日の属する年度の末月までの月数を乗じて得た金額を返還する。
 - 5 前各項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、武蔵野市立武蔵野プレイス施設使用料返還請求書に施設使用承認書兼領収書又は施設使用(変更・取消)承認書を添えて、委員会に請求しなければならない。

(年齢)

第11条 条例別表備考2に規定する規則に定める年齢は、満19歳以下とする。ただし、満20歳に達する日の属する年度の末日までは、満19歳とみなす。

(ロッカー、メールボックス等)

第12条 ロッカー、メールボックス、複写機、印刷機及び高速インクジェットプリンターを使用することができるものは、武蔵野プレイス登録市民活動団体(別に定める手続により、登録の承認を受けたものをいう。以下同じ。)とする。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、この限りでない。

- 2 ロッカー及びメールボックスの使用期間は、4月1日から翌年の3月31日まで(年度の途中で使用の承認を受ける場合は、承認を受けた日から、同日の属する年度の末日まで)とする。

(入館の制限)

第13条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 火薬類その他危険物を所持する者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は及ぼすおそれのある者
- (3) プレイス内において許可なく物品の販売その他営業行為をする者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、プレイスの管理上支障があると認められる者

(使用者の義務)

第14条 使用者は、その使用について条例及びこの規則に定めるもののほか係員の指示に従わなければならない。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、プレイスの管理及び運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この規則は、平成23年6月1日から施行する。

(受付期間の特例)

2 第3条第2項及び別表第1の規定にかかわらず、施設の使用申請の受付を開始する日は、平成23年6月14日以降の日とし、指定管理者と協議のうえ別に定めるものとする。

別表第1（第3条関係）

施設又は附属設備		使用者	受付期間
フォーラム ギャラリー		市民又は市民を含む 団体	使用日の属する月の6か月前の月の 14日から使用日の3日前まで
		市民以外の者又は市 民を含む団体以外 の者	使用日の属する月の6か月前の月の 21日から使用日の3日前まで
スペースA スペースB スペースC スペースD スペースE		市民又は市民を含む 団体	使用日の属する月の2か月前の月の 14日から使用日まで
		市民以外の者又は市 民を含む団体以外 の者	使用日の属する月の2か月前の月の 21日から使用日まで
		青少年市民又は青少 年のみで構成し、か つ、青少年市民を含 む団体	使用日の属する月の2か月前の月の 14日から使用日まで
		市民以外の青少年又 は市民以外の青少 年のみで構成する団体	使用日の属する月の2か月前の月の 21日から使用日まで
		市民又は市民を含む 団体	
サウンドスタジオA サウンドスタジオB パフォーマンススタジオ クラフトスタジオ		市民又は市民を含む 団体	
		市民以外の者又は市 民を含む団体以外 の者	
		市民又は市民を含む 団体	
		市民以外の者又は市 民を含む団体以外 の者	
ワーキング デスク	通常使用	市民又は市民以外 の者	使用しようとする別表第2備考2に 定める時間帯区分のそれぞれ15分 前から（9時40分からの当該時間 帯区分については10分前から）当 該時間帯区分の終了時間の30分 前まで
	年間使用	ワーキングデスク登 録会員	使用しようとする年度の前年度の2 月15日から同月末日まで。ただし、 年度の途中で使用の承認を受ける 場合については、教育長が別に定め る。
ロッカー		武蔵野プレイス登録 市民活動団体	使用しようとする年度の前年度の3 月1日から同月15日まで。ただし、 年度の途中で使用の承認を受ける 場合については、教育長が別に定め る。

備考

受付期間に定める日が武蔵野プレイスの休館日にあたる場合は、その翌日とする。

別表第2（第7条、第8条、第10条関係）

分類	附属設備	単位	使用料 (単位 円)	摘要	
会議等設備	拡声装置	1式	1,000	ワイヤレスマイク4本（ハンドマイク2本及びピンマイク2本）、ダイナミックマイク1本、マイクスタンド（床上型）、マイクスタンド（卓上型）を含む。	
	ポータブル拡声装置	1台	500	マイクを含む。	
	天井吊下型プロジェクター	1式	2,000	電動昇降式スクリーンを含む。	
	プロジェクター	1台	500	スクリーンを含む。	
	オーバーヘッドカメラ	1台	1,500		
	デジタルバーサタイルディスクデッキ	1台	1,500		
	ビデオデッキ	1台	1,500		
	コンパクトディスクデッキ	1台	1,500		
	カセットデッキ	1台	1,500		
花台	1台	200			
展示設備	展示用スポットライト	1式	300		
印刷設備	複写機	白黒1枚	10		
		カラー1枚	50		
	印刷機	製版1枚	100		
		印刷10枚	10		
高速インクジェットプリンター	1枚	10			
その他	ワーキングデスク	通常使用	1席	400	1時間帯区分につき
		年間使用	1件	24,000	1年につき
	ロッカー	1個	2,400	1年につき	
	駐車場	1台	200	30分間につき	

備考

- 1 会議等設備及び展示設備の使用料は、午前9時30分から午後0時30分まで、午後1時から午後5時まで及び午後6時から午後10時までのそれぞれの1区分当たりの金額とする。
- 2 ワーキングデスクの通常使用の時間帯区分は、午前9時40分から午後1時40分まで、午後1時50分から午後5時50分まで及び午後6時から午後10時までとする。
- 3 ワーキングデスクの年間使用について、年度の途中で使用の承認を受けた場合は、この表に規定する使用料を12で除した金額に、承認を受けた日の属する月から同日の属する年度の末日までの月数を乗じて得た金額を使用料とする。
- 4 ロッカーについて、年度の途中で使用の承認を受けた場合は、この表に規定する使用料を12で除した金額に、承認を受けた日の属する月から同日の属する年度の末日までの月数を乗じて得た金額を使用料とする。

武蔵野市図書交流センター運営基準

(平成 15 年 6 月 25 日制定)

(平成 23 年 5 月 19 日改正)

(平成 25 年 4 月 9 日改正)

(目的)

第 1 条 この基準は、市民の蔵書コレクション（以下「蔵書コレクション」という。）の廃棄及び散逸を防ぎ、蔵書コレクションが貴重な資料として活用されることを目的として事業を実施する武蔵野市図書交流センター（以下「図書交流センター」という。）の運営の基準を定めるものとする。

(組織)

第 2 条 図書交流センターは教育委員会に設置し、管理運営に関する事務は、教育部図書館が所轄する。

(事業)

第 3 条 図書交流センターは、次に掲げる事業を実施する。

- (1) 武蔵野市民からの蔵書等の寄贈に関すること。
- (2) 武蔵野市民から寄贈された蔵書等の保存及び活用に関すること。
- (3) 武蔵野市民から寄贈された蔵書等の活用に関する情報の収集及び友好都市との図書の交流に関すること。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める事業

(受贈対象)

第 4 条 図書交流センターが寄贈を受ける蔵書等は、次のとおりとする。

- (1) 武蔵野市に在住し、及び特定分野の蔵書コレクションを持つ市民から寄贈される蔵書等
- (2) 武蔵野市に在住し、及び特定分野の蔵書コレクションを持つ市民の遺族から寄贈される蔵書等
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育長が必要と認めるもの

(蔵書等の活用)

第 5 条 図書交流センターで寄贈等を受けた蔵書等の活用方法は、次のとおりとする。

- (1) 武蔵野市立図書館の蔵書とする方法
- (2) 他自治体の公共図書館へ提供する方法
- (3) 大学図書館及び専門研究機関等へ提供する方法
- (4) 友好都市へ提供する方法
- (5) 古書として有償で売却する方法
- (6) 武蔵野市立図書館除籍資料リサイクル実施要綱の規定によるリサイクルをする方法
- (7) 前 6 号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める方法

(その他)

第 6 条 この基準に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

武蔵野市立図書館年表

年 月	沿革
昭和	
21・8	武蔵野町立第四小学校の教室を利用し、武蔵野町立図書館として発足
22・11	市制施行にともない、武蔵野市立図書館と改称
23・9	市立第四小学校より（旧）市役所北側の軍政部読書室の隣接室へ移転 その後改築し、木造平屋 214 m ² 図書 6,000 冊、雑誌、官報、新聞等所蔵 休館日毎月 15 日、祭日、土曜と日曜は午前中開館
24・9	「武蔵野図書研究会」発足 会長 荒井源吉市長
25・3	3 月の利用者数 1,849 人、1 日平均 64 人
25・5	図書館第 1 回レコードコンサート開催
25・11	市制施行 3 周年事業「三多摩文化誌料展覧会」開催
27・2	2 月の利用者数 2,059 人、閲覧図書数 3,935 冊
27・11	市制施行 5 周年記念事業「明治・大正文学図書展覧会」開催。麗書会同人秘蔵書と図書館蔵書を合わせて 300 点陳列
27・11	アメリカより 600 冊の英文図書の寄贈を受け、「東京アメリカ文化センター武蔵野デポジット」を図書館内に開設
31・11	「現代名家随筆展示会」開催
	故高橋久一氏より購入した「随筆文庫」800 余冊とその後補充した 1,000 冊余りを読書週間行事として展示
33・6	団体貸出開始 「いとし児会」「竹の子子ども会」「藤森太郎 方」の 3 団体
33・10	曝書休館実施（10 月 17 日～11 月 5 日） 蔵書 21,000 冊
34・3	市報 246 号に図書館施設紹介。キャッチフレーズ“生活の中に図書館を”利用者連日 120～150 人、蔵書約 21,000 冊（内児童書 3,000 冊） 市内に保証人がいれば、「帯出券」による館外貸出も可能 婦人会、子供会、職場サークル、青年会等、団体貸出実施 開館時間 平日午前 9 時～午後 5 時、土曜・日曜午前 9 時～正午 休館日 毎月 15 日、年末年始、国民の休日、曝書期間
34・11	市報 263 号「市民相談室」に“図書館の改築を早く”と市民からの投書 市長「市制 10 周年記念事業として昭和 33 年度予算に計上したが水害対策に回した。敷地の問題で延びているが、見通しもついたので新築に努力したい」と回答
37・2	市史編纂委員会発足
37・8	市制施行 15 周年記念事業として、図書館建設工事着工
38・3	市立図書館完成（吉祥寺 4-8-11） 3 月 16 日落成式 構造 鉄筋コンクリート造り 3 階建 総面積 950 m ² 延床面積 951 m ² 1 階 軽読書室（新聞・雑誌）、児童室 2 階 学習室、研究室、市政資料室（郷土資料展示） 3 階 視聴覚室
38・7	新図書館開館 武蔵野市立武蔵野図書館と改称
40・4	市史編纂室、井の頭公園に「御殿山縄文遺跡」の記念碑（高さ 80cm・幅 1m）建立
40・10	読書動機づけ指導研究会開催 大野田小学校 3 年生 1 クラスに実施
42・5	学校招聘による読書動機づけ指導実施（3 年生各 1 クラス対象）
43・8	「武蔵野市史続資料編一」刊行
44・10	第 10 回児童に対する図書館奉仕全国研究集会、武蔵野市で開催
51・5	休館日を火曜日から月曜日に変更
51・12	図書館増築改装工事開始
52・4	新装開館（延床面積 1,266 m ² ）
	閉架式から開架式、ブラウン方式に移行
	市民文庫コーナー開始（市民文化会議の提唱により、市内の学者文化人に著書、訳書の寄贈を依頼）

52・7	市民文庫 580 冊、169 人
53・4	北風バス文庫開始（関前 1 丁目久保公園内に中古のマイクロバスを設置）
54・9	増築工事開始 工事期間 54 年 9 月～55 年 1 月末
55・3	新装開館 延床面積 1,608.5 m ²
55・4	「武蔵野市立図書館朗読奉仕の会」発足
55・11	身障者コーナー設置（録音室、対面朗読室、身障者用トイレの開設）
56・1	土曜日の閉館時間変更 正午閉館から午後 5 時閉館に
	館内整理日変更 毎月 15 日から毎月第 3 木曜日に
56・3	図書館活動市民委員会が発足
57・1	東町市民図書室開設（吉祥寺東町 4-3-13） 開館日・時間 火・水・木曜日 午後 2 時 30 分～4 時 30 分 蔵書 3,300 冊 運営 東町市民図書室協議会に委託
57・4	成蹊大学図書館の利用について協定する
57・5	武蔵野市立西部図書館開館（境 5-15-5） 蔵書 一般書 14,000 冊 児童書 9,000 冊
57・5	武蔵野市立武蔵野図書館から武蔵野市立中央図書館に名称変更
58・1	図書館活動市民委員会が最終報告を提出
58・9	本町図書室開設（吉祥寺本町 4-20-13） 開館日・時間 火・木・土曜日 午後 2 時～5 時 蔵書 3,500 冊
60・4	本町図書室開館日を火～土曜日に変更
60・9	武蔵野市図書館構想策定委員会を設置
60・10	杉並区、三鷹市、武蔵野市の図書館相互利用開始（三鷹市は実施を延期）
60・12	武蔵野市立図書館電算システム稼働開始
60・12	武蔵野市図書館構想策定委員会「東部図書館建設に関する基本計画」中間報告を提出
61・1	教育委員会会議において「東部図書館建設に関する基本計画」を可決 東部図書館を小山邸跡地に建設決定、文教委員会において土屋市長報告
61・2	東部図書館（仮称）建設地元懇談会を設置
62・3	図書館構想策定委員会「武蔵野市における図書館の整備充実に関する基本構想」を教育委員会に報告
62・4	教育委員会会議において、上記基本構想を武蔵野市教育委員会の基本構想とすることを決定
62・11	武蔵野市立吉祥寺図書館開館（吉祥寺本町 1-21-13） 武蔵野市立図書館 3 館で夜間開館開始 中央、吉祥寺は火・水・金曜日午後 7 時まで、西部は火・金曜日午後 7 時まで
平成	
1・7	第 1 回“としょかんこどもまつり” 3 図書館で開催 テーマ「恐竜」
1・10	武蔵野市立中央図書館新築基本構想策定委員会設置
2・3	武蔵野市立中央図書館新築基本構想策定委員会、「武蔵野市立中央図書館基本構想」の中間報告書を市長に提出
2・8	武蔵野市立中央図書館新築基本構想策定委員会、「武蔵野市立中央図書館基本構想」の最終報告書を市長に提出
	「武蔵野市立中央図書館に関する市民意識調査」の実施報告書
2・11	新中央図書館用地決定（吉祥寺北町 4-8-3）
3・1	武蔵野市立中央図書館建築基本計画策定委員会設置
3・6	武蔵野市立中央図書館建設懇談会設置（期間平成 3 年 6 月～平成 4 年 3 月）
4・1	武蔵野市立中央図書館建築基本計画策定委員会、最終報告書を市長に提出
4・5	多摩地区で初めて、中央・吉祥寺図書館、平日午後 8 時まで開館
4・12	武蔵野市立中央図書館建築工事着工
4・12	学校 5 日制への対応として第 2 土曜日・毎週水曜日、市内 13 小学校で図書室開放開始 各小学校に 2 名、学校図書室開放指導員を図書館から派遣し実施
5・4	毎月第 2 土曜日、3 図書館において児童対象行事「どっきんどようび」の開始
5・5	廃棄雑誌リサイクル第 1 回開催 以後毎年 4 回（2・5・8・11 月第 3 日曜日）3 図書館で開催
5・7	館内整理日を毎月末から、毎月第 1 木曜日に変更

6・7	武蔵野市、三鷹市、小金井市、田無市、保谷市の5市行政連絡協議会「図書館相互利用」開始
7・3	武蔵野市立中央図書館落成式
7・4	武蔵野市立中央図書館開館
	館内 OPAC（利用者用検索機）の利用開始
9・2	武蔵野市立中央図書館の来館者が100万人を超える
9・10	除籍資料リサイクル実施（廃棄雑誌リサイクルは発展的に解消）
10・1	電算システム入替（NECより富士通へ）
10・12	武蔵野市立中央図書館の来館者数が200万人を超える
12・3	武蔵野市立図書館 ISO14001 の認証を取得
12・8	武蔵野市立中央図書館の来館者数が300万人を超える
12・10	祝日開館開始（休館日は金曜日に、館内整理日は第一水曜日に変更）
13・3	東町市民図書室・本町図書室を閉室
13・4	都立中央図書館との交換派遣研修実施（～17年度）
13・10	貸出冊数を10冊に変更
13・11	ホームページ開設（利用案内、蔵書検索、新着図書案内機能等）
14・4	図書館運営委員会設置
	武蔵野市立中央図書館が子どもの読書活動優秀実践図書館表彰を受ける
14・5	むさしのブックスタート事業開始
15・4	初の公募採用による図書館長就任
	武蔵野市図書交流センター設置（旧桜堤小学校）。市が寄贈を受けた小池辰雄氏の遺贈書を中心とした書籍の整理、活用を図る
	武蔵野市立堺南小学校が子ども読書活動優秀実践校表彰を受ける
15・8	友好都市である新潟県小国町に愛蔵書センターが開館。図書交流センターより1万冊以上の資料を寄贈・委託
16・3	第1期図書館運営委員会報告書、選書部会報告書が教育長に提出される
16・4	武蔵野市立第六中学校が子ども読書活動優秀実践校表彰を受ける
17・3	新潟県中越地震で被災した小国町支援のため「がんばれ小国ブックリサイクル」を開催
	第1回読書感想作品募集事業（愛称「どっかん！」）記念講演会開催
	北風文庫『バス文庫』閉鎖（拠点を移して文庫活動は継続）
17・5	日本獣医畜産大学附属図書館（当時）の利用についての覚書を取り交わす
17・7	3館に利用者用インターネット開放端末設置
	電算システム入替（検索システム機能向上等）及びホームページのリニューアルを行う。館内 OPAC（利用者用検索機）での図書・雑誌の予約開始
17・9	インターネットからの貸出中の図書・雑誌の予約開始
17・10	小国町震災復興支援のため、「がんばれ小国ブックリサイクル2」を開催
	武蔵境駅南口の農水省食料倉庫跡地に建設予定の図書館機能を中心とした複合施設、武蔵野プレイス（仮称）の基本設計がまとめられる
17・11	視聴覚資料（CD・ビデオ・カセット）の予約開始
18・3	中央図書館が新築されてから10周年の記念講演会開催
18・5	第2期図書館運営委員会報告書、選書部会報告書が教育長に提出される
18・7	「武蔵野プレイス（仮称）専門家会議」が設置される。（平成19年3月、「武蔵野プレイス（仮称）専門家会議最終報告書」が提出される）
18・12	子ども文芸賞を創設。（平成19年3月、第1回表彰式を行う）
19・5	インターネットからの市内各館に在庫の資料の予約開始
19・6	専門家会議の最終報告書の提言を受けて、「武蔵野プレイス（仮称）についての基本的な考え方」がまとめられる
19・10	「武蔵野プレイス（仮称）基本設計（修正版）の概要について」がまとめられる
20・3	「武蔵野プレイス（仮称）管理運営の基本方針」がまとめられる
20・10	第3図書館運営委員会報告書『これからの武蔵野市の図書館のあり方について』、選書部報告書が教育長に提出される
22・3	平成20年度より委員会を設置し、検討を行った「学校と市立図書館との連携検討委員会報告書」が教育長に提出される

	『子ども武蔵野市史』が刊行される
22・4	武蔵野市図書館基本計画策定委員会の提言を受けて、「武蔵野市図書館基本計画」が策定される
22・6	新潟県長岡市小国町愛蔵書センターが閉鎖される（委託資料は引き取り）
22・8	武蔵野市図書交流センター、中央図書館4階に展示室を開設
23・1	電算システム入替（富士通より NEC へ）。自動貸出機・自動返却機・予約棚等 IC タグを活用するシステムを設置するとともにホームページのリニューアルを行う
23・3	東日本大震災と福島第一原発事故の発生に伴い、節電および余震等への安全面に配慮し3月18日～4月17日夜間開館を中止する。また、3～4月中旬（一部5月中旬まで）の集会行事についても中止とする
	31日、西部図書館が閉館する
23・7	7月1日より9月22日まで、全市的な節電対策のため、定期休館日のほかに週1日、輪番制による休館を実施
	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス開館（境南町2-3-18）
24・3	第5期図書館運営委員会による「平成22年度図書館評価」が教育長に提出される
24・4	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの来館者数が101万人を超える
25・2	16歳以上の市民を対象とした市民アンケート調査と図書館来館者を対象とした来館者アンケートを実施
25・3	図書館ホームページからの障害者サービス用録音図書検索・予約サービスを開始
25・12	武蔵野市図書交流センター事務室を中央図書館内に移転。4階展示室を閉室
26・2	「アンネ・フランク」関連図書等計18冊（中央図書館・吉祥寺図書館）の破損被害が確認された
27・3	武蔵野市図書交流センター廃止

武蔵野市の図書館

平成26年度

発行年月 平成27年8月
編集・発行 武蔵野市教育委員会
教育部図書館

武蔵野市吉祥寺北町4-8-3

(0422) 51-5145